

総領小学校トイレ洋式化工事

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
	[意匠図]			[構造図]			[電気設備図]	
A-01	表紙・図面リスト		S-01	基礎伏図 (改修前・後)	1:100	E-01	電気設備工事特記仕様書	—
A-02	建築改修工事特記仕様書 (1)	—	S-02	2、3階床梁伏図 (改修前・後)	1:100	E-02	1階電気設備平面図	1:150
A-03	建築改修工事特記仕様書 (2)	—	S-03	スラブリスト (既存)、詳細図【改修】	1:50	E-03	2階電気設備平面図	1:150
A-04	建築改修工事特記仕様書 (3)	—				E-04	3階電気設備平面図	1:150
A-05	建築改修工事特記仕様書 (4)	—				E-05	1階電気設備平面詳細図-1 (改修前・後)	1:50
A-06	建築改修工事特記仕様書 (5)	—				E-06	1階電気設備平面詳細図-2 (改修前・後)	1:50
A-07	建築改修工事特記仕様書 (6)	—				E-07	2階電気設備平面詳細図 (改修前・後)	1:50
A-08	建築改修工事特記仕様書 (7)	—				E-08	3階電気設備平面詳細図 (改修前・後)	1:50
A-09	建築改修工事特記仕様書 (8)	—						
A-10	工事概要・附近見取図	—						
A-11	配置図	1:400						
A-12	仕上表 (改修前・後)	—						
A-13	1階平面図	1:150						
A-14	2階平面図	1:150						
A-15	3階平面図	1:150						
A-16	1階展開図-1 (改修前)	1:50						
A-17	1階展開図-1【改修後】	1:50						
A-18	1階展開図-2 (改修前)	1:50						
A-19	1階展開図-2【改修後】	1:50						
A-20	2階展開図 (改修前)	1:50				M-01	機械設備工事特記仕様書	—
A-21	2階展開図【改修後】	1:50				M-02	機器リスト	—
A-22	3階展開図 (改修前)	1:50				M-03	1階給排水設備平面詳細図-1 (改修前・後)	1:50
A-23	3階展開図【改修後】	1:50				M-04	1階給排水設備平面詳細図-2 (改修前・後)	1:50
A-24	矩計図-1	1:50				M-05	2階給排水設備平面詳細図 (改修前・後)	1:50
A-25	矩計図-2	1:50				M-06	3階給排水設備平面詳細図 (改修前・後)	1:50
A-26	1階平面詳細図-1 (改修前・後)	1:50				M-07	1階換気設備図-1 (改修前・後)	1:50
A-27	1階平面詳細図-2 (改修前・後)	1:50				M-08	1階換気設備図-2 (改修前・後)	1:50
A-28	2階平面詳細図 (改修前・後)	1:50				M-09	2階換気設備図 (改修前・後)	1:50
A-29	3階平面詳細図 (改修前・後)	1:50				M-10	3階換気設備図 (改修前・後)	1:50
A-30	1階天井伏図-1 (改修前・後)	1:50						
A-31	1階天井伏図-2 (改修前・後)	1:50						
A-32	1階天井伏図-3 (改修前・後)	1:50						
A-33	2階天井伏図 (改修前・後)	1:50						
A-34	3階天井伏図 (改修前・後)	1:50						
A-35	建具表	1:50, 20, 10						
A-36	仮設計画図 配置図 (参考図)	1:400						
A-37	仮設計画図 1階平面図 (参考図)	1:150						
A-38	仮設計画図 2階平面図 (参考図)	1:150						
A-39	仮設計画図 3階平面図 (参考図)	1:150						

記事:



有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL.0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当 (総合)
1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認

・士200602 構造設計1級建築士
・1級建築士登録第 号

・設備設計
・法適合確認

・士200603 設備設計1級建築士
・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

表紙・図面リスト

設計年月日
2026・01

縮尺

図面番号

A01

2 仮設工事
1 騒音・粉じん等の対策
2 足場等
3 既存部分の養生
4 仮設間仕切り
5 監督職員事務所等
6 工用水
7 工用電力
8 仮囲い等の安全施設
9 工事現場の表示
10 交通誘導員

騒音・粉じん等の対策
防音パネル
防音シート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
工事に必要な範囲

(品質・性能)
分類・規格
寸法(mm)
厚さ(mm)
幅(mm)
寸法の許容差
出荷時の含水率
曲げ強さ・曲げモーメント(N・cm)
凍結融解完了時(試験サイクル数)
吸水率(%)
吸水による長さ変化率(%)
難燃性
耐凍結融解性能
耐衝撃性能
剛性(E×I)
(試験方法)
(1)寸法の測定方法
(2)曲げ強度試験
(3)吸水率試験
(4)難燃性試験
(5)吸水による長さ変化率試験
(6)耐凍結融解性能試験
(7)耐衝撃性能試験

5 改質アスファルトシート防水
脱気装置の種類
脱気装置の設置数量
屋根露出防水断熱断熱工の場合、ルーフトレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りしまい位置
屋内防水
防水層の種類
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
脱気装置の種類
脱気装置の設置数量
押入金物の材質、形状及び寸法

6 合成高分子系ルーフィングシート防水
防水層の種類
工法
種別
施工箇所
断熱材
仕上塗料
高日射反射率防水の適用
備考

7 塗膜防水
8 シーリング
9 とい
10 アルミニウム製空木
屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
ルーフィングシートの種類及び厚さ
改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
固定金具の材質及び寸法形状
防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類
ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量
ルーフィングシートの製造所の仕様
プレキャストコンクリート部材下の目地処理
接着工法の場合
行う(図示)
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別S-F1、S1-F1の場合)
行う(図示)
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力の(1)・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
防水層の種類
工法
種別
施工箇所
仕上塗料
高日射反射率防水の適用
備考
シーリング改修工法の種類
シーリング充填工法
シーリング再充填工法
拡幅シーリング再充填工法
ブリッジ工法
ボンドブレイカー張り
エッジング材張り
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による
工法
種別
備考
シーリング材表面に仕上塗料、塗装等
シーリング材の目地寸法
接着性試験
引張接着性試験
この材料種
配管用鋼管
硬質ポリ塩化ビニル管
ルーフトレン
アルミニウム製空木
種類
オープン形式
押出250形
押出300形
押出350形
板材折曲げ形
オープン形式
シル形式
本体幅
mm
板厚
2.0mm
mm
表面処理
種別
色合等
種別
特注色
既存空木等の撤去
行う(範囲)
行わない
下地補修の工法
図示
板材折曲げ形の空木の取付方法
図示
空木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力の(1)・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

3 防水改修工事
1 降雨等に対する養生方法
2 既存防水の処理
3 既存下地の処置
4 アスファルト防水
改修標準仕様書3.1.3(5)(7)-(9)による。
既存保護層の撤去
既存防水層の撤去
既存露出防水層表面の仕上げ装の除去
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
POS工法及びPOS工法(機械的固定工法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
設備機器架台、配管受部、バラベットの貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部処理
屋根保護防水
防水層の種類
工法
種別
施工箇所
断熱材
総縁用シート
上り部の保護
改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
平場の保護コンクリートの厚さこて仕上げ
乾式保護材
腐葉系パネル:無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形シートクレープ養生したもの。
金属複合板:金属板と樹脂を積層一体化したもの。


屋根露出防水 防水層の種類
工法
種別
施工箇所
断熱材
仕上塗料
高日射反射率の防水の適用
備考
工法
種別
施工箇所
断熱材
仕上塗料
高日射反射率の防水の適用
備考
工法
種別
施工箇所
断熱材
仕上塗料
高日射反射率の防水の適用
備考

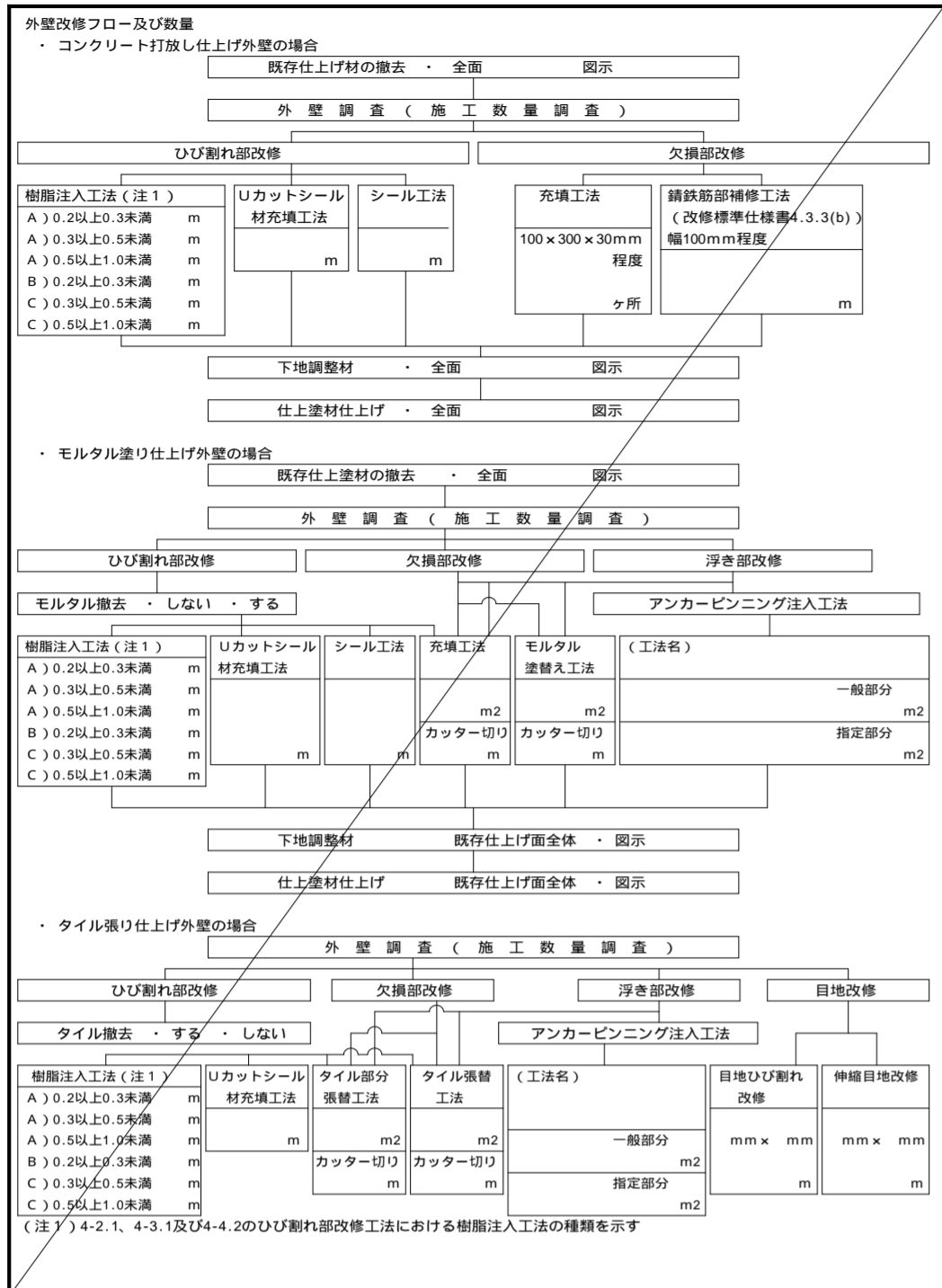
7 改質アスファルトシートの種類及び厚さ
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
脱気装置の種類
脱気装置の設置数量
押入金物の材質、形状及び寸法
防水層の種類
工法
種別
施工箇所
断熱材
仕上塗料
高日射反射率防水の適用
備考

防水改修フロー及び数量
既存保護層の補修及び処置
防水面調査(施工数量調査)
ひび割れ部補修
欠損部改修
浮き部補修
ぜい弱部補修
既存目地欠損部補修
既存目地欠損部補修(脱気に利用する場合)
アスファルト防水工事用シーリング材(幅2mm未満)
リカットのうすポリウレタン系シーリング材(幅2mm以上)
ポリマーセメントモルタル補修
ポリマーセメントモルタル補修
撤去のうす、ポリマーセメントモルタル補修
ケレン等のうす、ポリマーセメントモルタル補修
アスファルト防水工事用シーリング材
ポリマーセメントモルタル補修
既存目地撤去のうすポリウレタン系シーリング材
シーリング改修
シーリング再充填工法

記事:
有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382
設計者(管理建築士)
1級建築士登録第229944号
倉田 洋二
担当(総合)
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ
構造設計
1級建築士登録第...号
法適合確認
設備設計
1級建築士登録第...号
法適合確認
工事名称
総領小学校トイレ洋式化工事
図面名称
建築改修工事特記仕様書(2)
設計年月日
2026・01
縮尺
A03
図面番号

4-1-1 外壁改修工事(共通事項)	1	ポリマーセメントモルタル	(品質・性能) [4.2.2] 項目 品質・性能 だれ 下がり量(mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。 曲げ強さ(N/mm ²) 6.0以上 圧縮強さ(N/mm ²) 20.0以上 接着強さ(N/mm ²) 標準条件 1.0以上 特殊条件 湿度時 0.8以上 低温時 0.5以上 透水性 裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。 その他 1)均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2)高分子エマルションは、常温常温において製造後6か月保存しても、変質しないこと。	4-1-2 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁)	1	ひび割れ部改修工法	樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.5] 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 40 注入工法 0.3以上0.5未満 200-300 40 0.5以上1.0未満 70 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50-100 40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100-200 70 0.5以上1.0未満 150-250 130 エポキシ樹脂 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料の種類 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない 可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂	4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	1	タイル張替工法用材料	タイル部分張替工法及びタイル張替工法用接着剤の種類 [4.2.2] ・ポリマーセメントモルタル ・JIS A 5557による一液反応硬化型変成シリコーン樹脂系 ・JIS A 5557による一液反応硬化型ウレタン樹脂系 タイルの形状、寸法等 施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 うわぐすり 役物 色 耐薬液性 耐滑り性 箇所 (mm) の適用 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 種 類 耐滑り性: JIS A 1509-12(セラミックタイル試験方法-第12部:耐滑り性試験方法)で規定するC.S.R値は0.4-1.0とする。 役物の使用箇所 内 装 出隅 天端 外 装 出隅、窓台、マグサ(標準一体成型品以外は接着成型品とする)	4-1-5 外壁改修工事(塗仕上げ外壁)	1	既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整	[4.6.2] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・サンダー工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 4-2 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁)、 ・高圧水洗工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)による ・塗膜はく離工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 ・水洗い工法 既存仕上げ面全体 ・ 図示 石綿含有仕上げ塗材の除去は、9章環境配慮改修工事による	2	下地調整材	下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.6.3]	3	仕上げ塗材仕上げ	[4.1.4][4.2.2][4.6.5][4.2.4] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 仕上げ塗材の種類 ・薄付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 外装薄塗材E 適用する ・ 外装薄塗材Si 砂状 適用する ・ ・厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 ・適用する ・ 適用する ・ ・適用する ・ ・薄層仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 薄層塗材E 上塗り材の種類 溶媒 水系 耐水性 耐水性 3種 薄層塗材Si 上塗り材の種類 樹脂 アクリル系 ・ゆず肌状 ・ ポリウレタン系 ・凹凸状 ・ ポリウレタン系
	2	ポリマーセメントスラリー	(品質・性能) [4.2.2] 広がり速度(cm/s) 長さ変化率(%) 引張接着性(材齢28日)(N/mm ²) 曲げ性能(材齢28日)(N/mm ²) 吸水性(72時間)(%) 耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm ²) 3以上 3以下 0.5以上 5.0以上 15以下 5.0以上 保水係数 0.35-0.55 粘着係数 0.50-1.00	4-1-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)	2	欠損部改修工法	モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4][4.2.2][4.4.5-7] 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 40 注入工法 0.3以上0.5未満 200-300 40 0.5以上1.0未満 70 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50-100 40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100-200 70 0.5以上1.0未満 150-250 130 エポキシ樹脂 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料の種類 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない 可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁)による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による	4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	2	ひび割れ部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.5.5、6] タイルを撤去して改修 下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁)による モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)による タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による ・タイルを撤去しないで改修 樹脂注入工法 工法の種類 ひび割れ幅(mm) 注入口間隔(mm) 注入量(mL/m) 自動式低圧エポキシ樹脂 0.2以上0.3未満 40 注入工法 0.3以上0.5未満 200-300 40 0.5以上1.0未満 70 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上0.3未満 50-100 40 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.3以上0.5未満 100-200 70 0.5以上1.0未満 150-250 130 エポキシ樹脂 低粘度形 ・ 中粘度形 注入状況の確認方法 注入量により確認 ・ コアの採取を行う コア採取の場合の個数 長さ500mごと及びその端数につき1個 コア採取の場合の採取部の補修方法 ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・Uカットシール材充填工法 ・シーリング材 充填材料の種類 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 行う ・ 行わない 可とう性エポキシ樹脂 ・シール工法 パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・モルタルを撤去して改修 モルタル撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事(コンクリート打直し仕上げ外壁)による モルタル撤去後のモルタル欠損部の補修は、2 欠損部改修工法による	4-1-5 外壁改修工事(塗仕上げ外壁)	2	下地調整材	下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.6.3]	3	仕上げ塗材仕上げ	[4.1.4][4.2.2][4.6.5][4.2.4] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 仕上げ塗材の種類 ・薄付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 外装薄塗材E 適用する ・ 外装薄塗材Si 砂状 適用する ・ ・厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 ・適用する ・ 適用する ・ ・適用する ・ ・薄層仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 薄層塗材E 上塗り材の種類 溶媒 水系 耐水性 耐水性 3種 薄層塗材Si 上塗り材の種類 樹脂 アクリル系 ・ゆず肌状 ・ ポリウレタン系 ・凹凸状 ・ ポリウレタン系			
	3	吸水調整材	改修標準仕様書表4.2.2による [4.2.2]	4-1-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)	3	浮き部改修工法	モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4][4.2.2][4.4.10-15] ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm ・モルタルを撤去して改修 モルタルの材料 現場調査材料 ・ 既調査材料 ・充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・モルタル張替工法 既製目地材 ・ 使用する(形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 図示	4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	3	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.5.7、8] ・タイル部分張替工法(欠損部の面積が0.25m ² /箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合) 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 ・タイル張替工法(下地モルタルを撤去する場合) 貼付けモルタルの材料 現場調査材料 ・ 既調査材料 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 改修標準仕様書表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない ・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り ・タイル張りの工法 ・ 外装タイル(・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良種上げ張り) ・ ニュートタイル(・ マスク張り ・ モザイクタイル張り) ・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目地工法 シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変成シリコーン系	4-1-5 外壁改修工事(塗仕上げ外壁)	3	下地調整材	下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.6.3]	3	仕上げ塗材仕上げ	[4.1.4][4.2.2][4.6.5][4.2.4] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 仕上げ塗材の種類 ・薄付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 外装薄塗材E 適用する ・ 外装薄塗材Si 砂状 適用する ・ ・厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 ・適用する ・ 適用する ・ ・適用する ・ ・薄層仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 薄層塗材E 上塗り材の種類 溶媒 水系 耐水性 耐水性 3種 薄層塗材Si 上塗り材の種類 樹脂 アクリル系 ・ゆず肌状 ・ ポリウレタン系 ・凹凸状 ・ ポリウレタン系			
	4	既調合モルタル	モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。 (品質・性能) 項目 品質・性能 項目 品質・性能 保水率 70.0%以上 長さ変化率 0.20%以下 単位容積質量 1.80 kg/g以上 曲げ強さ 4.0 N/mm ² 以上 接着強さ 標準時 0.60 N/mm ² 以上 温冷繰り返し後 0.40 N/mm ² 以上 (試験方法) (1) 試料の調製 製造業者の定める、正味質量と標準練り上がり量より換算して、所定量の試料を練り上げるのに要する材料と練り混ぜ水を計算して用意する。 練り混ぜは、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する練り混ぜ機を使用し、練りばちを用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間材料を投入し、3分間練り混ぜて試料とする。 (2) 保水率の試験方法 JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス(縦150mm、横150mm、厚さ5mm)の上へJIS P3901「紙(化学分析用)」に規定する5 A 紙(直径11cm)をのせ、その中央部に真ちよう製リング型をく(内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm)を設置し、(1)で調製した試料を平滑に詰込む。 その後、直ちにリング型をく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分後にろ紙へじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さを、1mmの単位まで測定する。 試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。 保水率 = 50 / 平均値 × 100 (注) 50: リング型わくの径 mm (3) 単位容積質量の試験方法 JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。 (4) 接着強さ(標準時)の試験方法 イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N・300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ5mmになるように塗付ける。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「50角ニットタイル(外のり寸法300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法) JIS A6909「建築用仕上塗材」の10.10接着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シ樹脂接着剤で調製したアタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6 N/mm ² 以上を確保していること) また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。 T: タイルの母材破断 TM: 既調査モルタルとタイルの界面破断 M/: 既調査モルタルの母材破断 NG: 既調査モルタルと下地板の界面破断 G: 下地板の母材破断 ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合 (試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板N・300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに(1)で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付ける。直ちに JIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押し出し又はプレス成形による施すの「小口タイル」08mm×60mm×12mm、を4枚2列、計枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2、湿度80%以上の状態で湿気養生を行い、これを試験体とする。 (試験方法)「モザイクタイル」の場合と同様に行う。 (5) 接着強さ(温冷繰り返し後)の試験方法 (試験体の作製)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4)接着強さ(標準時)の試験方法の「試験体」と同様とする。 (温冷繰り返し試験)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰り返し試験に準じて行う。 試験の手順は、試験体を20±2 の水中に18時間浸せしめた後、直ちに-20±2 の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3 の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返した後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を目視によって調べる。 (温冷繰り返し後の接着強さ試験方法)「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰り返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4 N/mm ² 以上を確保していること) (6) 長さ変化率の試験方法 JIS A 6203「セメント混和用ポリマーディスページョン及び再乳化形粉未樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。 (7) 曲げ強さの試験方法 JIS A 6916「建築用下地調整塗材」の11. 曲げ強さ試験に準ずる。 試験室の状態: 試験室は温度20±2、湿度65±10%とする。	4-1-3 外壁改修工事(モルタル塗仕上げ外壁)	4	外壁補合改修構工法	平成7年度建設省告示第1860号による「外壁補合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする	4-1-4 外壁改修工事(タイル張り仕上げ外壁)	4	欠損部改修工法	[4.1.4][4.2.2][4.5.9-15] ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度 ・タイル部分張替工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤 ・タイル張替工法(下地モルタルを撤去する場合) 貼付けモルタルの材料 現場調査材料 ・ 既調査材料 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 改修標準仕様書表4.5.1による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着剤試験 ・ 行う ・ 行わない ・セメントモルタルによるタイル(セラミックタイル)張り ・タイル張りの工法 ・ 外装タイル(・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良種上げ張り) ・ ニュートタイル(・ マスク張り ・ モザイクタイル張り) ・有機系接着剤によるタイル(セラミックタイル)張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 目地工法 シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ポリウレタン系 伸縮調整目地その他の目地 変成シリコーン系	4-1-5 外壁改修工事(塗仕上げ外壁)	4	下地調整材	下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.6.3]	3	仕上げ塗材仕上げ	[4.1.4][4.2.2][4.6.5][4.2.4] 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 仕上げ塗材の種類 ・薄付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 防火材料 外装薄塗材E 適用する ・ 外装薄塗材Si 砂状 適用する ・ ・厚付け仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 吸放湿性 上塗り材 防火材料 ・適用する ・ 適用する ・ ・適用する ・ ・薄層仕上げ塗材 呼び名 仕上げの形状 工法 上塗り材の種類 耐水性 防火材料 薄層塗材E 上塗り材の種類 溶媒 水系 耐水性 耐水性 3種 薄層塗材Si 上塗り材の種類 樹脂 アクリル系 ・ゆず肌状 ・ ポリウレタン系 ・凹凸状 ・ ポリウレタン系			

記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日	図面番号 A 0 4
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号	・設備設計 ・法適合確認		図面名称 建築改修工事特記仕様書(3)	
		倉田 洋 二	倉田 まゆみ			2026-01	



5 建 具 改 修 工 事	1	改修工法	[5.1.3]		
		建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
		・アルミ製建具	・	・	・ 建具表による
		・樹脂製建具	・	・	・ 建具表による
		・鋼製建具	・ 外部	・	・ 建具表による
	・鋼製軽量建具	・ 内部	・	・ 建具表による	
	・ステンレス製建具	・	・	・ 建具表による	
	新規に建具を設ける場合	壁部分の開口の開け方 図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 図示			
	2	防火戸	[5.1.4]		
	3	建具見本の製作	[5.1.5]		
	4	防犯建物部品	[5.1.7]		
	5	アルミニウム製建具	[5.2.2]		
		性能値等	[5.2.2-5]		
		・耐風圧性の等級()、気密性の等級()、水密性の等級()	改修標準仕様書表5.2.1による種別		
		外部に面する建具の種別	・ A種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ B種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ C種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)		
		防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級() (建具符号: ・ 建具表による)		
		断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級() (建具符号: ・ 建具表による)		
		耐震ドア	面内変形追従性の等級() (建具符号: ・ 建具表による)		
		耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		
		ステンレス鋼板の材料	SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1		
		枠の見込み寸法	建具表による		
		表面処理	外部に面する建具 種別 ・ BB-1種 ・ BB-2種 ・ 色合等 標準色() ・ 特注色()		
		屋内の建具	種別 ・ BC-1種 ・ BC-2種 ・ 色合等 標準色() ・ 特注色()		
		結露水の処理方法	図示		
		水切り板、ぜん板	図示		

6	網戸等	[5.2.3]			
		種類	材質	線径	網目
		○ 防虫網	合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	0.25mm以上	16-18メッシュ
		・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
7	樹脂製建具	[5.2.2] [5.3.2-5]			
		性能値等	・耐風圧性の等級()、機密性の等級()、水密性の等級()		
		改修標準仕様書表5.3.1による種別	外部に面する建具		
		外部に面する建具	・ A種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ B種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による) ・ C種(建具符号: ・ 全て ・ 建具表による)		
		防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級() (建具符号: ・ 建具表による)		
		断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級() (建具符号: ・ 建具表による)		
		枠の見込み寸法	建具表による		
		表面色	標準色 ・ 特注色		
		水切り板、ぜん板	図示		
		ガラス	複層ガラス		
8	鋼製建具	[5.2.2] [5.4.2-4] [表 5.4.2]			
		性能等級(建具符号: ・ 建具表による)	簡易気密型ドアセット ・ 適用する		
		外部に面する面する建具の耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		
		防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級()		
		断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級()		
		耐震ドア	面内変形追従性の等級()		
		耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		
		ステンレス鋼板の材料	SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1		
		鋼板の厚さ	改修標準仕様書表5.4.2による		
9	鋼製軽量建具	[5.2.2] [5.5.2-4]			
		性能等級(建具符号: ・ 建具表による)	簡易気密型ドアセット ・ 適用する		
		外部に面する面する建具の耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		
		防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級()		
		断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級()		
		耐震ドア	面内変形追従性の等級()		
		耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		
		ステンレス鋼板の材料	SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1		
		鋼板の厚さ	改修標準仕様書表5.5.1による		
		合板等、縦小口包み板の材質	鋼板		
10	ステンレス製建具	[5.2.2] [5.4.2] [5.6.2-5] [5.7.2、3]			
		性能等級(建具符号: ・ 建具表による)	簡易気密型ドアセット ・ 適用する		
		外部に面する面する建具の耐風圧性	・ S-4 ・ S-5 ・ S-6		
		防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級()		
		断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級()		
		耐震ドア	面内変形追従性の等級()		
		耐震性能	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による		
		ステンレス鋼板の材料	SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1		
		表面仕上げ	H L ・ 鏡面仕上げ		
		ステンレス鋼板の曲げ加工	普通曲げ ・ 角出し曲げ(・ a角 ・ b角 ・ c角)		
11	建具用金物	全物の種類及び見え掛り部の材質等 改修標準仕様書表5.7.1及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 改修標準仕様書表5.7.2による 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表5.7.3による 握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 建具表による			
		錠前類	錠前箱錠及びシリンダ本錠まり錠 (品番) デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。鍵付のものにはマスターキー、グラッドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーステムが構築できるものとする。 (性能) <使用頻度による性能> 1) (シリンダ箱錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験(40万回)を行った後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の倍未満であり、動作に支障がない。 2) キーによるデッドボルトの施錠解除繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解除に支障がない。(シリンダ本錠まり錠のみ) シリンダ単体の施錠解除繰り返し試験は、シリンダだけの回転トルクが10N・cm以下とする。 3) キーによる施錠機構の施錠解除繰り返し試験(10万回)を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施錠解除に支障がない。 4) キーの抜き差し繰り返し試験(10万回)を行った後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシリンダが回転でき、かつ、1面所1段差1削りをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする) <外力に対する性能> 1) デッドボルトの押込み強度試験(10KN)を行った後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。 2) デッドボルトの側圧強度試験(10KN)を行った後、加工板がデッドボルトを通過しないこと。 3) デッドボルトの押込み強度(衝撃荷重)試験(58.8J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(デッドボルトの突出量が9mm未満)にならないこと。 4) デッドボルトの側圧強度(衝撃荷重)試験(58.5J)の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態(加工板がデッドボルトを通過した状態)にならないこと。 5) (シリンダ本錠まり錠はグレード3以上の形錠錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、ストロークは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。 <使用頻度の質量に対する性能(シリンダ箱錠のみ)> 1) ラッチボルトの側圧強度試験(4KN)を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。 2) レバーハンドルのねじり強度試験(3.5KN・cm)を行った後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施錠解除に支障がない。		

12	鍵	[5.7.4]			
		マスターキー	製作する(組) ・ 製作しない ・ 既存に組込む		
		錠の製作本数	各室3本1組(室名札付き)		
		鍵箱	・ 設ける(個人用組) ・ 設けない		
13	自動ドア開閉装置	[5.8.2、3]			
		引き戸用駆動装置	性能値 改修標準仕様書表5.8.1による 種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2		

14	自閉式上吊り引戸装置	[5.9.3]			
		性能値等	標準仕様書表5.9.1による (試験方法) (1) 耐久性(開閉繰り返し)試験 閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から閉端位置までの動作を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点まで1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性試験成績書において2万回以上の耐久性能を確認することで、試験に代えることができるものとする。 (2) 耐衝撃性試験 落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。 耐衝撃性試験に用いる試験体は引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。 適用戸総質量の区分毎に試験を行う。 (3) 気密性試験 JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。		
15	重量シャッター	[5.10.2、3]			
		シャッターの種類	・ 管理用シャッター 耐風圧強度()N/m ² ・ 外壁用防火シャッター 耐風圧強度()N/m ² ・ 屋内用防火シャッター ・ 防塵シャッター		
		開閉方式の種類	上部電動式(手動併用) ・ 上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 図示		
		障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所	図示 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの障害防止機構の設置箇所 図示 屋内用防火シャッター若しくは防塵シャッターの急降下停止機構の設置箇所 図示 改修標準仕様書表5.10.2(1)(a)かつ(c) 改修標準仕様書表5.10.2(1)(b)かつ(c)		
		管理用シャッターのシャッターケース	・ 設けない		
		スラット及びシャッターケース用鋼板	JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		
		鋼板の種類	JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)		
		めっきの付着量	Z12又はF12を満足するもの		
		ステンレス鋼板の材料	SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1		
16	軽量シャッター	[5.11.2-4]			
		開閉方式の種類	手動式 ・ 上部電動式(手動併用)		
		耐風圧強度()	N/m ²		
		スラットの材質の種類	JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(Z06又はF06を満足するもの) JIS G 3312(塗装溶融5%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量(A290を満足するもの)		
		スラットの形状	インターロック形状 ・ オーバーラッピング形		
		シャッターケース	設けない		
		ガイドレール(中柱共)の材質	ステンレス鋼板(SUS304) 厚さ1.0mm		
		座板の材質(屋外の場合)	ステンレス製既製品		
17	オーバーヘッドドア	[5.12.2、3]			
		セクション材料	耐風圧性能	開閉方式	収納方式
		による区分(Pa)	による区分	による区分	ガイドレールの材料
		・ スチールタイプ	・ 175 (1750)	・ バランス式	・ スタンダード形
		・ アルミニウムタイプ	・ 125 (1250)	・ チェーン式	・ ロールアップ形
		・ ファイバーグラスタイプ	・ 100 (1000)	・ 電動式	・ ハイリフト形
			・ 75 (750)		・ パーチカル形
			・ 50 (500)		
		電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所	図示		
18	木製建具	(16.7.2-4)			
		建具材の加工、組立時の含水率	B種		
		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量	規制対象外		
		表面材の合板の種類	規格等	備考	
		・ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り (ラワン合板程度)	()	
		・ 天然木化粧合板	樹種名() 接着の程度(・ 1種 ・ 2種)	()	
		・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装) 表面性能()タイプ 接着の程度(・ 1種 ・ 2種)	()	
		表面板の厚さ	標準仕様書表6.7.6による		
		・ かまち戸			
		かまち樹種()	鋼板樹種()		
		見込み寸法	建具表による		
		・ ふすま			
		張りの種別(・ 型 ・ 型)			
		上張り(押入等の裏側以外)	・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度		
		縁仕上げ	・ 塗り縁 ・ 生地縁(素地) ・ 生地縁(ワレタシヤー塗装)		
		見込み寸法	建具表による		
		・ 戸ぶすま	見込み寸法 建具表による		
		・ 紙張り障子	見込み寸法 建具表による		
		枠の材料	木製枠(6章内装改修工事による) ・ 鋼製枠(亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板)		
		くつずりの材料	ステンレス鋼板		

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・ 構造設計	・ 土佐2条の2 電設設計1級建築士 号 ・ 1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日	図面番号 A 0 5
		1級建築士登録第2 2 9 9 4 4号	1級建築士登録第2 2 5 5 4 4号	・ 法適合確認			2026・01	
		倉田 洋二	倉田 まゆみ	・ 設備設計	・ 土佐2条の3 設備設計1級建築士 号 ・ 1級建築士登録第 号		図面名称 建築改修工事特記仕様書(4)	
				・ 法適合確認			縮尺	

<p>18 ガラス</p> <p>(16.9.7.14.2-4)(表16.14.1)</p> <p>下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 建具表による 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスの種類、組合せ</td> <td>落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>・フロート板、フロート板合わせガラス</td> <td>・ 1類 ・ 2類</td> </tr> </table> <p>強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスによる種類による名称</td> <td>材料板ガラス</td> <td>破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類</td> </tr> <tr> <td>・フロート強化ガラス</td> <td>・フロート板ガラス</td> <td>・ 類 ・ 類</td> </tr> </table> <p>熱線吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスによる種類</td> <td>性能による種類</td> <td>色調</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・ 1種 ・ 2種</td> <td>・グリーン</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収入り磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>断熱性による区分</td> <td>乾燥気体の種類</td> </tr> <tr> <td>・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</td> <td>・ 空気 ・ アルゴン</td> </tr> </table> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <table border="1"> <tr> <td>乾燥気体の種類</td> </tr> <tr> <td>・ G ・ S</td> </tr> </table> <p>熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 下記以外は建具表による</p> <table border="1"> <tr> <td>材料板ガラスによる種類</td> <td>日射熱遮蔽性による区分</td> <td>耐久性による区分</td> </tr> <tr> <td>・ 1種 ・ 2種 ・ 3種</td> <td>・ 2種 ・ 3種</td> <td>・ A類 ・ B類</td> </tr> </table> <p>色調 (ブルー、グレー)</p> <p>反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <tr> <td>建具の種類</td> <td>ガラス留め材</td> <td>ガラス溝の大きさ (mm)</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル形</td> <td>建具の製造所の仕様による</td> </tr> </table> <p>鋼製及び鋼製軽量 ・ シーリング材 ・ 建具の製造所の仕様による</p> <p>ステンレス製 ・ シーリング材 ・ 建具の製造所の仕様による</p> <p>防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による 耐火性能 建築非構造部材の耐火性能に係る特記事項による</p> <table border="1"> <tr> <td>表面形状</td> <td>呼び寸法 (mm)</td> <td>厚さ (mm)</td> <td>色調</td> <td>目地幅 (mm)</td> <td>伸縮調整目地位置 (mm)</td> <td>耐火性能</td> </tr> <tr> <td>・ 正方形</td> <td>・ 125×125 ・ 160×160</td> <td>・ 80 ・ 95</td> <td>・ クリア ・ 乳白</td> <td>・ 8-15 ・ 15-25</td> <td>・ 外側 ・ 6mm以下 ・ ごとくに幅10-25</td> <td>・ 無し ・ 有り</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 200×200</td> <td>・ 95</td> <td>・ 内側</td> <td>・ 15以下</td> <td>・ 6以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 320×320</td> <td>・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 長方形</td> <td>・ 250×125 ・ 320×160</td> <td>・ 80 ・ 95</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>壁用金属種及び補強材の材質・形状 図示</p> <p>方骨 材質 ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 径5.5mm 形状 はしご形状複筋及び単筋</p> <p>化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材質 ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 図示 形状 図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>目地部の横方骨の納まり ガラスブロック製造所の仕様による 図示</p> <p>20 ガラス用フィルム</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>記号</td> <td>その他性能等</td> </tr> <tr> <td>○日射調整フィルム</td> <td>・ 内張り用 SC-1 ・ 外張り用 SC-2</td> <td>日射遮へい性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E</td> </tr> <tr> <td>・ 低放射フィルム</td> <td>LE</td> <td>熱透過率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D</td> </tr> <tr> <td>・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・ GI-1 ・ GI-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・ GD-1 ・ GD-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ガラス貫通防止フィルム</td> <td>SF</td> <td>ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A5759による</p>	材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類	・フロート板、フロート板合わせガラス	・ 1類 ・ 2類	材料板ガラスによる種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類	・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・ 類 ・ 類	材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・グリーン	・熱線吸収入り磨き板ガラス			断熱性による区分	乾燥気体の種類	・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	・ 空気 ・ アルゴン	乾燥気体の種類	・ G ・ S	材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分	・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 2種 ・ 3種	・ A類 ・ B類	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル形	建具の製造所の仕様による	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	耐火性能	・ 正方形	・ 125×125 ・ 160×160	・ 80 ・ 95	・ クリア ・ 乳白	・ 8-15 ・ 15-25	・ 外側 ・ 6mm以下 ・ ごとくに幅10-25	・ 無し ・ 有り		・ 200×200	・ 95	・ 内側	・ 15以下	・ 6以上			・ 320×320	・ 95					・ 長方形	・ 250×125 ・ 320×160	・ 80 ・ 95					種類	記号	その他性能等	○日射調整フィルム	・ 内張り用 SC-1 ・ 外張り用 SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E	・ 低放射フィルム	LE	熱透過率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D	・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1 ・ GI-2		・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1 ・ GD-2		・ ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B	<p>6 内装改修工事</p> <p>1 他の部位との取り合い等</p> <p>2 既存床の撤去及び下地補修</p> <p>3 既存壁の撤去及び下地補修</p> <p>4 木下地等の表面仕上げ</p> <p>5 製材</p> <p>6 造作用集材</p>	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁面及び床の改修範囲 [6.1.3] 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 図示 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 既存のまま 図示</p> <p>ビニルシート等の撤去 仕上材のみ (接着剤とも) [6.2.2] ・ 下地モルタルとも (図示の範囲 撤去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 改修部の端部より1m程度</p> <p>間仕切壁撤去に伴う他の構造物の補修 [6.3.2] 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 図示)</p> <p>表面仕上げの種類 適用箇所 [6.5.1]</p> <table border="1"> <tr> <td>機械加工</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>手加工</td> <td>・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種</td> </tr> </table> <p>・ 製材の日本農林規格 による下地用針葉樹製材 [6.5.2]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2級</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 製材の日本農林規格 による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td></td> <td>上小節</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td></td> <td>小節以上</td> <td></td> <td>A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 製材の日本農林規格 による広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>保存処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td>10%以下・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等</td> <td></td> <td>10%以下・A種・B種</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 製材の日本農林規格 以外の製材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>A種・B種</td> <td></td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 [6.5.2] ・ 集材材の日本農林規格 による造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 集材材の日本農林規格 による化粧ばり造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1等・2等</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 集材材の日本農林規格 による化粧ばり構造用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 集材材の日本農林規格 以外の造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 集材材の日本農林規格 以外の化粧ばり造作用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 集材材の日本農林規格 以外の化粧ばり構造用集材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>15%以下</td> <td></td> </tr> </table>	機械加工	・ A種 ・ B種 ・ C種	手加工	・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用				2級		A種・B種						2級		A種・B種			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用	見え掛り面			上小節		A種・B種			見え掛り面以外			小節以上		A種・B種			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用				1等		10%以下・A種・B種						1等		10%以下・A種・B種			施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用				()	・ 適用する ・ 適用しない	A種・B種		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用					1等・2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用						1等・2等		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用							施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用					15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						15%以下		施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用						15%以下		<p>7 造作用単板積層材</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 [6.5.2] ・ 単板積層材の日本農林規格 による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 有り (加工: 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級:)</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 単板積層材の日本農林規格 以外の造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 有り (加工: 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し ()</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>14%以下</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 直交集成材 (CLT)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度 (強度等級)</th> <th>種別 (使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 [6.5.2] ・ 普通合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>5.5</td> <td></td> <td>1類 2類</td> <td>広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>2級以上</td> <td>1類 ・ 特類</td> <td>C-D 以上</td> <td>12</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 合板の日本農林規格 による化粧ばり構造用合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 ・ 特類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 合板の日本農林規格 による天然木化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1類 ・ 2類</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ 合板の日本農林規格 による特殊加工化粧合板</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>表面性能</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1類 ・ 2類</td> <td></td> <td></td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ パーティクルボード</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐水性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>13タイプ</td> <td>P又はM</td> <td></td> <td>15</td> </tr> </table> <p>・ 構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>等級</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級</td> <td></td> </tr> </table> <p>・ ミディアムデンシティーファイバーボード (MDF)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>9 防腐・防蟻処理</p> <p>・ 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 [6.5.5] 適用部位: ()</p> <p>・ 薬剤の加圧注入による防腐防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>改修標準仕様書6.5.5(1)(b) ?-?による</td> </tr> </table> <p>・ 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理 適用部位 ()</p>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・ 有り (加工: 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級:)	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			・ 有り (加工: 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し ()	・ 適用する ・ 適用しない	14%以下		施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用								施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用		5.5		1類 2類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		2級以上	1類 ・ 特類	C-D 以上	12	・ 適用する ・ 適用しない				施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用				1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用			1類 ・ 2類			・ 適用する ・ 適用しない		施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)			13タイプ	P又はM		15	施工箇所	等級	厚さ (mm)		1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級		施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用								適用部位	保存処理性能区分		・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	適用部位	処理の方法		改修標準仕様書6.5.5(1)(b) ?-?による	<p>10 軽量鉄骨天井下地</p> <p>野縁等の種類 [6.6.2-4] 屋外 (25形) 屋内 (19形 ・ 25形) ・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 既存の埋込みインサート ・ 使用する ・ 使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・ 行う (試験箇所数 屋内の場合、当該箇所において3箇所) (確認強度 改修標準仕様書6.6.4(1)(9)による) ・ 行わない</p> <p>・ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 図示</p> <p>・ 天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合 補強方法 改修標準仕様書6.6.4(8)による 図示</p> <p>・ 天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 図示</p> <p>・ 天井の下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 高さが6mを超える天井 図示 補強方法 「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」(平成25年国土交通省告示第771号)第3第2項第二号に適合させる。 図示</p> <p>耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による [6.7.3][表6.7.1] スタッド、ランナーの種類 改修標準仕様書6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 図示 スタッドの高さが5.0mを超える場合 図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 改修標準仕様書6.7.4.(5)による</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>F S</td> <td>・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物</td> <td>・ 帯電防止 ・ 帯電防止性 ○ 防滑性</td> <td>2.0 ○ 2.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>目地処理 (工法 熱溶接工法) ・ 突付け (施工箇所:) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^{17} \sim 1 \times 10^{19}$ 程度</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>K T ・ T T ・ F T</td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>2.0 ・ 2.5 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> </table> <p>特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は体積電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^{17} \sim 1 \times 10^{19}$ 程度</p> <p>[6.5.3.4][6.8.2][6.9.3][6.11.4.5] 接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類 図示</p> <p>15 ビニル幅木 [6.8.2] 材質の種類 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) 60 ・ 75 ・ 100 厚さ (mm) 1.5以上</p> <p>16 ゴム床タイル [6.8.2] 種類 ・ 単層品 ・ 複層品 色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ()</p> <p>17 カーペット敷き [6.9.3.4][表6.9.1] ・ 織じゅうたん 織り方 <table border="1"> <tr> <th>織り方</th> <th>バイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ ウォルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクスマニターカーペット</td> <td>・ カットバイル ・ ルーフバイル</td> <td>・ 帯電する ・ 適用しない</td> <td></td> </tr> </table> <p>バイルの種類等 模様のない無地のもの (改修標準仕様書6.9.1による種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種)</p> <p>・ タフテッドカーペット バイルの形状 バイル長さ (mm) 工法 帯電性 備考 ・ カットバイル ・ 5-7 ・ 全面接着工法 ・ 適用する ・ ルーフバイル ・ 4-6 ・ グリッパー工法 ・ 適用しない ・ カット、ループ併用</p> <p>・ ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 ・ 適用する ・ 適用しない 備考 ()</p> <p>・ タイルカーペット <table border="1"> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>ループバイル</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カットバイル</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>カット、ループ併用</td> <td>・ 第一種 ・ 第二種</td> <td></td> <td>500×500</td> <td>6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平 場 市松敷き ・ 模様流し 階段部分 模様流し ・ 市松敷き</p> <p>下敷き材 反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 図示</p> </p></p>	種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	F S	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	・ 帯電防止 ・ 帯電防止性 ○ 防滑性	2.0 ○ 2.5		種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	K T ・ T T ・ F T	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	2.0 ・ 2.5 ・ 3.0		織り方	バイルの形状	帯電性	備考	・ ウォルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクスマニターカーペット	・ カットバイル ・ ルーフバイル	・ 帯電する ・ 適用しない		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	ループバイル	・ 第一種 ・ 第二種		500×500	6.5		カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		500×500	6.5		カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		500×500	6.5	
材料板ガラスの種類、組合せ	落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・フロート板、フロート板合わせガラス	・ 1類 ・ 2類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
材料板ガラスによる種類による名称	材料板ガラス	破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・フロート強化ガラス	・フロート板ガラス	・ 類 ・ 類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材料板ガラスによる種類	性能による種類	色調																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収フロート板ガラス	・ 1種 ・ 2種	・グリーン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・熱線吸収入り磨き板ガラス																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
断熱性による区分	乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6	・ 空気 ・ アルゴン																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
乾燥気体の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
・ G ・ S																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
材料板ガラスによる種類	日射熱遮蔽性による区分	耐久性による区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 1種 ・ 2種 ・ 3種	・ 2種 ・ 3種	・ A類 ・ B類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
アルミニウム製	シーリング材 ・ ガスケット ・ グレイジングチャンネル形	建具の製造所の仕様による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 正方形	・ 125×125 ・ 160×160	・ 80 ・ 95	・ クリア ・ 乳白	・ 8-15 ・ 15-25	・ 外側 ・ 6mm以下 ・ ごとくに幅10-25	・ 無し ・ 有り																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・ 200×200	・ 95	・ 内側	・ 15以下	・ 6以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	・ 320×320	・ 95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 長方形	・ 250×125 ・ 320×160	・ 80 ・ 95																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
種類	記号	その他性能等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
○日射調整フィルム	・ 内張り用 SC-1 ・ 外張り用 SC-2	日射遮へい性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 低放射フィルム	LE	熱透過率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1 ・ GI-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ 相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1 ・ GD-2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
・ ガラス貫通防止フィルム	SF	ガラスの貫通防止性能による区分 ・ A ・ B																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
機械加工	・ A種 ・ B種 ・ C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
手加工	・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			2級		A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			2級		A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
見え掛り面			上小節		A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
見え掛り面以外			小節以上		A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
			1等		10%以下・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			1等		10%以下・A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
			()	・ 適用する ・ 適用しない	A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					1等・2等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
					15%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
		・ 有り (加工: 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し (等級:)	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		・ 有り (加工: 天然木化粧加工 ・ 塗装加工) ・ 無し ()	・ 適用する ・ 適用しない	14%以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	品名	曲げ強度 (強度等級)	種別 (使用環境)	樹種	寸法 (mm)	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	5.5		1類 2類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ (mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	2級以上	1類 ・ 特類	C-D 以上	12	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	化粧板に使用する単板の樹種名	厚さ (mm)	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
		1類 ・ 2類			・ 適用する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		13タイプ	P又はM		15																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
施工箇所	等級	厚さ (mm)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
	1級 ・ 2級 ・ 3級 ・ 4級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分	間伐材等の適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
適用部位	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
適用部位	処理の方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	改修標準仕様書6.5.5(1)(b) ?-?による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
種類の記号	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
F S	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	・ 帯電防止 ・ 帯電防止性 ○ 防滑性	2.0 ○ 2.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
種類の記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
K T ・ T T ・ F T	・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	2.0 ・ 2.5 ・ 3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
織り方	バイルの形状	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・ ウォルトンカーペット ・ ダブルフェースカーペット ・ アクスマニターカーペット	・ カットバイル ・ ルーフバイル	・ 帯電する ・ 適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
ループバイル	・ 第一種 ・ 第二種		500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
カットバイル	・ 第一種 ・ 第二種		500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
カット、ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		500×500	6.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
<p>記事:</p>	<p>有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382</p>	<p>設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二</p>	<p>担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ</p>	<p>・ 構造設計 ・ 法適合確認 ・ 設備設計 ・ 法適合確認</p>	<p>工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書 (5)</p>	<p>設計年月日 2026・01 縮尺 図面番号 A06</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								

18 合成樹脂塗床 [6.10.2、3]
種類 施工箇所 工法 仕上げの種類
・ 厚膜型塗床
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床
・ 厚膜型塗床
・ エポキシ樹脂系塗床
・ 薄膜型塗床材
塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外

19 防じん用塗床
材料 水性アクリル系樹脂塗料と、製造所の指定する製品とする
工法 製造所の指定する工法とする
仕上げの種類 (平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ) (標準色 ・)
JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放散量 規制対象外

20 フローリング張り [6.11.2-6]
種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用
・ フローリング
・ フローリングボード1等
・ フローリングブロック1等
フローリングボードの大きさ 改修標準仕様書表6.11.1、3、5による

21 畳敷き [6.12.2]
種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 D種 (畳床 ・ KT- ・ KT- ・ KT-K ・ KT-N)
下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.11による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロロ)
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びステレンを発生しないが、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

22 せっこうボードその他ボード及び合板張り [6.13.2、3]
種 類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等
・ 硬質木毛セメント板
・ 中質木毛セメント板
・ 普通木毛セメント板
・ 硬質木片セメント板
・ 普通木片セメント板
・ けい酸カルシウム板
・ ロックウール化粧吸音板
・ ロックウール吸音ボード1号
・ グラスウール吸音ボード32K
・ せっこうボード
・ 不燃種層せっこうボード
・ シージングせっこうボード
・ 強化せっこうボード
・ せっこうラスボード
・ 化粧せっこうボード (木目)
・ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)
・ 普通合板
・ 天然木化粧合板
・ 特殊加工化粧合板
○メラミン樹脂化粧板
・ ポリエステル樹脂化粧板
・ ミディアムデンシティファイバーボード
・ 単板張り
・ パーティクルボード

23 壁紙張り [6.14.2、3]
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外
施工箇所 壁紙の種類 防火性能 備考
紙 織紙 プラス 無機質 その他
24 モルタル塗り [6.15.3、6]
モルタル 現場調査材料 ・ 既調査材料 (材料)
既製現地材 ・ 設ける 施工箇所 () 形状 (図示)
床の目地 ・ 設けない 2 m2程度 (最大目地間隔 3 m程度) (種類 押し目地)
外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整材塗りの接着力試験
・ 適用する ・ 適用しない
25 タイル張り [6.16.2-4]
伸縮調整目地の位置 床タイル (縦、横とも4m以内ごと ・ 図示)
床タイル以外 (図示)
・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り
施工 形状/寸法 再生材料 吸水率による区分 凹凸 色 耐凍害性 耐汚損性 備考
面所 (mm) の適用 類 類 類 類 有 無 標準 特注 有 無 有 無 有 無 有 無

26 セルフレベリング材塗り
種類及び品質 ・ せっこう系 ・ セメント系
標準塗厚 (mm) 図示

27 1 材料 [7.1.3]
2 2 下地調整 [7.2.1-7]
下地調整
下地の種類 下地調整の種類 ひび割れ部の補修
塗替え面積の30%
下地調整
鉄網面
亜鉛めっき鋼面
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具等)
モルタル面、石膏面
コンクリート面 (D P以外)
A L C /バルコニー面
押出成形セメント板面
コンクリート面 (D P)
せっこうボード面、その他ボード面

記事:
有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
1級建築士登録第229944号
担当 (総合)
1級建築士登録第225544号
倉田 洋二
倉田 まゆみ

構造設計
・ 土法2条の2 構造設計1級建築士 号
・ 1級建築士登録第 号
法適合確認
設備設計
・ 土法2条の3 設備設計1級建築士 号
・ 1級建築士登録第 号
法適合確認

工事名称
総領小学校トイレ洋式化工事
図面名称
建築改修工事特記仕様書 (6)
設計年月日
2026.01
縮尺
A 0 7

	<p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5 ・測定()</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </table> <p>・JIS K 3850-1に基づいた測定</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量(l/min)</th> <th>試料の吸引時間(min)</th> </tr> <tr> <td>・測定4 ・測定5 ・測定()</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>・測定()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・測定()</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 改修標準仕様書9.1.3(2)(F)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 濯洗化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 原形のまま、手ばらし ・破砕して除去 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 濯洗化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成形板の除去 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成形板の処分 ○石綿含有石膏ボード 埋立処分(管理型最終処分場) ・石綿含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・埋立処分(安定型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有仕上塗材の除去 下記以外は、改修標準仕様書9.1.1及び9.1.2による 除去工法 石綿障害予防規則(平成十七年二月二十四日厚生労働省令第二十一号)第6条による措置と同等以上の効果を有する措置とされる工法 ・集じん装置併用工具ケレン工法 ・集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・超音波ケレン工法(HEPAフィルター付き排塵機併用) ・剝離剤併用工具ケレン工法 ・剝離剤併用高圧水洗工法(30～50MPa程度) ・剝離剤併用超高圧水洗工法(100MPa以上) ・剝離剤併用超音波ケレン工法 ・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法</p> <p>除去対象範囲 図示 作業場の隔離 行わない ・行う 試験施工 行わない ・行う 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設又は無害化処理施設) 除去した石綿含有仕上塗材の保護、濯洗及び処分 改修標準仕様書9.1.3(3)による 確認及び後片付け 改修標準仕様書9.1.3(4)(F)、(I)及び(4)による</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 図示</p>	測定名称	測定方法	・測定4 ・測定5 ・測定()	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)	・測定4 ・測定5 ・測定()	25	5	30	・測定()	47	10	120	・測定()	47	10	240	<p>4 ガラス改修工事 [9.4.2] 5 断熱・防露改修工事 [9.5.2-4]</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ・断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td>・25 2種bA 25</td> <td>・外壁</td> </tr> <tr> <td>・3種bA</td> <td>25</td> <td>・スラブ</td> </tr> <tr> <td>・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材</td> <td>・25 ・25</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による</p> <p>・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 A種1 ・ A種1H 吹付け厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所 ・ 図示</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コロンカローリ-試験)に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m²を超えないこと。</td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 原液試験(原液粘度試験) JIS K 7117-1「プラスチック・液状・乳濁状又は分散状の樹脂-ブルックフィールド形回転粘度計による見掛け粘度の測定方法」による。 (2) 発泡品試験 1) 試料の作製は、JIS A 9526「建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォーム」の6.2.1による。 2) 試料の状態調節は、JIS A 9526の6.2.2による。また、試験片の作製はJIS A 9526の6.2.3による。 3) 試験場所は、JIS A 9526の6.2.4による。 4) 圧縮強さ試験は、JIS A 9526の6.2.5による。 5) 熱伝導率試験は、JIS A 9526の6.2.6による。 6) 接着強さ試験は、JIS A 9526の6.2.7による。 7) 透湿率試験は、JIS A 9526の6.2.8による。 (3) 難燃性の試験は、下記のJIS A 1321に規定する表面試験及び発熱性試験による。 1) 難燃性の試験については、JIS A 1321に規定する試験方法に準じる。 2) 発熱性試験は、建築基準法に基づく指定性能評価機関が準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している試験方法に準じる。</p> <p>・断熱材後張り工法 断熱材の種類() 断熱材の厚さ(mm) ・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル(材質 厚さ mm)</p>	種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・25 2種bA 25	・外壁	・3種bA	25	・スラブ	・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材	・25 ・25	・	項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コロンカローリ-試験)に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと。	<p>6 屋上緑化改修工事 [9.6.2、3]</p> <p>植栽基礎及び材料 [9.6.2、3] 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被の種類等 図示 見切り材、舗装材、排水穴、マルチング材等 図示</p> <p>(品質・性能等)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>透水・排水層等構 成材の主要材質</td> <td>合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)</td> </tr> <tr> <td>透水層</td> <td>目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。</td> </tr> <tr> <td>排水層</td> <td>植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 240L/m²・h以上</td> </tr> <tr> <td>排水層の鉛直方向の排水性能</td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)</td> <td>一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10⁴ N/m²以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。</td> </tr> <tr> <td>耐根層</td> <td>重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。</td> </tr> <tr> <td>耐根層保護層</td> <td>材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(総線シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。</td> </tr> </table> <p>(試験方法) (1) 排水基礎の耐荷重性能 (イ) 3×10⁴ N/m²の等分布荷重による加圧試験を行ない、排水層及び耐根層等に有害な変形・破壊の起かないことを確認する。また、その時の圧縮応力に対する歪み(%)を測定する。(保水層を有する場合は保水層も対象とする。) (ロ) 試験体は耐根層から透水層までを通常使用状態にセットした3体とする。加圧速度は10mm/min以下とする。</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯補償の期間 引き渡しの日から1年</p>	項目	品質・性能	透水・排水層等構 成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)	透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。	排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 240L/m ² ・h以上	排水層の鉛直方向の排水性能		耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。	耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。	耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(総線シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。	<p>10 その他</p> <p>1 フリーアクセスフロア (2.0.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造</th> <th>置敷式</th> <th>支柱調整式</th> </tr> <tr> <td>所定荷重</td> <td>3,000N ・ 5,000N</td> <td>3,000N ・ 5,000N</td> </tr> <tr> <td>耐震性能</td> <td>・ 1.0G ・ 0.6G</td> <td>・ 1.0G ・ 0.6G</td> </tr> <tr> <td>パネル寸法(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高さ(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>表面仕上材</td> <td>・ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル</td> <td>・ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル</td> </tr> </table> <p>施工箇所 図示</p> <p>寸法精度 標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)～(c)による</p> <p>スロープ及びボーダー 製造所の仕様による ・ 図示 配線用出しパネル フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 製造所の仕様による ・ 20～30パーセント 配線用出し開口 製造所の仕様による ・ パネル枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上</p> <p>空調用吹き出し(吸い込み)パネル ・ なし ・ あり(形式、施工箇所: 図示)</p> <p>(性能) (1) 耐荷重性能 変形5.0mm以下 残留変形3.0mm以下 (2) 耐衝撃性能 残留変形3.0mm以下及び損傷がないこと (3) ローリングロード性能 所定荷重1,000N(5,000Nの積載荷重は1,000N以上で任意)による繰り返し試験後、残留変形3.0mm以下 (4) 耐震性能</p> <p>イ) 固定台試験による耐震性能</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき</td> <td>水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上</td> </tr> <tr> <td>上記以外の部分に耐力に達したとき</td> <td>水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上</td> </tr> </table> <p>適用地震時水平力を加力した時の支柱頂部の変位</p> <p>構造床面からの高さの1/50以下</p> <p><適用地震時水平力> 3,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 { (m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数 } × 0.6 3,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 { (m2当り自重+3,000N) / m2当りの支柱本数 } × 1.0 5,000N 0.6Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 { (m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数 } × 0.6 5,000N 1.0Gタイプ 支柱一本が負担する床加重 { (m2当り自重+5,000N) / m2当りの支柱本数 } × 1.0</p> <p>ロ) 振動台試験による耐震性能(設計床高さ 300mmの場合のみ) 振動台試験において、パネルの脱落や使用上支障をきたす損傷、せり上がり、隙間及び水平移動がない。 (5) 耐燃性能 建築基準法第2条第9号の規定に基づく不燃材料又は燃焼終了後の残炭時間が0秒 (6) 帯電防止性能評価値(U) 0.6以上 (7) 感電防止性能 漏えい抵抗(R) 1×10⁶ (8) 歩行感 通常の歩行において空洞音がたつきがなく、歩行感に違和感がない (9) メンテナンス性 交換が必要な部品については交換できるよう設計されている。 (試験方法) (1) 耐震性能 1) 設計床高さ 300mmの場合 試験体ユニット1000mm×2500mm程度 所定の重りの質量 3000N:200kg 5000N:350kg 加振 0.6G:所定加速度600cm/S² 1.0G:所定加速度1000cm/S² 2) 300mm<設計床高さ 600mmの場合 固定台による耐震性能試験 イ、支柱調整式・支柱分離型・支柱固定タイプの全てのタイプ共、下記の試験方法・1又は、試験方法・2による。 ロ、原則として、試験方法・1はパネル単体設置(Aタイプ)に適用し、試験方法・2はパネル連結設置(Bタイプ)に適用するものとする。 試験方法・1 イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した支柱の頂部に対し、水平方向に適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。 ロ、加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。試験体数は、3個とする。 試験方法・2 イ、試験は、コンクリート(JIS A 5371プレキャスト無筋コンクリート製品 種類:N300)に接着した数ユニットの支柱の頂部に対し、水平方向に数ユニット分相当の適用地震時水平力及び水平最大耐力まで加力し、各測定点における水平力、支柱頂部の変形量を測定する。加力方向は、支柱要素に対して最も不利な方向とする。 ロ、最終的に水平力を支持する支柱の本数で除した値を、支柱1本当たりの水平力とする。又、800mm×800mmに荷重板1,900N(3,000N/1m²相当)を1箇所設ける。試験体数は、1セットとする。 零点補正及び測定記録 試験体と試験機の隙間等を除去するため、始めに適用地震時水平力の1/2程度の水平力を加力した後、速やかに除荷して"0"にした状態を零点とする。又、水平力による各測定点の荷重及び変形曲線を測定し記録する。</p> <p>3) 共通事項 試験に使用する表面仕上げ材 種類:タイルカーペット 繊維素材:ナイロン100% バイル携帯:ループバイル 単位質量:4.0kg/m²～6.0kg/m² バイル長:3.0mm～4.0mm 全厚:6.0mm～7.0mm 人体耐電圧:2KV以下</p>	構造	置敷式	支柱調整式	所定荷重	3,000N ・ 5,000N	3,000N ・ 5,000N	耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G	パネル寸法(mm)			高さ(mm)			表面仕上材	・ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル	・ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル	項目	性能	ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上	上記以外の部分に耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上	<p>2 表示</p> <p>3 ブラインド</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>ボックスレールの材質</th> <th>幅・高さ</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>・ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・25</td> <td>・鋼製</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動</td> <td>・2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・電動</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>アルミスラットの材質 焼付け塗装仕上げ クロススラットの材質 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工</p> <p>4 ロールスクリーン (2.0.2.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>操作方式</th> <th>遮光性能</th> <th>寸法(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製</td> <td>・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式</td> <td>・1級 ・2級 ・3級</td> <td>・図示</td> <td>・図示</td> <td></td> </tr> </table> <p>巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料 製造所の仕様</p> <p>5 カーテン (2.0.2.1.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>・(暗幕)</td> </tr> </table> <p>暗幕カーテンの両端、上部及びひ合せの重なり 300mm以上</p> <p>6 カーテンレール (2.0.2.1.4)</p> <p>材料による区分 アルミニウム又はアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強さによる区分 10-90 仕上げ アルマイト 形状 角形</p> <p>7 ブラインドボックス及びカーテンボックス</p> <p>溝幅×深さ(mm) ・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 材質 ・ 合成材(仕上げ:) ・ アルミニウム製 押出し型材(市販品) 表面処理 ・ BC-1 ・ BC-2(標準色()) ・ 特注色()) ・ 鋼製(仕上げ:)</p> <p>8 天井点検口</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法(mm)</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>450×450 600×600</td> <td>一般形</td> <td>・ 屋内外用 ・ 屋内用</td> <td>・ 隠蔽タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 気密形</td> <td></td> </tr> </table> <p>(品質・性能) 内外枠の材質 アルミニウム製 JIS H 4100 A6063S-5又は同等の性能を有するもの 表面処理 陽極酸化皮膜JIS H 8601(A46)又は同等の性能を有するもの (外部に用いる場合は、JIS H 8602のB種又は同等以上の性能を有するもの) 内枠及び外枠のコーナースペース 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 外枠の取付け金物 鋼板に亜鉛めっき等の防錆処理を行ったもの又は同等の性能を有するもの 内枠の仕上げ材取付け金物 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材、亜鉛めっき鋼板又は同等の性能を有するもの 耐久性能(繰り返し開閉試験) (1) 50回、100回、300回以内の垂れ下り方が、0.5mm以内。 (2) 開閉試験後、使用上支障をきたす異常がないこと。 枠の許容公差 ±0.5mm以内 外枠と内枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 内蓋(内枠)の繰り返し開閉試験 (1) 試験体は、枠見込み40mm程度のものとする。 吊り金物は、外枠を天井下地取付用補強材に直接取付ける方式(天井ボードなどの仕上材を挟んで固定しない方式)とする。標準仕様書14章4節により製作した試験体固定天井下地取付補強材に試験体の天井点検口450mm×450mmを吊り金具4箇所にて各メーカー仕様に従い取付ける。なお、野縁の種類は、19形と仕上げ材は、せっこうボード厚さ9.5mm(JIS A 6901「せっこうボード製品」のG・Rの難燃級又は発熱性2級以上)二重張りとする。 (2) 試験は、内蓋を閉じた状態から自由開放状態にする動作を繰り返し行う。 (3) 測定は、上記繰り返し試験において、各50回、100回、300回毎に内蓋の垂れ下り状態を測定する。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ	取付箇所	・横形	・手動	・ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動	・アルミニウム合金製	・25	・鋼製	・図示	・図示	・縦形	・手動	・2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・電動	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム合金製	・図示	・	材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示		形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	・(暗幕)	材質	寸法(mm)	形式	外枠	内枠	アルミニウム製	450×450 600×600	一般形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 隠蔽タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ	・	・	・	・ 気密形		<p>記事:</p> <p>有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382</p> <p>設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二 担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ</p> <p>・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認</p> <p>・土法20条の2 構造設計1級建築士登録第 号 ・1級建築士登録第 号</p> <p>・土法20条の3 設備設計1級建築士登録第 号 ・1級建築士登録第 号</p> <p>工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 建築改修工事特記仕様書(7)</p> <p>設計年月日 2026・01 縮尺 .</p> <p>図面番号 A 0 8</p>
測定名称	測定方法																																																																																																																																																		
・測定4 ・測定5 ・測定()	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																		
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量(l/min)	試料の吸引時間(min)																																																																																																																																																
・測定4 ・測定5 ・測定()	25	5	30																																																																																																																																																
・測定()	47	10	120																																																																																																																																																
・測定()	47	10	240																																																																																																																																																
種類	厚さ(mm)	施工箇所																																																																																																																																																	
・ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・25 2種bA 25	・外壁																																																																																																																																																	
・3種bA	25	・スラブ																																																																																																																																																	
・硬質ウレタンフォーム断熱材 ・フェノールフォーム断熱材	・25 ・25	・																																																																																																																																																	
項目	品質・性能																																																																																																																																																		
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験(コロンカローリ-試験)に適合していること。																																																																																																																																																		
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の(1)～(3)に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200kW/m ² を超えないこと。																																																																																																																																																		
項目	品質・性能																																																																																																																																																		
透水・排水層等構 成材の主要材質	合成樹脂等で耐腐食性及び耐久性のあるものであること。 (保水層を有する場合は、保水層共)																																																																																																																																																		
透水層	目詰まりにより植物の生育に支障を生じることがなく、植込み用土を流出させない構造であること。																																																																																																																																																		
排水層	植物の生育に必要な排水性能を持ち、通気性及び植込み土壌を支え、流出しない構造をもつこと。 240L/m ² ・h以上																																																																																																																																																		
排水層の鉛直方向の排水性能																																																																																																																																																			
耐荷重性能 (排水層の許容圧縮強度)	一般メンテナンス時の上部歩行に際し破壊しないこと。 3×10 ⁴ N/m ² 以上の載荷重で破壊・有害な変形がないこと。																																																																																																																																																		
耐根層	重ね合わせ部を含め、クマザサ等の地下茎伸長力の強い植物に対して3年以上の耐根性能を有し、かつ、耐腐食性及び耐久性のあるものであること。																																																																																																																																																		
耐根層保護層	材質は、合成樹脂等とし、耐腐食性及び耐久性を有し、かつ、施工中及び施工後の耐根層を保護するものであること。ただし、耐根層を保護コンクリート(総線シートも含む)の下に設ける場合は省略することができるものとする。																																																																																																																																																		
構造	置敷式	支柱調整式																																																																																																																																																	
所定荷重	3,000N ・ 5,000N	3,000N ・ 5,000N																																																																																																																																																	
耐震性能	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 1.0G ・ 0.6G																																																																																																																																																	
パネル寸法(mm)																																																																																																																																																			
高さ(mm)																																																																																																																																																			
表面仕上材	・ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル	・ タイルカーペット ・ 帯電防止床タイル																																																																																																																																																	
項目	性能																																																																																																																																																		
ベースプレート又はアンカーが耐力に達したとき又はコンクリート接着面が剥離したとき	水平荷重の1/2が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																		
上記以外の部分に耐力に達したとき	水平荷重の1/1.5が下記の<適用地震時水平力>以上																																																																																																																																																		
形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	ボックスレールの材質	幅・高さ	取付箇所																																																																																																																																												
・横形	・手動	・ギア式 ・コード式 ・操作棒式 ・電動	・アルミニウム合金製	・25	・鋼製	・図示	・図示																																																																																																																																												
・縦形	・手動	・2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・電動	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	・アルミニウム合金製	・図示	・																																																																																																																																												
材質	操作方式	遮光性能	寸法(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																														
・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	・電動式 ・スプリング式 ・チェーン式	・1級 ・2級 ・3級	・図示	・図示																																																																																																																																															
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																														
・シングル ・ダブル	・片引き ・引引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	・(暗幕)																																																																																																																																														
材質	寸法(mm)	形式	外枠	内枠																																																																																																																																															
アルミニウム製	450×450 600×600	一般形	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 隠蔽タイプ ・ 目地タイプ ・ 目地タイプ																																																																																																																																															
・	・	・	・ 気密形																																																																																																																																																

9	床点検口	材種	寸法 (mm)	形式	備考
		・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 600×600	・一般形 ・密閉形 ・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き
密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)					
部材名		材質	屋内外用	屋内用	
受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びビニル ミニウム合金押出成形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15			
	ステンレス製	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度		
	鋼製	-			標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
二重蓋の中蓋	鋼製	JIS G 5501のFC150、FC200			
	その他	塩化ビニル樹脂製等			
目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604			
	ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304			
底板材コーナ ピース底板補強 材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304, SUS430J1L, SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430		
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理: 陽極酸化塗装複 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	-		
	鋼材	-			鋼製又はJIS G 3313にメラ ミン樹脂焼付塗装若しくは、 標準仕様書表18.3.1及び表 18.3.2のさび止め塗料塗り 等の防錆処理を行ったもの
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、 スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、 形状に適した弾力性、密着性を有するもの			
アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの				
取手	黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出成形材・合金 鋼鉄製、ステンレス鋼鋼品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出成形材などで被覆 した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れ が生じないものとする				
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 錠錠・開錠は、錠又は開閉用ハンドル式とする				
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値P=1,000Nにおいて残留たわみが点検 口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPの2倍以上であること。				
受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下				
蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下				
受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内				
(試験方法)					
耐荷重試験 試験体は、張物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部に、50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返して行った後、その後試験体が破壊する(終局 荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について 1,000Nまで3回繰り返す。					
10	手すり	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所
		・ 集成材 ・ ステンレスパイプ ・ 鋼製パイプ ・ ビニル製ハンドレール	・ クリアラッカー ・ H L 程度 ・ S O P ・ E P - G	・ 35 ・ 45	
11	天井見切り線等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切線(天井見切線、下がり壁見切線)の材種 アルミニウム既製品 ○ビニル既製品			
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(1. 1. 2. 2.、 1. 9. 2. 2.)			
		施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
		屋内	・ 塩化ビニル製 ・ セラミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	300×300 300×300 300×300 -	・ 7.0 ・ ・ ・
		屋外	・ セラミックタイル ・ レジンコンクリート製 ・ コンクリート製	300×300 300×300 -	・ ・ ・
突起の形状、配列及び寸法は JIS T 9251による					
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 2. 1) (表 5. 2. 1)			
		種類の記号	呼び名		備考
		S D 2 9 5 A	D 1 6 以下		
		S D 3 4 5	D 1 9 以上		
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 2. 2)			
		種類	網目寸法、鉄線の径 (mm)		備考
		溶接金網	6 × 150 × 150		
		鉄筋格子			
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5. 3. 4)			
		鉄筋の継手の方法等			
		○ 重ね継手 ○ フレア溶接			
		鉄筋の重ね継手の長さ			4 0 d と標準仕様書表 5. 3. 2 の重ね継手の長さのうち大きい値とする
		鉄筋の定着長さ			柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは 4 0 d 以上とし、それ以外は 標準仕様書表 5. 3. 4 による

16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 2. 1 ~ 4)			
		普通コンクリート	設計基準強度 (F c) { N / mm2 }	スラブ (c m)	適用箇所
		2 4 ○ 2 1	標準仕様書表6.2.2による	コンクリート全て (無筋コンクリートを除く)	
17	セメント	種類 (6. 3. 1)			
		普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種			
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 8. 2)			
		せき板の材料 合板 厚さ (1. 2 mm) ・ メッシュ型枠 ・ 断熱材を兼用した型枠 厚さ 2. 5 mm以下かつ熱抵抗値 1 m h / k C a 1 以上			
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6. 1. 4. 1)			
		種 類	設計基準強度 (F c) { N / mm2 }	スラブ (m m)	施 工 箇 所
		普通コンクリート	1 8	1 5	標準仕様書6.1.4.(4)(7)-(h)による
		種類	普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種		
20	床コンクリート 直均し仕上げ	(8. 1. 4) (表 8. 1. 5)			
		仕上げの平たんさは、図示以外は下記による			施工箇所
		改修標準仕様書表8.1.5に よる平たんさの種類			
		a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセフロア(置敷式)		
		b種	カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り		
		c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセフロア(支柱調整式)		
21	あと施工アンカー	(1. 4. 1. 3)			
		6章内装改修工事 軽鋼鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカー施工後の確認試験 行う ・ 行わない			
22	トイレブース	(2. 0. 2. 5)			
		表面材の材料	脚部 形状	ドアエッジ 材質	
		メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	幅木タイプ ・	アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材	
(品質・性能)					
(1) パネル					
	項目	品質・性能			
	裏面材	メラミン樹脂系、ポリエステル樹脂系化粧板又はメラミン樹脂系単一材とする。			
	裏打ち材	JIS A 6512「可動間仕切り」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、防食処理及 び防錆処理を施した材料とする。ただし、メラミン樹脂系単一材の場合は適用しない。			
	心材	JIS A 6512「可動間仕切り」の表9に対応する材質とする。ただし、メラミン樹脂系単一 材の場合は適用しない。			
	枠材	JIS A 6512「可動間仕切り」の表9に対応する材質のうち、鋼材については、亜鉛めっき エッジ材 処理を施した材料とする。			
	小口	防水処理を施す。			
(2) 構造金物					
	項目	品質・性能			
	脚部	JIS G 4305「冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯」に規定するSUS304、SUS430J1L (脚具、幅木) SUS443J1とし、仕上げはHL程度とする。			
(3) 付属金物					
	項目	品質・性能			
	ヒンジ	耐蝕性のあるものとする。			
	ラッチセット	腐蝕の恐れのある材料には防錆処理を施してあるものとする。			
	戸当り	戸当り部のゴムは、使用に十分耐える材質であるものとする。			
(4) 外観は、JIS A 6512「可動間仕切り」の5.b)による。					
(5) パネル表面材の耐薬品性・耐汚染性・耐ひたつき性・開閉耐久性能					
	項目	品質・性能			
		耐薬品性及び耐汚染性	耐ひたつき性		
	メラミン樹脂系化 粧板及びメラミン 樹脂系単一材	JIS K 6903(2008)「熱硬化性樹脂高圧 化粧板」の表8品質による耐汚染性 (B法)の規定を満足していること。	-		
	低圧メラミン樹 脂系化粧板	ポリエステル樹脂系加工化粧板、ポリエステル樹脂系化粧MDF、ポリエ ステル樹脂系化粧パーティクルボードのいずれかの品質に適合していること。			
	ポリエステル樹脂 系加工化粧板	JAS「合板の日本農林規格」第9条特殊 加工化粧板に示された耐汚染性B試 験において、試験片の表面に色が残ら ないこと。	JAS「合板の日本農林規格」第9条特 殊加工化粧板に示された耐ひたつき 性B試験において、きずの深さの 平均値が10μm以内であること。		
	ポリエステル樹 脂系化粧MDF	JIS A 5905「繊維板」の表18の規定に適合していること。			
	ポリエステル樹 脂系化粧パー ティクルボード	JIS A 5908「パーティクルボード」の表11の規定に適合 していること。			
(試験方法)					
	(1) ヒンジは、JIS A 1510-2「建築用ドア金物の試験方法-第2部: ドア用金物」に規定する試 験による。				
	(2) 戸当りの衝撃試験は、JIS A 1510-2に規定する試験による。				
	パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によりF 以上				

一般共通事項 (2)	
・ 本工事で事前に先立ち、敷地実測(高さ等含む)を行い、測量図を提出すること。なお、官民境界、標準地盤点等の確認をし、写真撮影の上提出すること。 本工事のため、隣地、隣家に及ぼす被害のある場合、工事に支障をきたす障害物が地上、地下にある場合、補償、対処は工事期間内に解決し、これに要する費用は一切請負業者の負担とする。	
○公道上の排水溝及び蓋等を工事施工中破壊した場合は、関係官庁の指示により支障なき様、補修施工をなすこと。又、公道上の地上、地下の施設に於て、本工事に支障を及ぼす場合も前項目同様とする。	
○設計書に記載もれ事項ありともいえずとも技術上(納まり)当然必要と認められる事項、建築基準法、消防法等、法的に当然必要と認められる事項、関係官庁の検査時に指摘追加された事項は監督員と協議の上、適当なる措置をすること。又は、これらに係る追加費用を要する場合は、請負業者の負担とする。	
・ 電波障害が発生した場合は、工事期間中に決定し、これに要する費用は請負業者の負担とする。	
工事関係提出書類	
工事着手前に提出し取り交わすもの	
○ 施工図承認及び確認に伴う覚書(2通、様式:別途指示による)	
工事着手前に提出し承認を得るもの。	
○ 工事着手届	
○ 現場代理人及び主任(監理)技術者氏名(変更)届	
○ 同上経歴書	
○ 工程表及び工事工程表	
・ 工事内訳明細書	
・ A 3判貼合せ製本	
○ 現場施工管理体制	
○ 安全衛生管理体制組織表	
○ 災害時及び緊急連絡体制組織表	
○ 仮設計画書及び仮設計画図	
○ 各官公庁の手続、届出書類の写し	
・ その他	
各工事前提出し承認を得るもの。	
○ 下請負人名簿通知書	
○ 主要資材購入先名簿通知書	
○ 工事に関する(承諾、協議)書 (使用材料、ミルシート コンクリート配合計画書を含む)	
○ 施工計画書	
○ 施工図	
○ 施工に必要な資格書、電気主任技術者名簿、工事記録写真撮影計画書	
・ その他	
工事期間中提出し承認を得るもの。	
○ 月間工程表(工事別工程表含む)	
・ 週間工程表	
○ 期間別工事工程報告書(月1回、月末)	
○ 工事打合せ簿(定例打合せ、各工事別打合せ、質疑、協議など)	
○ 試験結果表(コンクリート強度試験、圧接試験など)及び報告書	
・ 建築確認工程指定に伴う書類及び工程写真	
工事完了時に提出する書類。(提出書類目録を含む)	
○ 工事完成届および社内検査結果報告書(手直しを含む)	
○ 工事中写真(2部)	
・ 実施工程表	
・ 工事日報	
○ 試験結果一覧表	
○ 各種試験成績表、報告書、調査表、配合計画書、試験結果報告書、骨材試験成績表、杭打結果、鉄筋引張試験、圧接引張試験報告書	
○ 主要資材検収簿、規格品質証明書(納品伝票、出荷証明書、規格証明書などを含む)	
鋼材、異形鉄筋、コンクリート、砕石 屋根材、外壁材、床材、石膏ボード、クロス (鉄筋については出荷ラベルのコピーを含む)	
・ 資格、検査、投量等証明書	
・ 溶接技術者 ・ 施工管理技術者	
・ 超音波探傷試験(第3者)	
・ 圧接工 ・ 溶接工 ・ その他	
○ 工事打合せ簿	
・ 施工図	
・ 施工計画書	
○ 完成写真 (アルバム製本:各工事合同部、A4判2部) キャビネ版 (写真パネル(350×500程度)):各工事合同2部)	
○ 処分証明書 残土、可燃物、不燃物、廃棄物処理票、 産廃処分業者証明書	
○ 官公庁の許可及び届出書類	
○ 自主管理表(出来形管理および施工精度管理など)	

検査完了後提出する種類	
・ 鍵引渡し書及び鍵一覧表	
・ 備品引渡し書	
○ 竣工図面(・ A 2判貼合せ製本:各工事合同 2部) (・ A 3判貼合せ製本:各工事合同 2部) } 施工者による原因修正を行ったもの 別途指示による	
○ C A Dデータ(DXF、JWJ、dpp)	
・ 保証書 屋根、防水等	
○ 各使用説明書、建物の保全に関する説明書	
○ 施工業者名簿及び連絡先、一覧表(担当者名記入)	
・ 火災保険証の写し(工期+20日)	
○ 引渡し書	
工種別施工計画書、施工要領書等提出する書類	
各種使用材料の規格証明書、搬入報告書(コピーでもよい)等は、下記による。編集方法は、施工図は、A4判折り製本とし、各規格証明書・搬入報告書・納品出荷表等は、各工種ごとにまとめ、ファイルにて提出する。(A4判とする)	
① 仮設工事	
○ 仮設計画書(仮設物の配置、大きさ、作業場所、材料機器の保管場所、及びその他指示による事項等)	
2. 地業工事	
・ 砕石、割栗石、砂など 規格証明書、出荷表	
・ 杭 施工計画書、規格証明書、試験表、出荷表、施工結果報告書 (縁杭の場合 溶接工の資格の写し) (騒音防止条例の手続き)	
3. 鉄筋工事	
・ 加工図(必要に応じて)、材料試験結果、又はミルシート及び出荷ラベルの写し	
・ 圧接の場合 計画書、資格証明書、採取試験結果表	
④ コンクリート工事	
○ 施工図、配合計画書、試験結果表、出荷集計表、打設計画表	
○ 施工計画書、結果報告書	
5. 防水工事	
・ 施工図、施工要領書、工場認定表、溶接技術者資格証明書、 材料試験又はミルシート及び出荷証明書	
・ 錆止め塗料の規格証明書及び出荷表	
・ ボルト、プレースなど規格証明書及び出荷表	
6. A L Cパネル、ブロック、押出成形セメント板、カーテンウォール工事	
・ 施工図、規格証明書及び出荷表	
7. 防水工事	
・ 施工計画書、規格証明書、試験結果表及び出荷表	
・ 保証書(請負業者・施工業者・材料メーカーの3社連名) で2部提出	
8. 石・タイル工事	
・ 施工図、材料出荷表	
・ 監督員が指示したばあいには、施工保証書又は試験結果表	
9. 木工事	
・ 施工図、規格(J A S)証明書、出荷表、 防腐・防蟻処理保証証明書	
10. 屋根、とい工事	
・ 施工図、規格証明書、出荷表	
・ 保証書の必要場合は防水工事と同じ	
① 金属工事	
○ 施工図、規格証明書、出荷表	
12. 左官工事	
・ 施工計画書、出荷表、(砂、セメント、混和剤等)	
13. 建具工事	
・ 施工図、金物など出荷表、製品検査証、鍵引渡し書及び鍵一覧表	
14. ガラス工事	
・ 施工計画書、規格証明書、出荷表	
15. 塗装工事	
・ 施工計画書、塗装工業会会員証の写し、規格証明書、出荷表	
① 内装工事	
○ 施工図、規格証明書、出荷表	
・ 使用材料一覧表(使用箇所の記入も含む)	
17. 雑工事	
・ 施工図、規格証明書、出荷表	
18. 舗装工事、外構工事、排水工事	
・ 施工計画書、出荷表、必要に応じて試験結果表及び舗装コア ・ 植栽 (・ 出荷表 ・ 枯保証書)	
① 給排水・衛生工事	
○ 施工図、規格証明書、出荷表、完成図面(器具図面)、 機器取扱い説明書	
20. 空調工事	
・ 施工図、規格証明書、出荷表、完成図面(器具図面)、 機器取扱い説明書	
① 電気工事	
○ 施工図、規格証明書、出荷表、完成図面(器具図面)、 機器取扱い説明書	
22. 建物取扱い(使用)説明書	

記事:

有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号

担当(総合) 1級建築士登録第225544号

倉田 洋二 倉田 まゆみ

構造設計 土法20条の2 構造設計1級建築士 号
法適合確認 1級建築士登録第 号

設備設計 土法20条の3 設備設計1級建築士 号
法適合確認 1級建築士登録第 号

工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称 建築改修工事特記仕様書(8)

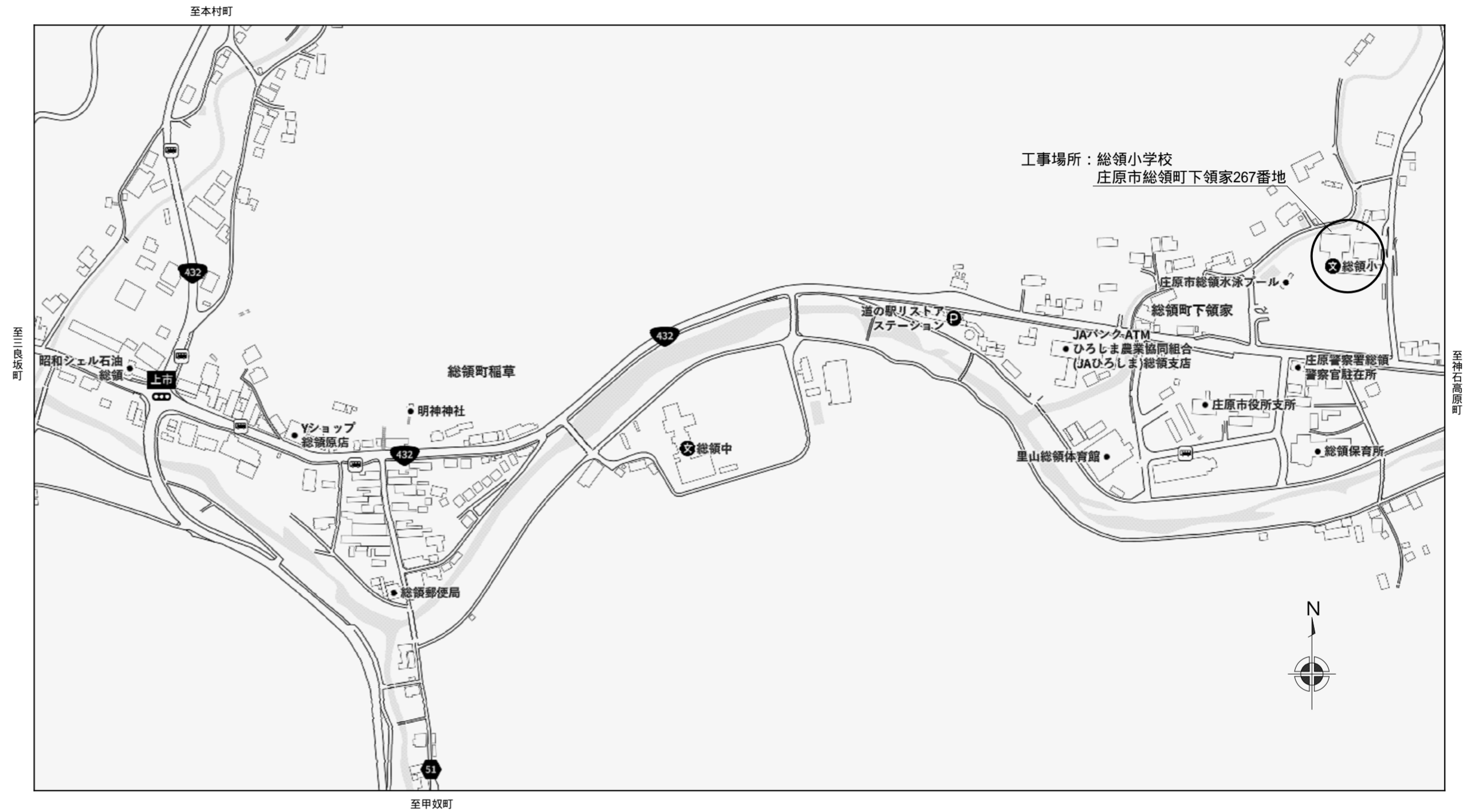
設計年月日 2026・01

図面番号 A 0 9

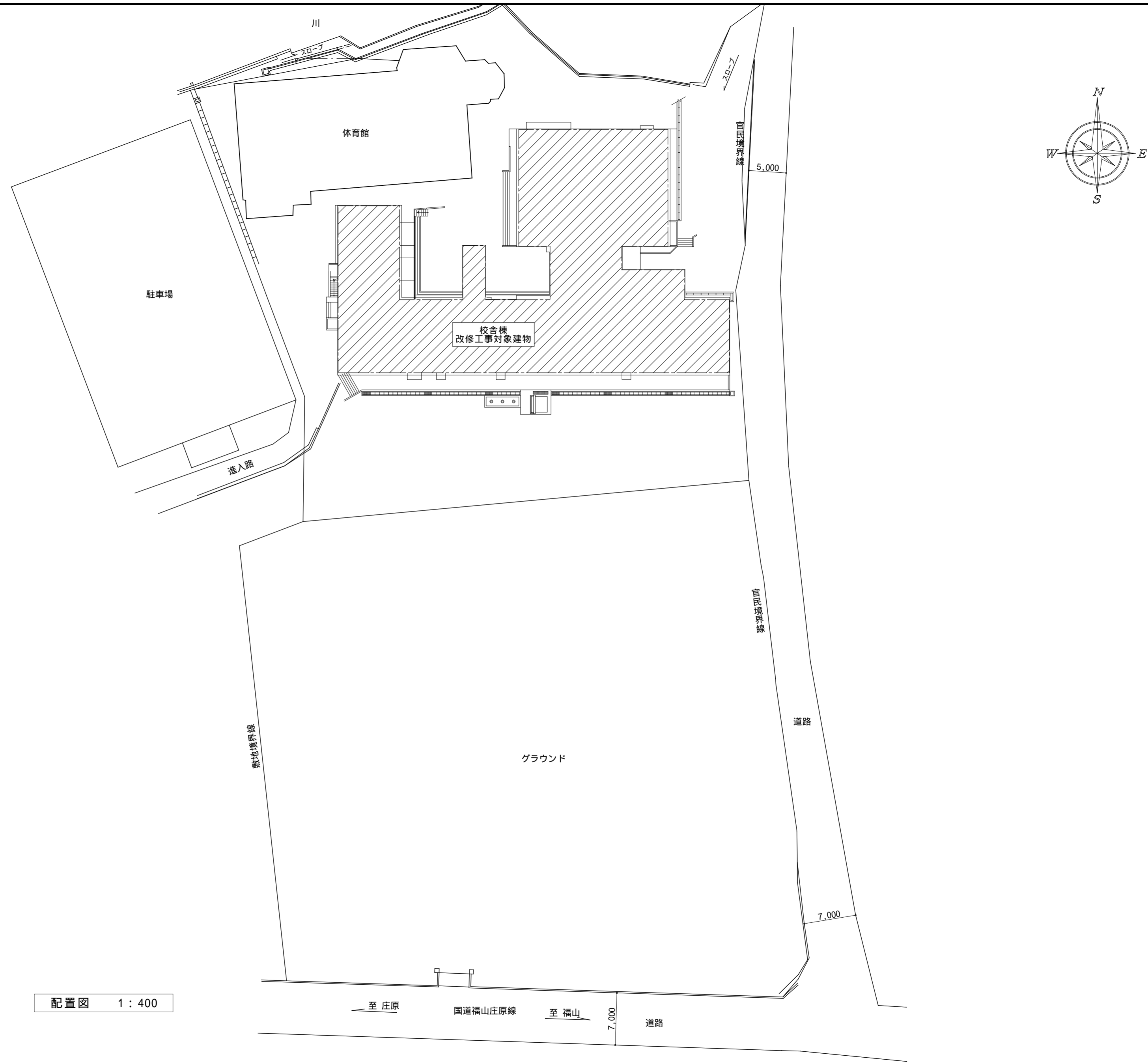
縮尺

設計概要

工事名称	総領小学校トイレ洋式化工事実施設計委託			
建築主	住所	庄原市中本町一丁目10番1号 TEL 0824-73-1111		
	氏名	庄原市長 八谷 恭介		
その他	工事場所	庄原市総領町下領家267番地		
	用途地域	都市計画区域外		
	防火地域	指定無し		
	備考			
主要用途	小学校			
工事種別	改修			
面積	敷地面積	8,407.90 m ²		
	建築面積	申請建物 65.00	その他建物 57.97 合計 251.58 m ²	
	延床面積	65.00	57.97 251.58 m ²	
工事期間	着工予定	令和 8 年 7 月 日		
	竣工予定	令和 8 年 1 2 月 日		
棟別概要	用途	小学校		
	工事種別	改修		
	構造	基礎	鉄筋コンクリート造	
		躯体	鉄筋コンクリート造	
		屋根	GL鋼板厚0.6折板葺きH=90㎝'式	
	造	外壁	窯業系サイディング貼り厚16	
		建築面積	65.00 m ²	
	床面積	1階	65.00 m ²	
		2階		
		3階		
		4階		
		5階		
		合計	65.00 m ²	
	最高の高さ	5.255 m		
	最高の軒高	4.765 m		
	床の高さ	0.375 m		
付帯工事				
設備工事	電気設備	一式 (受変電、幹線、コンセント、電灯、非常照明、その他弱電等)		
	給水・排水設備	一式		
	衛生設備	一式		
	凍上防止設備	一式		
	給湯設備	一式		
	空調・換気設備	一式		
別途工事				



記事：	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日 2026・01	図面番号 A 1 0
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号	・法適合確認	・1級建築士登録第 号			
		倉田 洋 二	倉田 まゆみ	・設備設計	・土法20条の3 設備設計1級建築士 号			
				・法適合確認	・1級建築士登録第 号			




配置図 1:400

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						配置図	1:400	

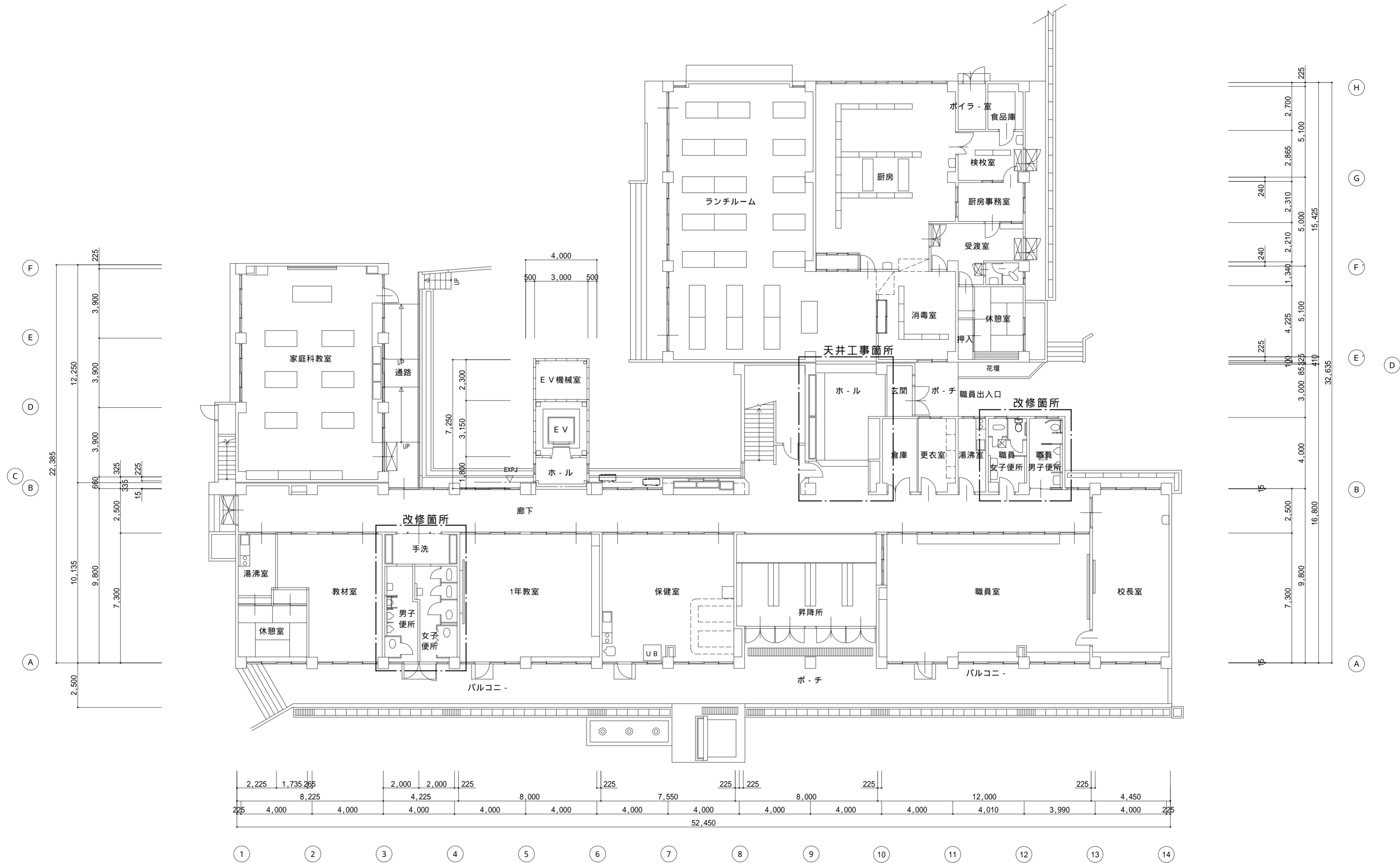
A 校舎外部仕上				略記号			
根廻り	モルタル刷毛引き (既存のまま)	バルコニー	床：防水モルタルコテ押え (既存のまま)				
外 壁	コンクリート打放し，アクリルリシン吹付 (既存のまま)		コンクリート打放し，アクリルリシン吹付 (既存のまま)	C	鉄筋コンクリート (コクリト)		
	一部モルタル押え 吹付タイル			S	鉄造 (鉄)		
屋 根	シート防水露出工法 ハヤトップ仕上 (既存のまま)			W	木造 (木)		
	コンクリート金コテ押え (既存のまま)			CB	補強コクリト+ログ造 (コクリト+ログ)		
雨樋	ルーフトレン コールタール焼付 (既存のまま)			ALC	軽量気泡コンクリート		
	縦樋 V P 75 ,養生管 S G P OP L=1800 (既存のまま)			LGS	軽量鉄骨下地		
				M	モルタル		
				RM	ラスモルタル		
B 校舎内部仕上				GL	石膏ボード直張工法		

階	室 名	床	下地	巾 木	H	壁	塗装	天井	塗装	下地	天井高	廻 縁	室名札	備 考	LB	ラスポード	
校舎1階	職員男子便所	磁器モザイクタイル貼り	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,525	塩ビ	ビ'外	撤去 隔て板、トルゲ-ス、フコデ イソカチ、フコデ-面台、配管ライン	PB	石膏ボード	
		《水洗清掃》		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》							撤去 床下点検口(防水・防臭)	BTB	シーリング(防水)石膏ボード	
	職員女子トイレ	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,425	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン	KB	けい酸カルシウム板(無石綿)
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】								撤去 床下点検口(防水・防臭)	CR	カーテンレール	
	職員女子便所	磁器モザイクタイル貼り	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,525	塩ビ	ビ'外	撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン	VB	ベネシャンプラインド	
		《水洗清掃》		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》							撤去 床下点検口(防水・防臭)			
	職員男子トイレ	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,425	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン		
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】								撤去 床下点検口(防水・防臭)			
	手洗い	磁器モザイクタイル貼り	防水M			モルタル押え 《下地調整：RC種》	AEP	C	化粧石こうボード		LGS	2,640	塩ビ		撤去 SUS製流し台、73製引き違い戸		
		《水洗清掃》				半磁器100角タイル貼り H1,200 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M								一時撤去・仮置き		
	男子便所	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】		アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	EP-G 【新設】	C	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】		塩ビ	突付	新設 自隠しパーティション、手動軽量シャッター、掃具入れ		
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】								再取付 樹脂面台、配管ライン		
男子トイレ	磁器モザイクタイル貼り	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,725	塩ビ	〇		撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン			
	《水洗清掃》		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》								撤去 掃具入れ			
女子便所	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,625	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、隔て板、樹脂面台、配管ライン			
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】									再取付 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン			
女子トイレ	磁器モザイクタイル貼り	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,725	塩ビ	〇		撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン	SOP	合成樹脂調合ペイント	
	《水洗清掃》		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》								撤去 床下点検口(防水・防臭)	OS	オイルステイン	
ホール	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,625	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン、ノスリッパ(樹脂製付付)	CL	クリアラッカー	
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】									再取付 床下点検口(防水・防臭)	UC	ウレタン樹脂ニス	
ホール	ノンスリップシート貼り 厚2.5	M			モルタル押え	AEP	C	クロス貼り		LGS	2,725	塩ビ	〇	撤去	AE	アクリル樹脂エナメル	
	カーペット敷き							石こうボード 厚9.5		LGS 【新設】		塩ビ	突付	一時撤去・仮置き	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	
校舎2階	手洗い	磁器モザイクタイル貼り	M	ビニル巾木 《撤去》	60	モルタル押え 《下地調整：RC種》	AEP	C	化粧石こうボード		LGS	2,640	塩ビ	撤去	WG	木材保護着色塗料	
		《水洗清掃》		《撤去》		半磁器100角タイル貼り H1,100 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M							一時撤去・仮置き	MP	マステック塗材	
	男子便所	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】		ビニル巾木 【新設】	60	ライン部撤去部：モルタル塗り 【新設】	EP-G 【新設】	C	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】		塩ビ	突付	新設 掃具入れ		
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150					既存タイル壁 LGS 【新設】								再取付 SUS製流し台		
	男子トイレ	磁器モザイクタイル貼り、100下地	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,725	塩ビ			撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン	VE	塩化ビニル樹脂エナメル(標準より削除)
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》							撤去 SUS製三方枠			
	女子便所	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,625	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン		
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】									再取付 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン		
	女子トイレ	磁器モザイクタイル貼り、100下地	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,725	塩ビ			撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン		
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》								撤去 SUS製三方枠		
	ホール	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,625	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン		
		コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】									再取付 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン		
手洗い	磁器モザイクタイル貼り	M	ビニル巾木 《撤去》	60	モルタル押え 《下地調整：RC種》	AEP	C	化粧石こうボード		LGS	2,640	塩ビ		撤去			
	《水洗清掃》		《撤去》		半磁器100角タイル貼り H1,100 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M								一時撤去・仮置き			
男子便所	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】		ビニル巾木 【新設】	60	ライン部撤去部：モルタル塗り 【新設】	EP-G 【新設】	C	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】		塩ビ	突付	新設 掃具入れ			
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150					既存タイル壁 LGS 【新設】								再取付 SUS製流し台			
男子トイレ	磁器モザイクタイル貼り、100下地	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,725	塩ビ			撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン			
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》								撤去 SUS製三方枠			
女子便所	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,625	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン			
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】									再取付 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン			
女子トイレ	磁器モザイクタイル貼り、100下地	防水M			半磁器100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》	M	ケイカル板 底目地張り 厚6	AEP	LGS	2,725	塩ビ			撤去 トルゲ-ス、フコデ-面台、配管ライン			
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150		《水洗清掃》	《撤去》	ライン部：半磁器100角タイル貼り C B 積み下地	《撤去》								撤去 SUS製三方枠			
ホール	ビニル床シート貼り 厚2.0 【新設】	カチオン系下地調整材	アルミ目透し見切材		不燃MVA化粧板張り 既存タイル下地、浮き・不陸部下地調整 【新設】	既存タイル壁 LGS 【新設】	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り工法		LGS 【新設】	2,625	塩ビ	突付	ビ'外	新設 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン			
	コンクリート打設 厚100 MM CD68150				新規配管ライン部：不燃MVA化粧板張り BTB12.5下地 【新設】									再取付 トルゲ-ス、樹脂面台、配管ライン			

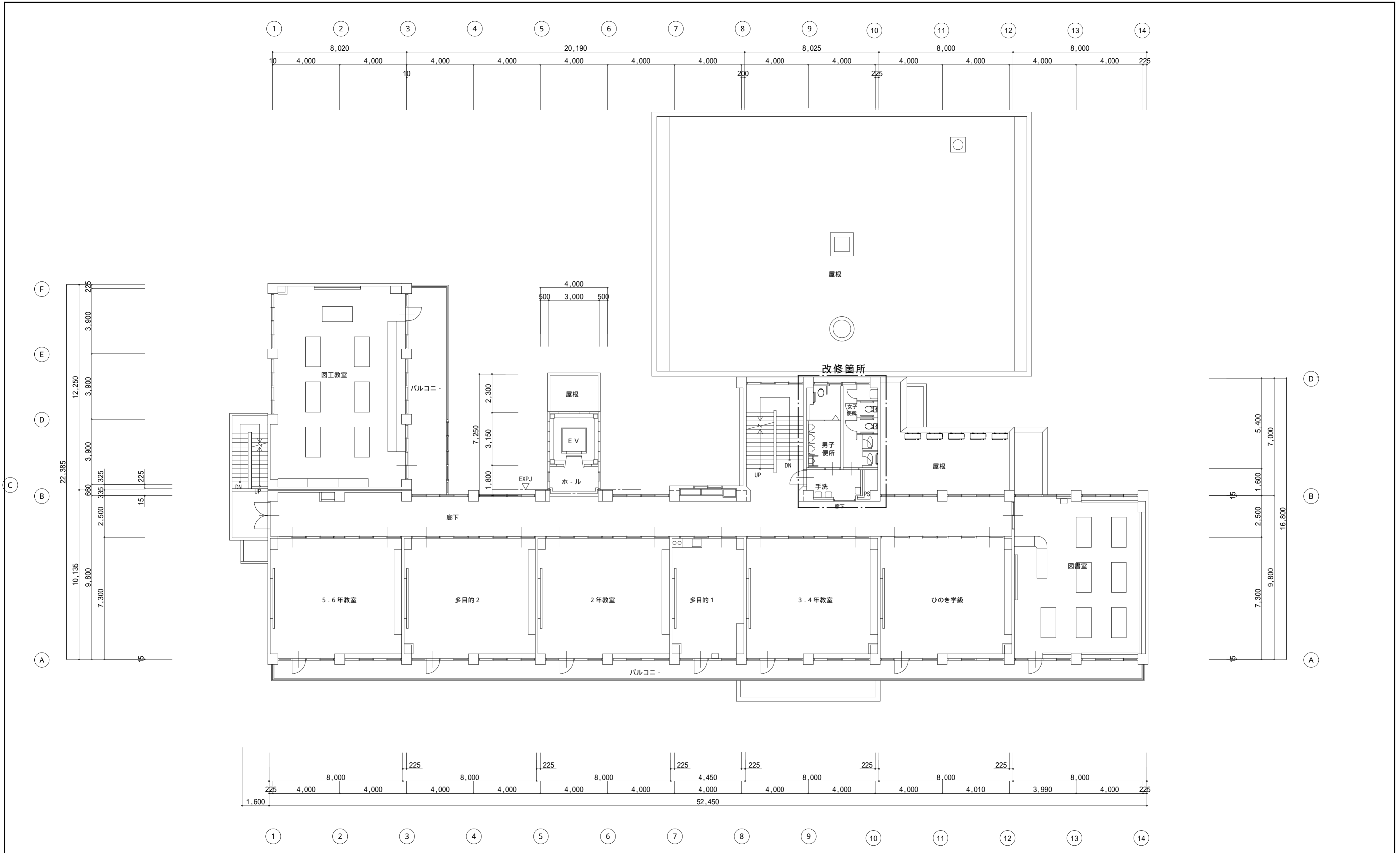
記事：	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日	2026・01	図面番号	A 1 2
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号	倉田 洋二	倉田 まゆみ	・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称	縮 尺		

仕上表(改修前・後)



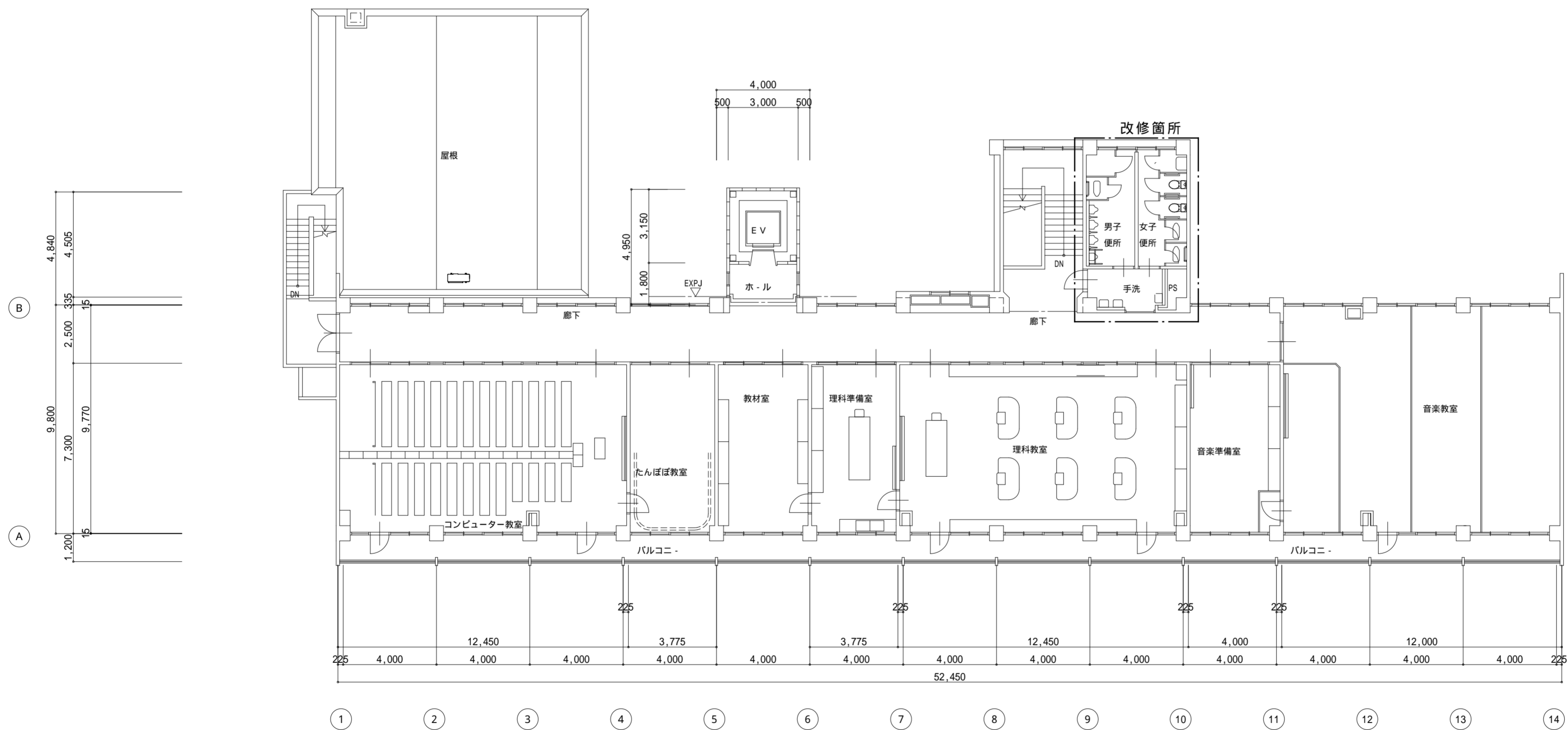


記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日 2026・01	図面番号 A 1 3
				・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称 1階平面図	縮尺 1:150	



2階平面図 1:150

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						2階平面図	1:150	



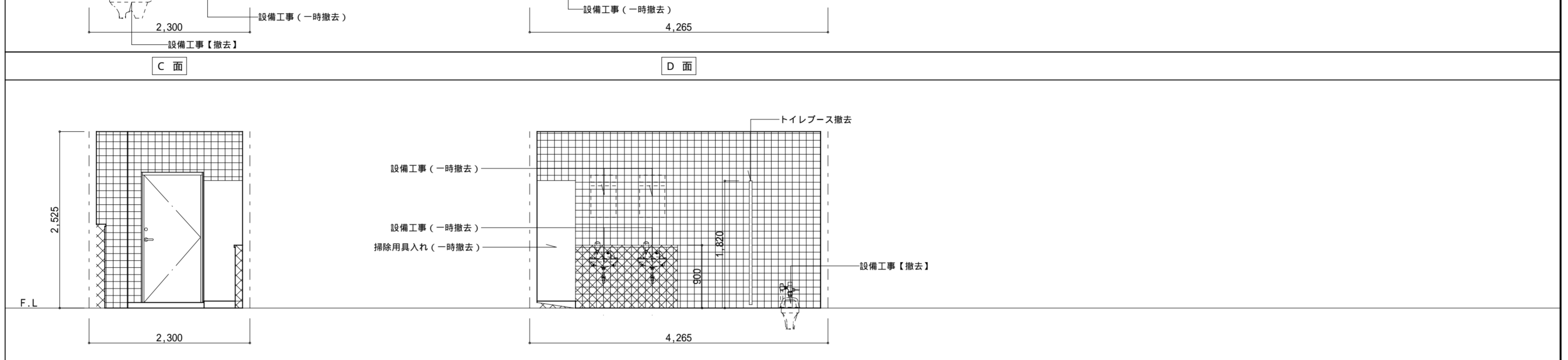
3階平面図 1:150

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 3階平面図	設計年月日 2026・01	図面番号 A 1 5
				・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号		縮尺 1:150	

職員女子便所		A 面	B 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース【撤去】	
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地	トイレブース【撤去】	
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 【一部撤去】	トイレブース【撤去】	
廻縁	塩ビ 【撤去】	トイレブース【撤去】	
天井	石綿ケイカル板 厚6 AEP 【撤去】	トイレブース【撤去】	

備考
 トイレブース【撤去・処分】
 床下点検口,テラゾ面台,配管ライニング【撤去・処分】
 掃具入れ【一時撤去・仮置】

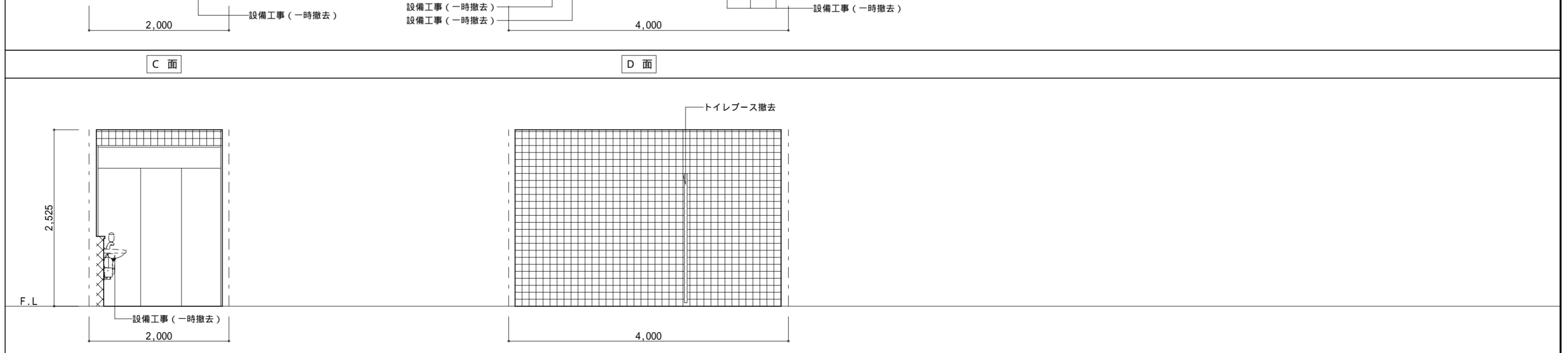
解体撤去部分



職員男子便所		A 面	B 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース撤去	
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地	トイレブース撤去	
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 【一部撤去】	トイレブース撤去	
廻縁	塩ビ 【撤去】	トイレブース撤去	
天井	石綿ケイカル板 厚6 AEP 【撤去】	トイレブース撤去	

備考
 トイレブース,アコーディオンカーテン【撤去・処分】
 床下点検口,テラゾ面台,配管ライニング【撤去・処分】

解体撤去部分



記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
	倉田 洋二	倉田 まゆみ	1階展開図-1 改修前	縮尺	1:50			

職員男子トイレ		A面		B面	
床	ビニル床シート				
巾木	カラーアルミ製目透かし見切材				
腰/壁	不燃メラミン化粧板貼り (既存タイル下地) 配管ラインング部 不燃メラミン化粧板貼り BTB12.5下地 LGS下地				
廻縁	カラーアルミ製見切材				
天井	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り				

備考

ブース1
 腰掛大便器 (再取付)
 温水暖房便座【新設】
 二連紙巻器【新設】
 L型手摺 (再取付)
 I型手摺 (再取付)

ブース2
 掃除流し【新設】

不燃メラミン化粧板貼り(新設)
 タイル下地(既存利用)
 不燃メラミン化粧板貼り(新設)
 BTB12.5 LGS下地(新設)

C面		D面	

職員女子トイレ・多目的トイレ		A面		B面	
床	ビニル床シート				
巾木	アルミ製目透かし見切材				
腰/壁	不燃メラミン化粧板貼り (既存タイル下地) 配管ラインング部 不燃メラミン化粧板貼り BTB12.5下地 LGS下地				
廻縁	カラーアルミ製見切材				
天井	化粧ロックウール吸音板 厚9 直張り				

備考

ブース1
 腰掛大便器 (再取付)
 温水暖房便座【新設】
 二連紙巻器【新設】
 L型手摺 (再取付)
 跳上げ手摺【新設】

ブース2
 腰壁大便器【新設】
 温水暖房便座【新設】
 二連紙巻器【新設】

不燃メラミン化粧板貼り(新設)
 タイル下地(既存利用)
 不燃メラミン化粧板貼り(新設)
 BTB12.5 LGS下地(新設)

C面		D面	

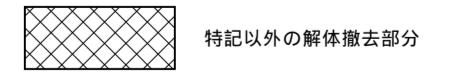
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士)	担当 (総合)	・構造設計 土法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号 ・設備設計 土法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号		総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
		倉田 洋二	倉田 まゆみ	・法適合確認	図面名称	縮尺	A 1 7
				・法適合確認	1階展開図-1 【改修後】	1:50	

女子便所		A 面	B 面	C 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース【撤去】	下地調整 R 種	トイレブース【撤去】
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地			
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 【一部撤去】			
廻縁	塩ビ 【撤去】			
天井	ケイカル板 厚6 AEP 【撤去】			
備考	トイレブース,床下点検口【撤去・処分】 テラゾ面台,配管ライニング,スロープ【撤去・処分】	2,525	1,800	5,500

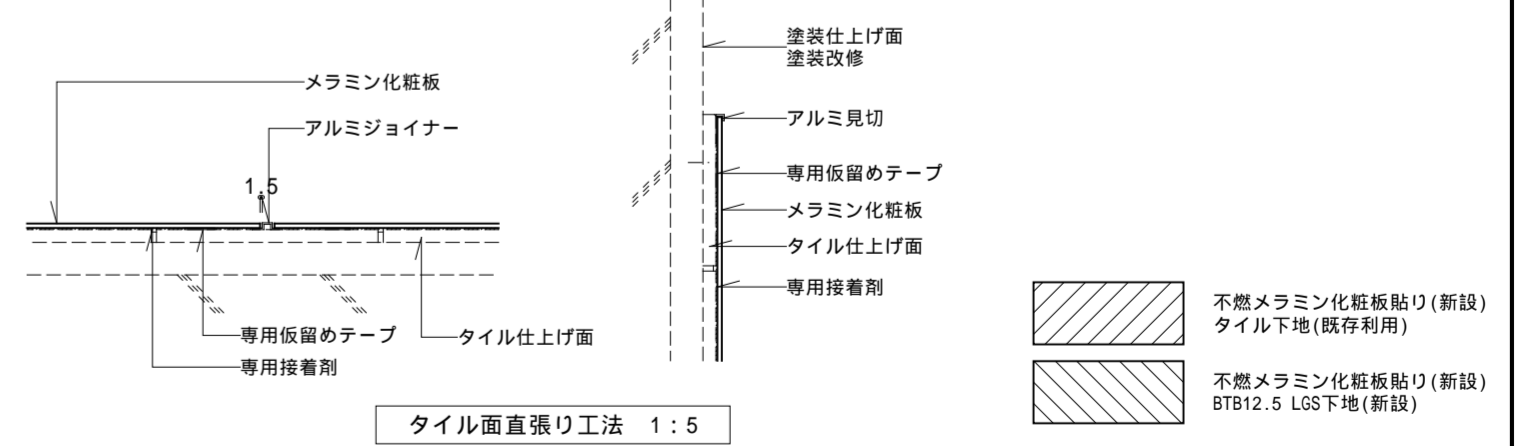
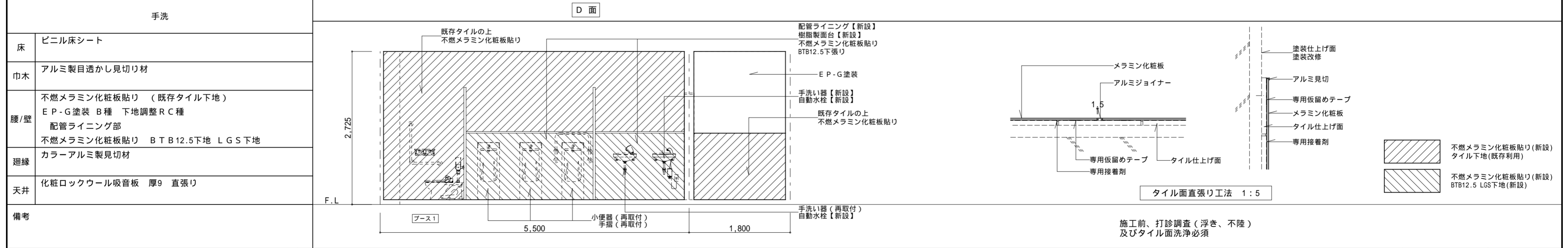
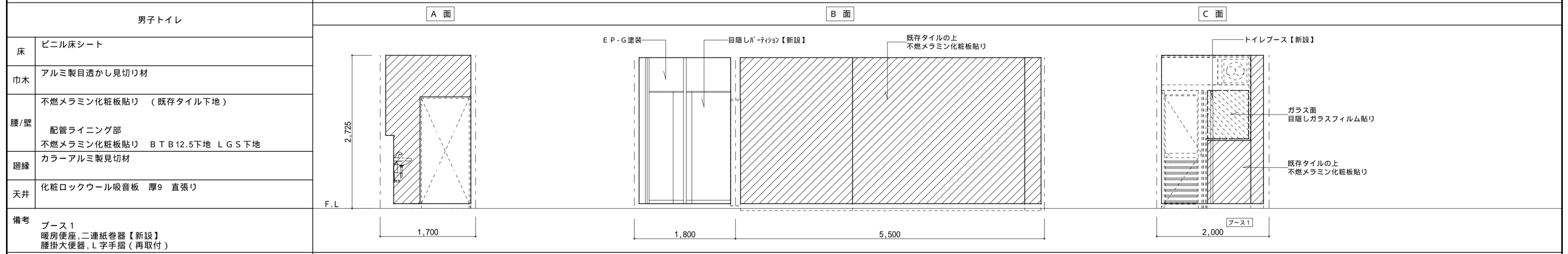
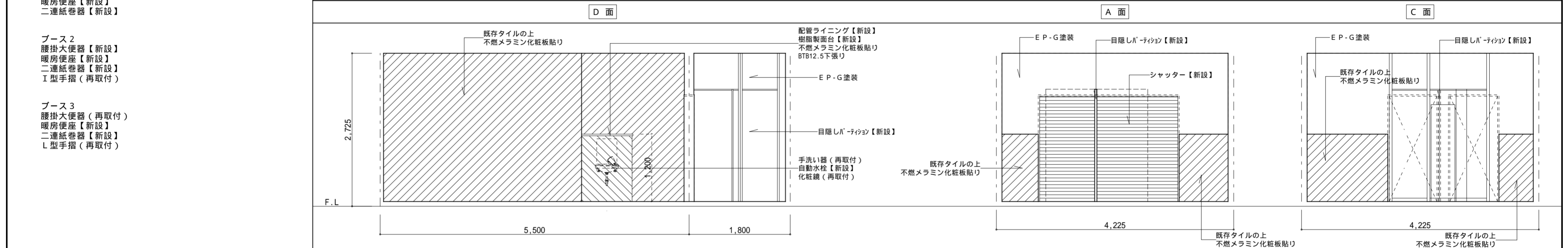
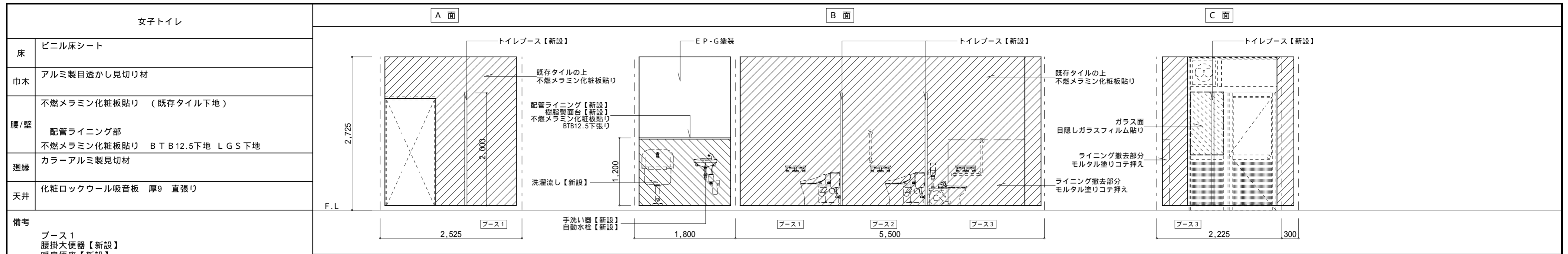
		D 面	A 面	C 面
			下地調整 R 種	下地調整 R 種
			アルミ製建具【撤去】	
			SUS製流し【撤去】	
		2,725	4,225	4,225
		5,500		

男子便所		A 面	B 面	C 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	掃除用具入れ(一時撤去)		
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地			
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 【一部撤去】			
廻縁	塩ビ 【撤去】			
天井	ケイカル板 厚6 AEP 【撤去】			
備考	トイレブース,テラゾ面台,配管ライニング,スロープ【撤去・処分】 掃具入れ【一時撤去・仮置】	1,700	1,800	5,500

手洗		D 面		
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース【撤去】	下地調整 R 種	
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地			
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 モルタル塗り AEP塗装 【下地調整 R 種】			掃除用具入れ(一時撤去)
廻縁	塩ビ 【撤去】			
天井	化粧石こうボード 【撤去】			
備考	SUS製流し台【撤去・処分】	5,500	1,800	SUS製流し【撤去】

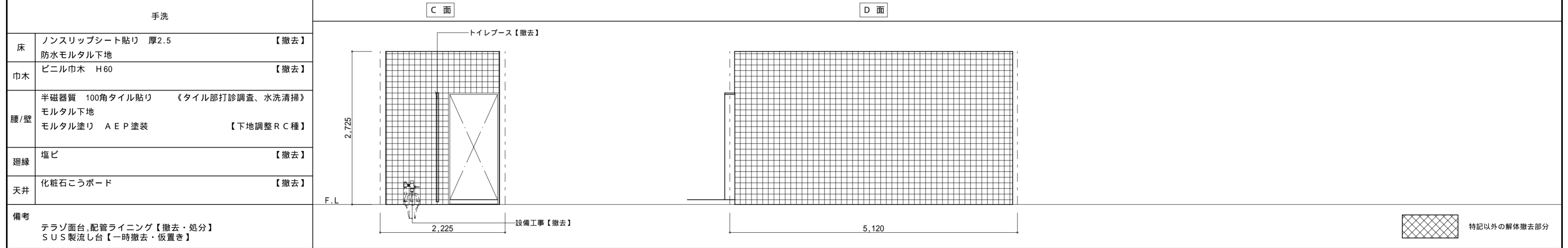
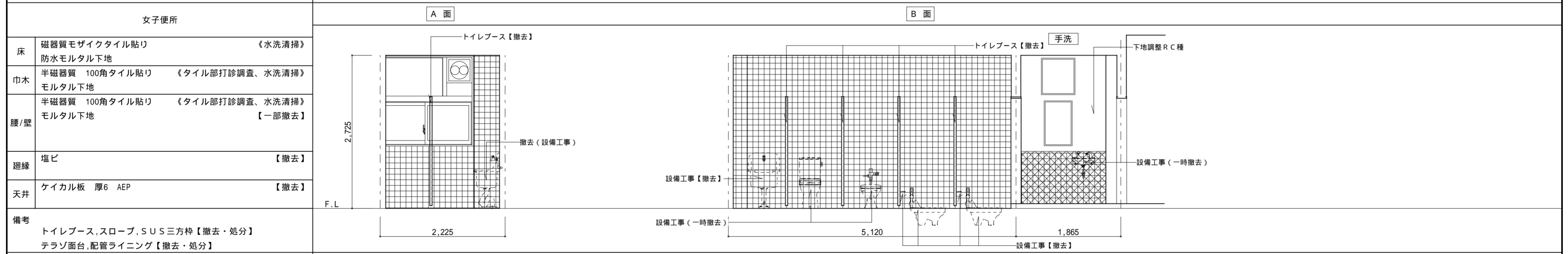
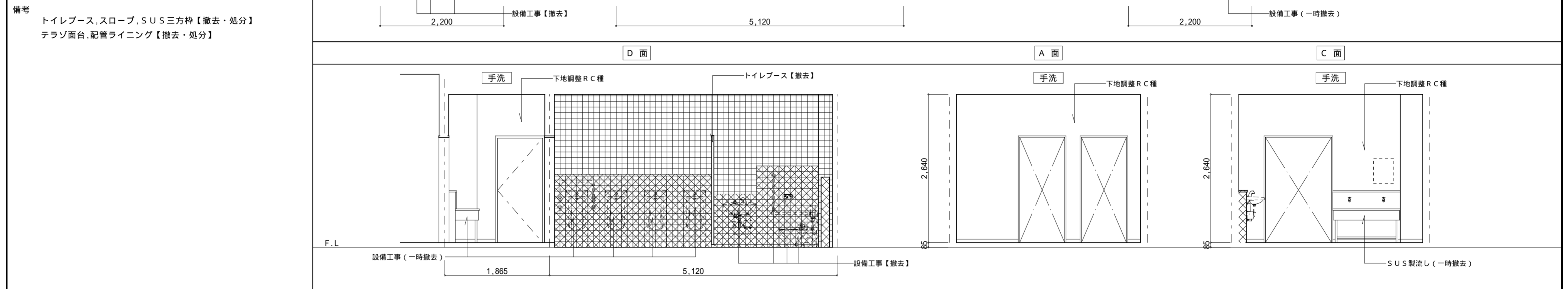
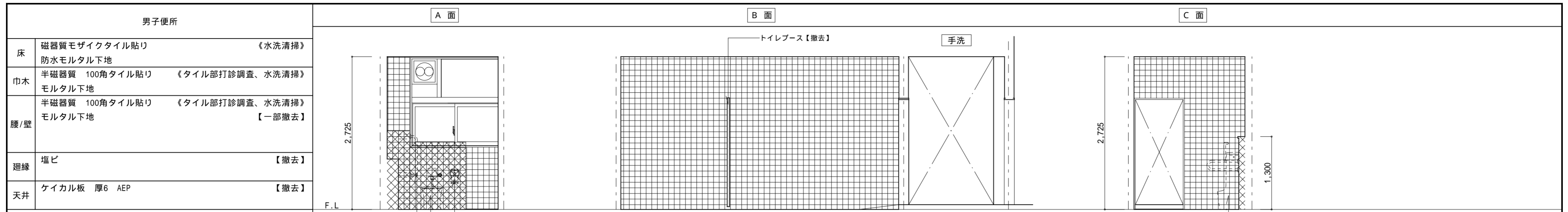


記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						1階展開図-2 改修前	1:50	

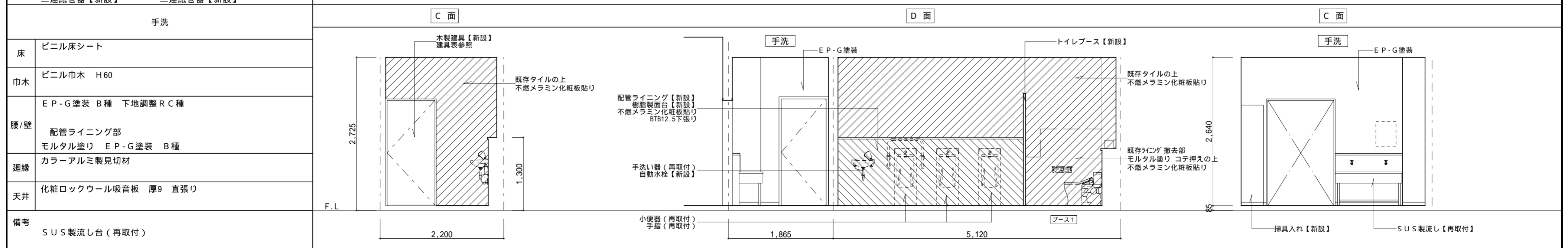
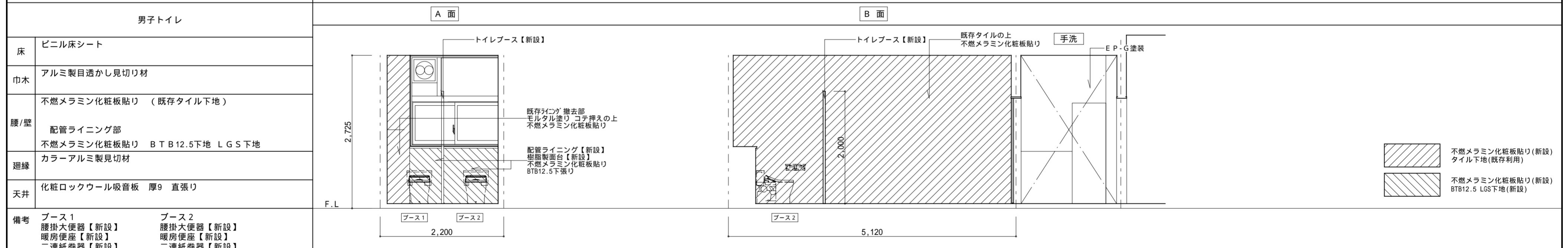
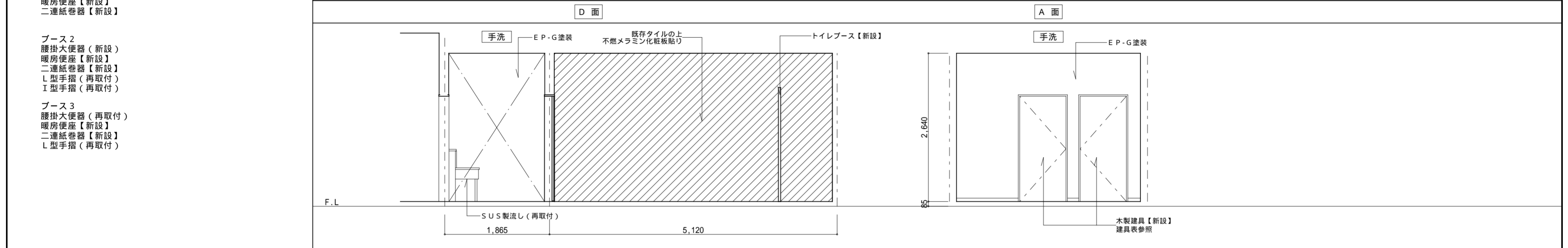
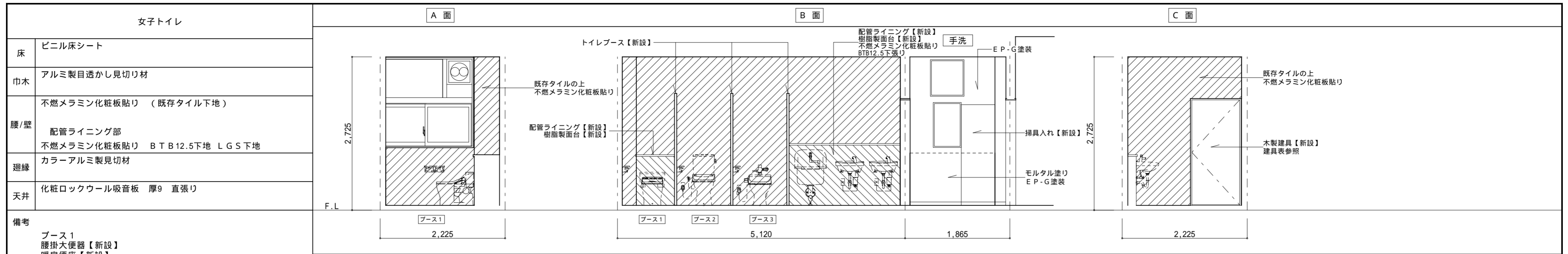


記事:	<p>有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382</p>	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ	・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	A 1 9
						図面名称	縮尺	
						1階展開図-2 【改修後】	1:50	

施工前、打診調査(浮き、不陸)及びタイル面洗浄必須



特記以外の解体撤去部分



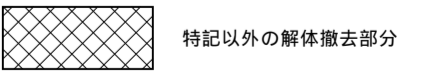
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日	2026・01	図面番号	A 2 1
		倉田 洋二	倉田 まゆみ	・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称	2階展開図 【改修後】	縮尺	1:50		

男子便所		A 面	B 面	C 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース【撤去】		
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地	手洗		
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 【一部撤去】	2,725		
廻縁	塩ビ 【撤去】	F.L		
天井	ケイカル板 厚6 AEP 【撤去】	2,200		
備考	トイレブース、スロープ、SUS三方枠【撤去・処分】 テラソ面台、配管ライニング【撤去・処分】			
		5,120		2,200
		設備工事（一時撤去）		

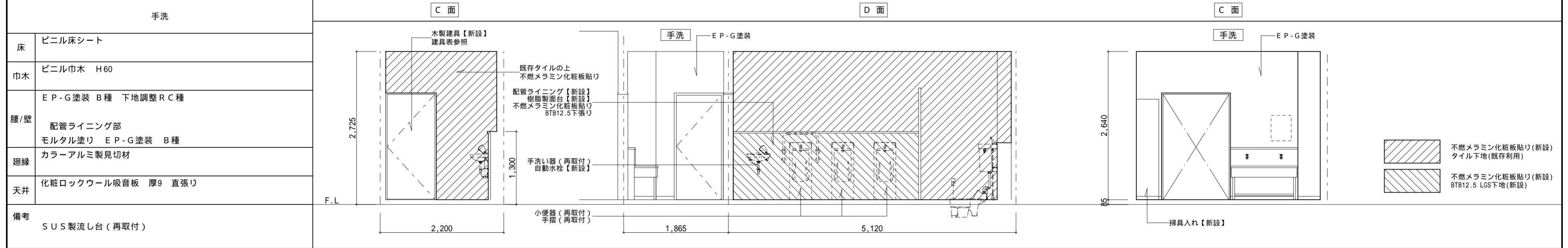
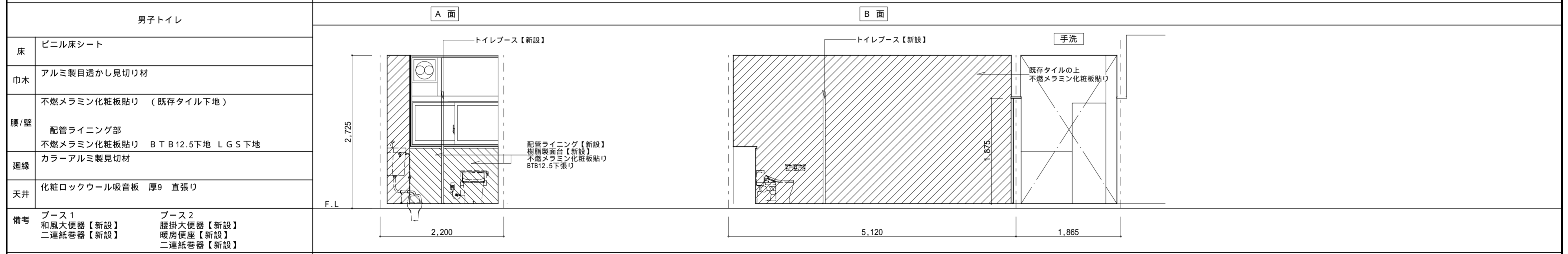
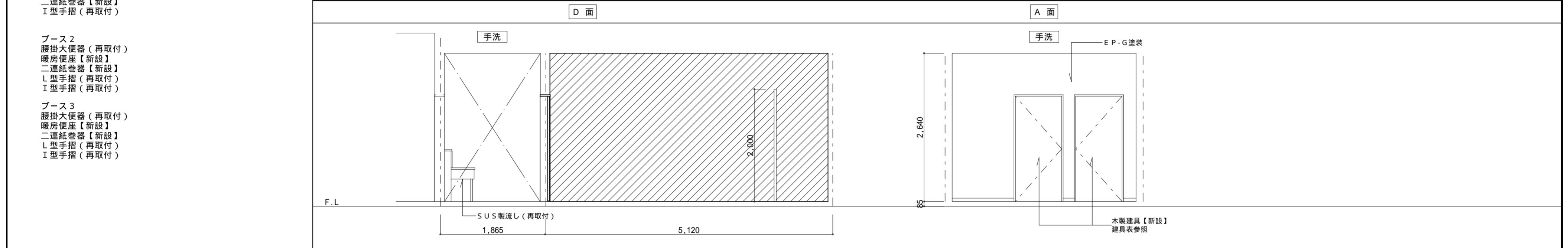
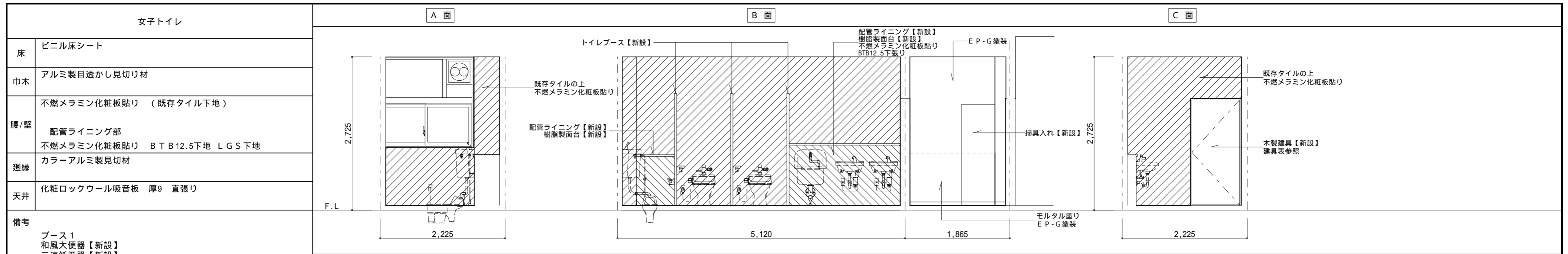
		D 面	A 面	C 面
		手洗		
		下地調整 R C 種		
		設備工事（一時撤去）		
		トイレブース【撤去】		
		設備工事（一時撤去）		
		5,120		2,640
		SUS製流し（一時撤去）		

女子便所		A 面	B 面	C 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース【撤去】		
巾木	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地	トイレブース撤去		
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 【一部撤去】	手洗		
廻縁	塩ビ 【撤去】	下地調整 R C 種		
天井	ケイカル板 厚6 AEP 【撤去】	設備工事【撤去】		
備考	トイレブース、スロープ、SUS三方枠【撤去・処分】 テラソ面台、配管ライニング【撤去・処分】			
		2,225		5,120
		設備工事（一時撤去）		

手洗		C 面	D 面
床	磁器質モザイクタイル貼り 《水洗清掃》 防水モルタル下地	トイレブース撤去	
巾木	ビニル巾木 H60 【撤去】	手洗	
腰/壁	半磁器質 100角タイル貼り 《タイル部打診調査、水洗清掃》 モルタル下地 モルタル塗り AEP塗装 【下地調整 R C 種】	下地調整 R C 種	
廻縁	塩ビ 【撤去】	設備工事【撤去】	
天井	化粧石こうボード 【撤去】	撤去（設備工事）	
備考	テラソ面台、配管ライニング【撤去・処分】 SUS製流し台【一時撤去・仮置き】		
		2,225	
		5,120	



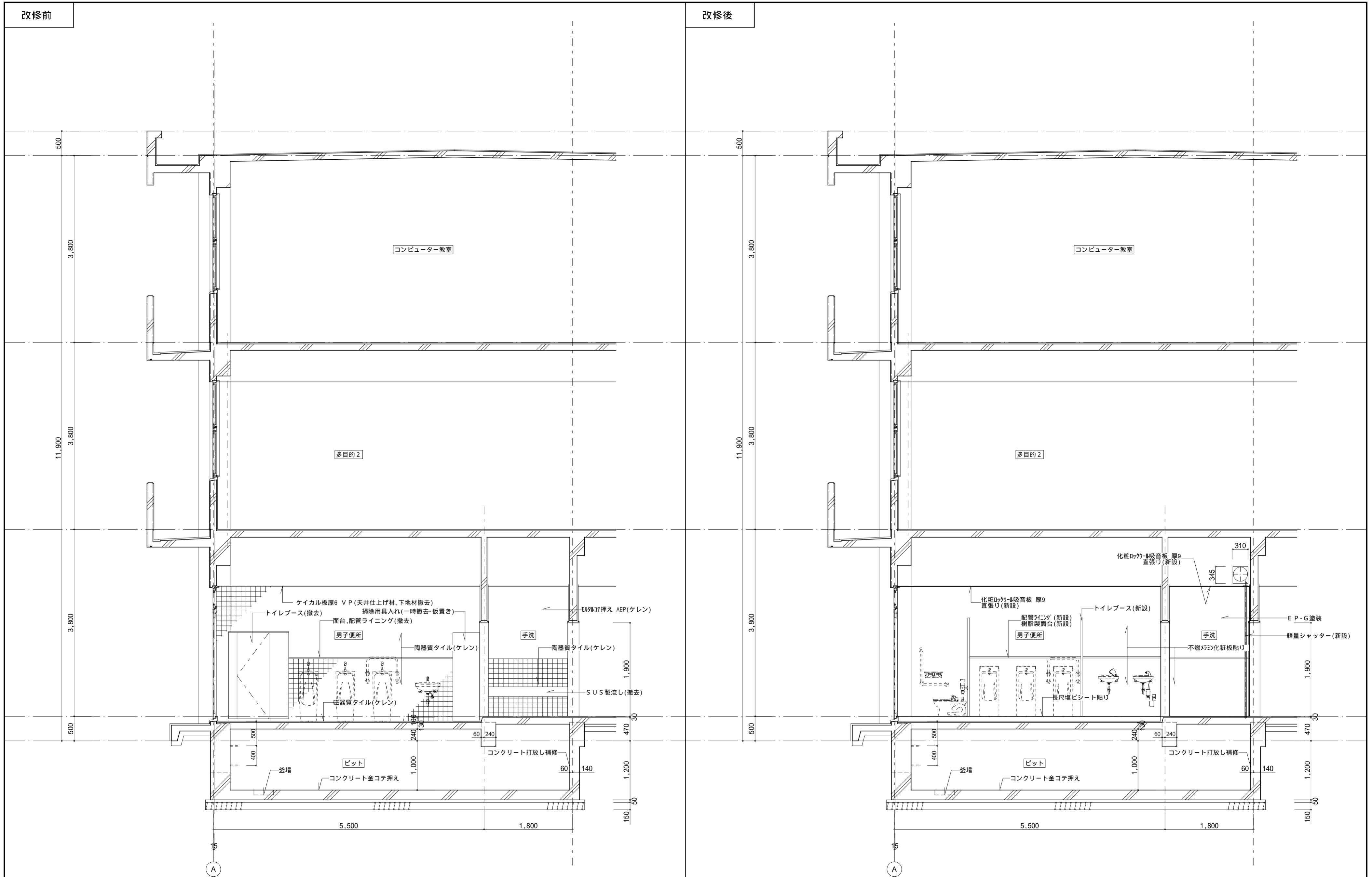
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者（管理建築士）	担当（総合）	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						3階展開図 改修前	1:50	



不燃メラミン化粧板貼り(新設)
タイル下地(既存利用)

不燃メラミン化粧板貼り(新設)
BTB12.5 LGS下地(新設)

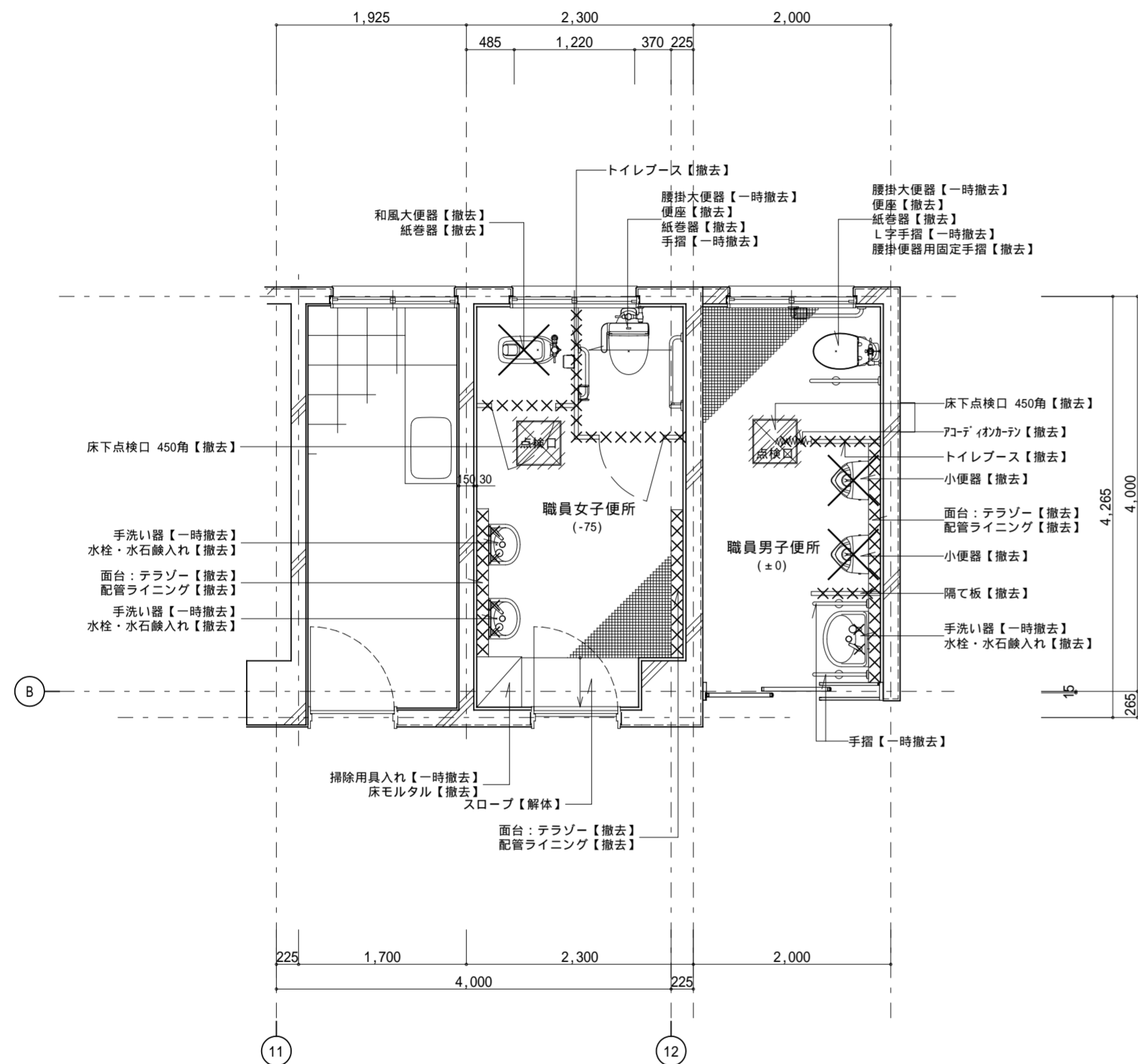
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 土法20条の2 構造設計1級建築士 倉田 洋二 ・法適合確認 1級建築士登録第 229944号 ・設備設計 土法20条の3 設備設計1級建築士 倉田 まゆみ ・法適合確認 1級建築士登録第 225544号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ		総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
					図面名称	縮尺	
					3階展開図 【改修後】	1:50	



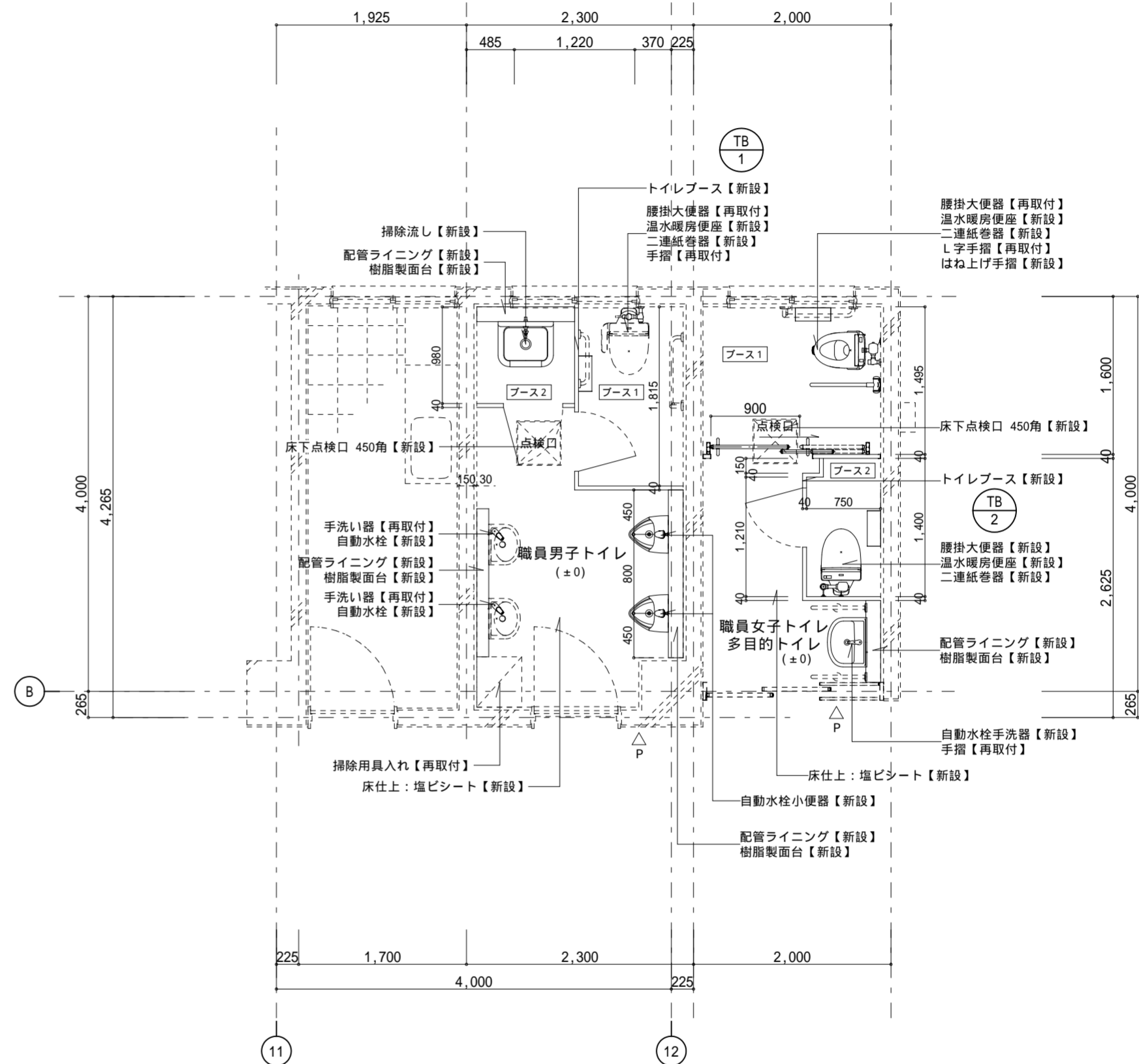
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士)	担当 (総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 矩計図-1	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号			縮尺	
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			2026・01	1:50

改修前

改修後



平面詳細図 1:50



平面詳細図 1:50


凡例

◁	室名札
◁P	ビクトサイン

既設換気扇共通 【撤去】

既設換気扇共通 【新設】

記事:


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号
・1級建築士登録第 号

・設備設計

・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号
・1級建築士登録第 号

・法適合確認

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階平面詳細図-1 (改修前・後)

設計年月日

2026・01

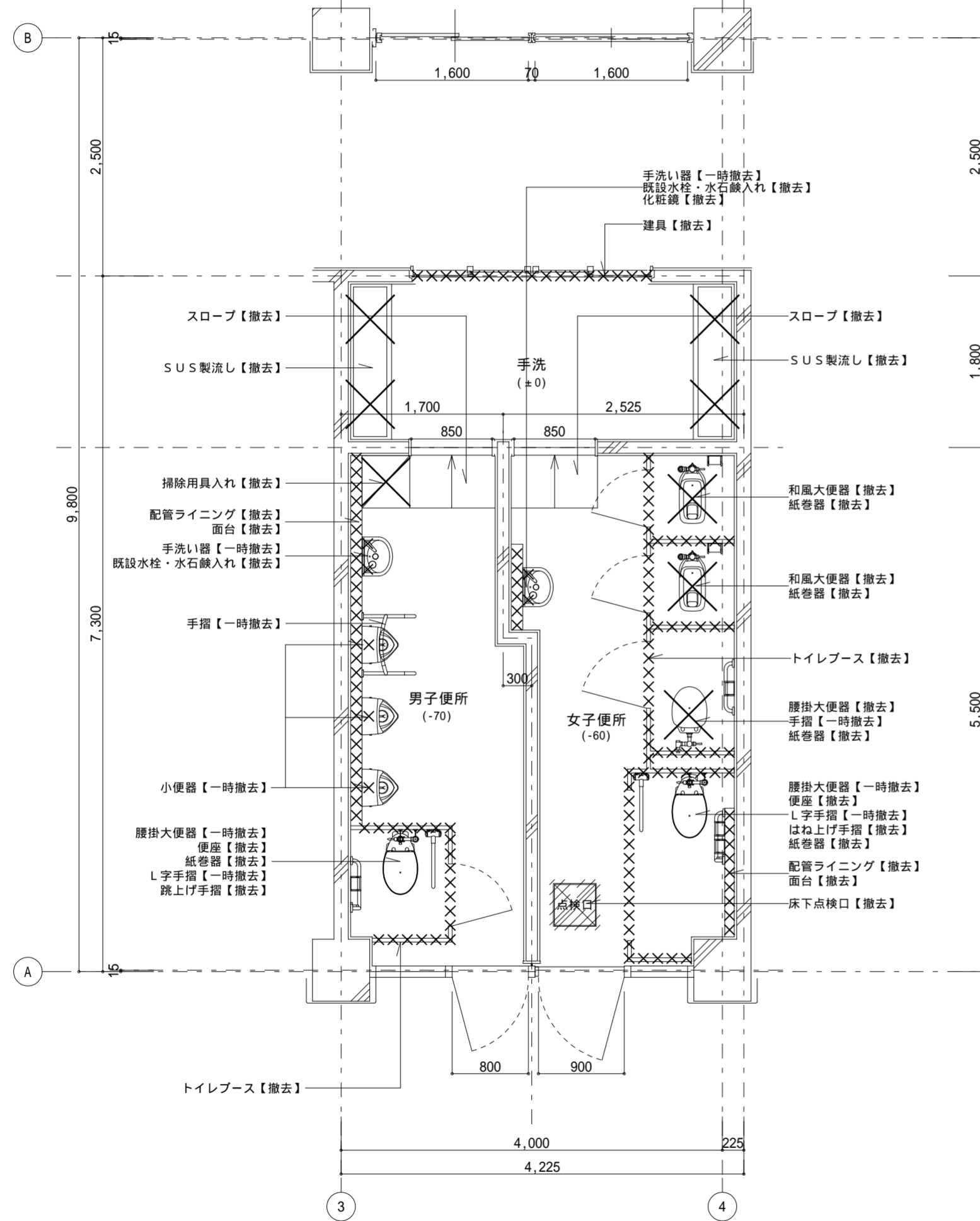
縮尺

1:50

図面番号

A 2 6

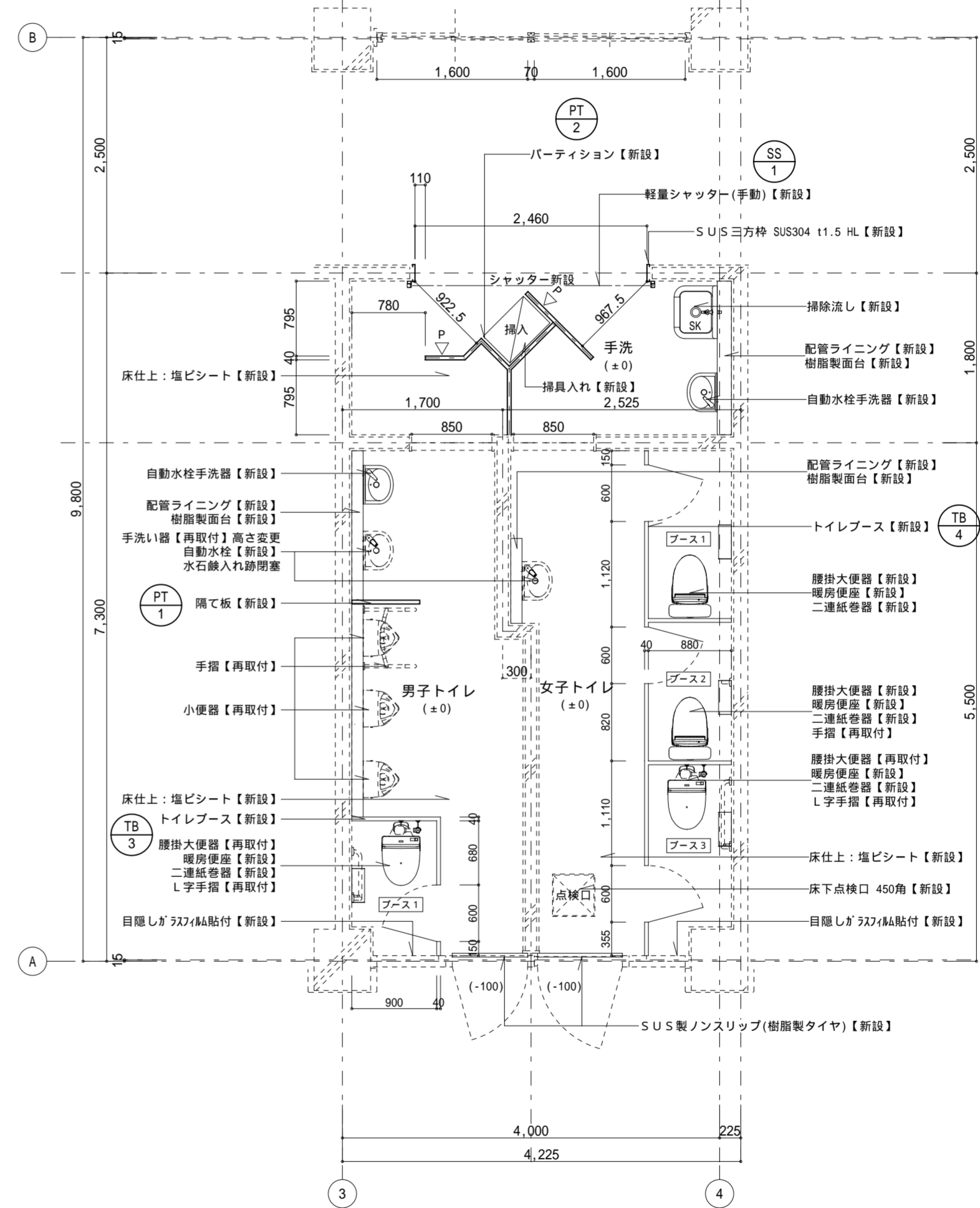
改修前



平面詳細図 1:50

既設換気扇共通 【撤去】

改修後




平面詳細図 1:50

既設換気扇共通 【新設】

凡例

◁	室名札
◁P	ピクトサイン

記事:


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号
倉田 洋二

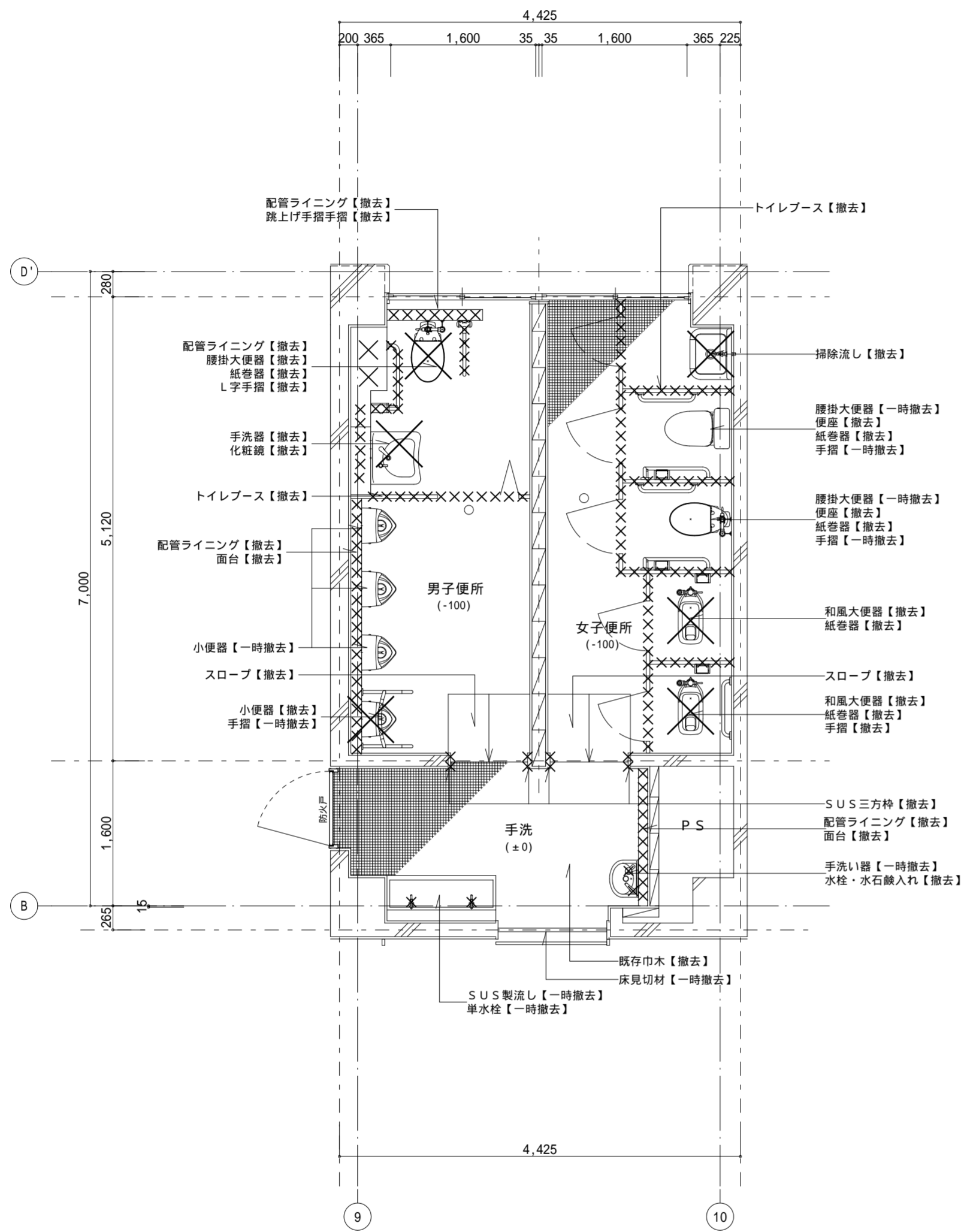
担当(総合)
 1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

・構造設計 土法20条の2 構造設計1級建築士 登録第 号
 ・法適合確認 1級建築士登録第 号
 ・設備設計 土法20条の3 設備設計1級建築士 登録第 号
 ・法適合確認 1級建築士登録第 号

工事名称 **総領小学校トイレ洋式化工事**
 図面名称 **1階平面詳細図-2 (改修前・後)**

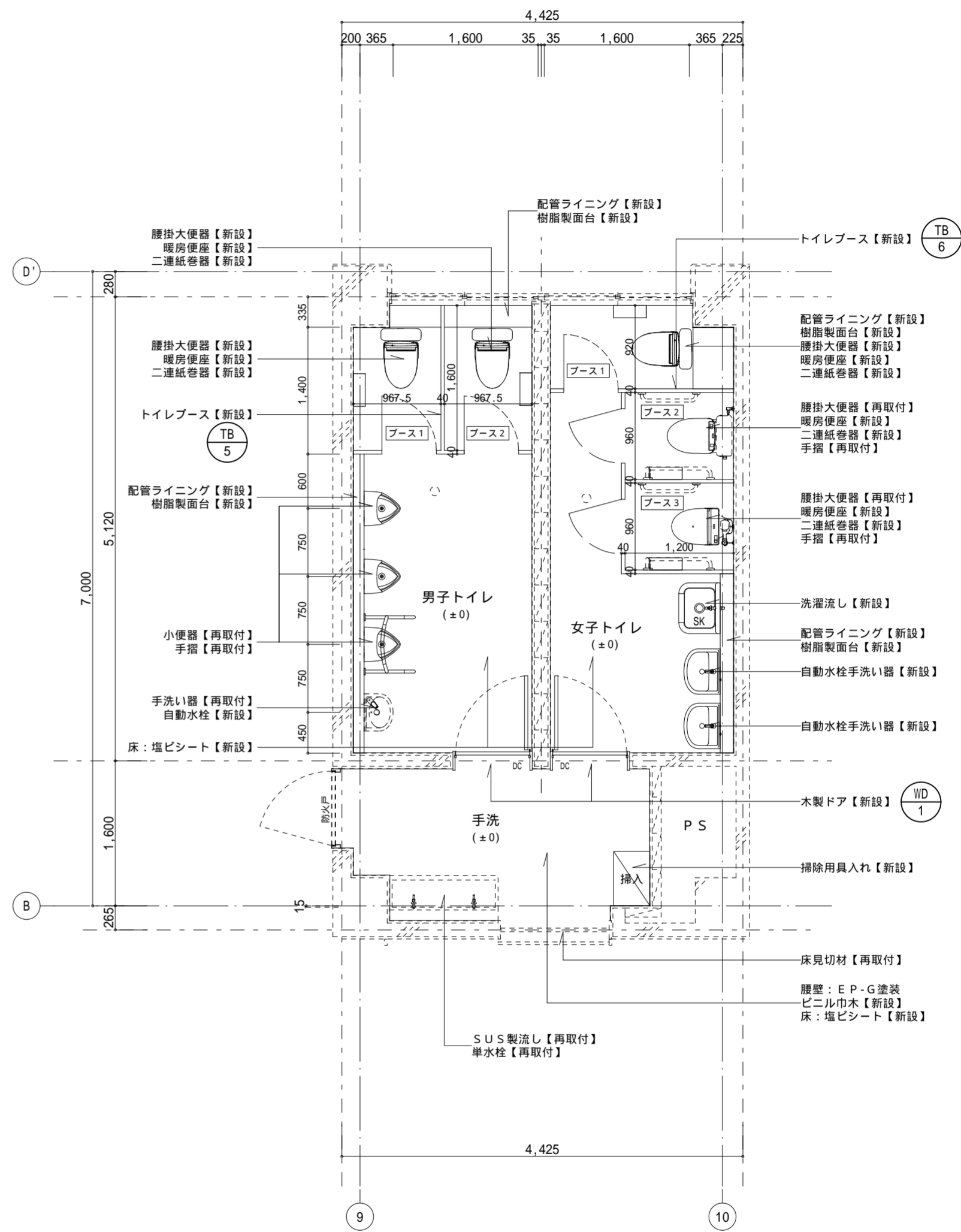
設計年月日 2026・01
 縮尺 1:50
 図面番号 **A 2 7**

改修前




平面詳細図 1:50

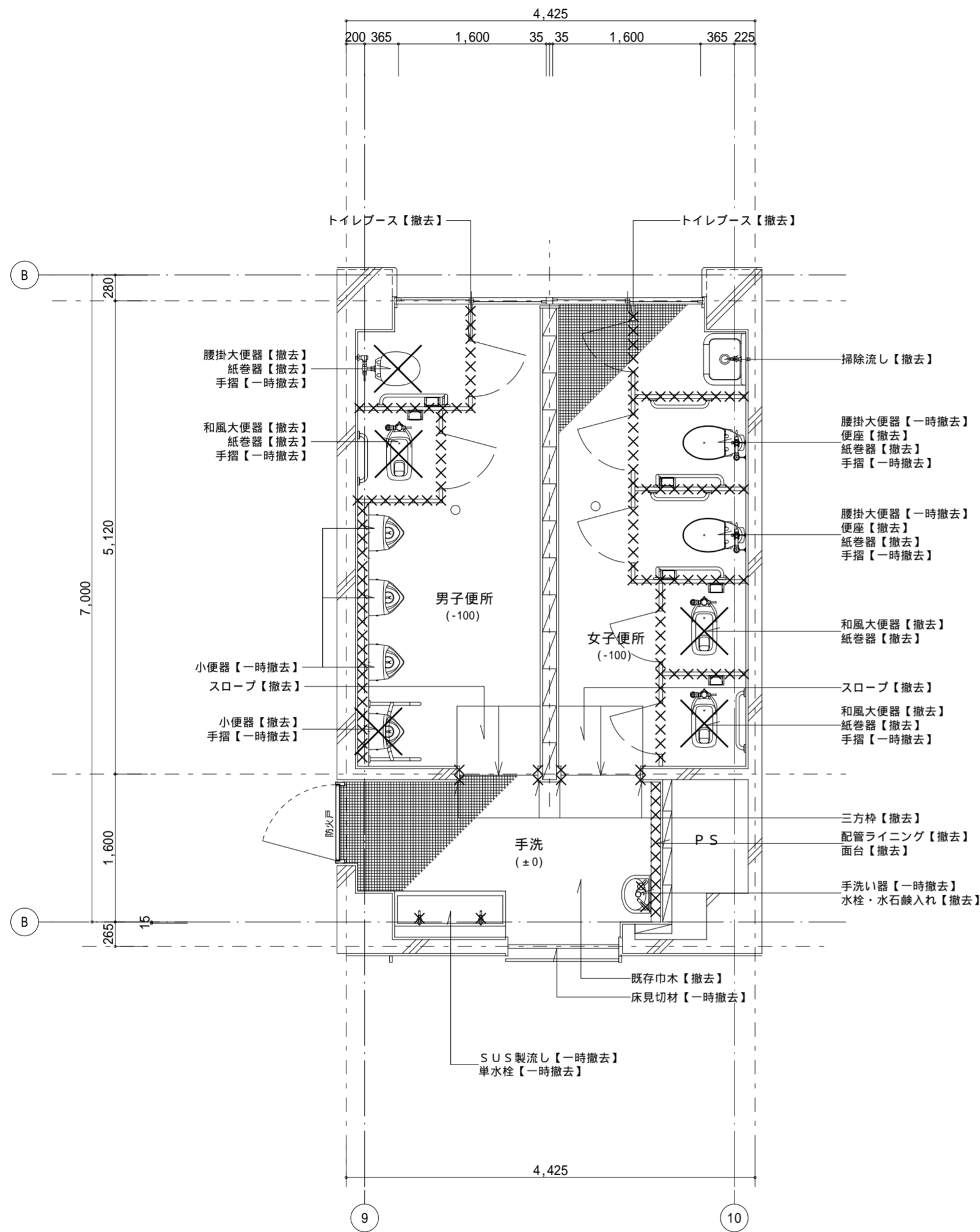
改修後



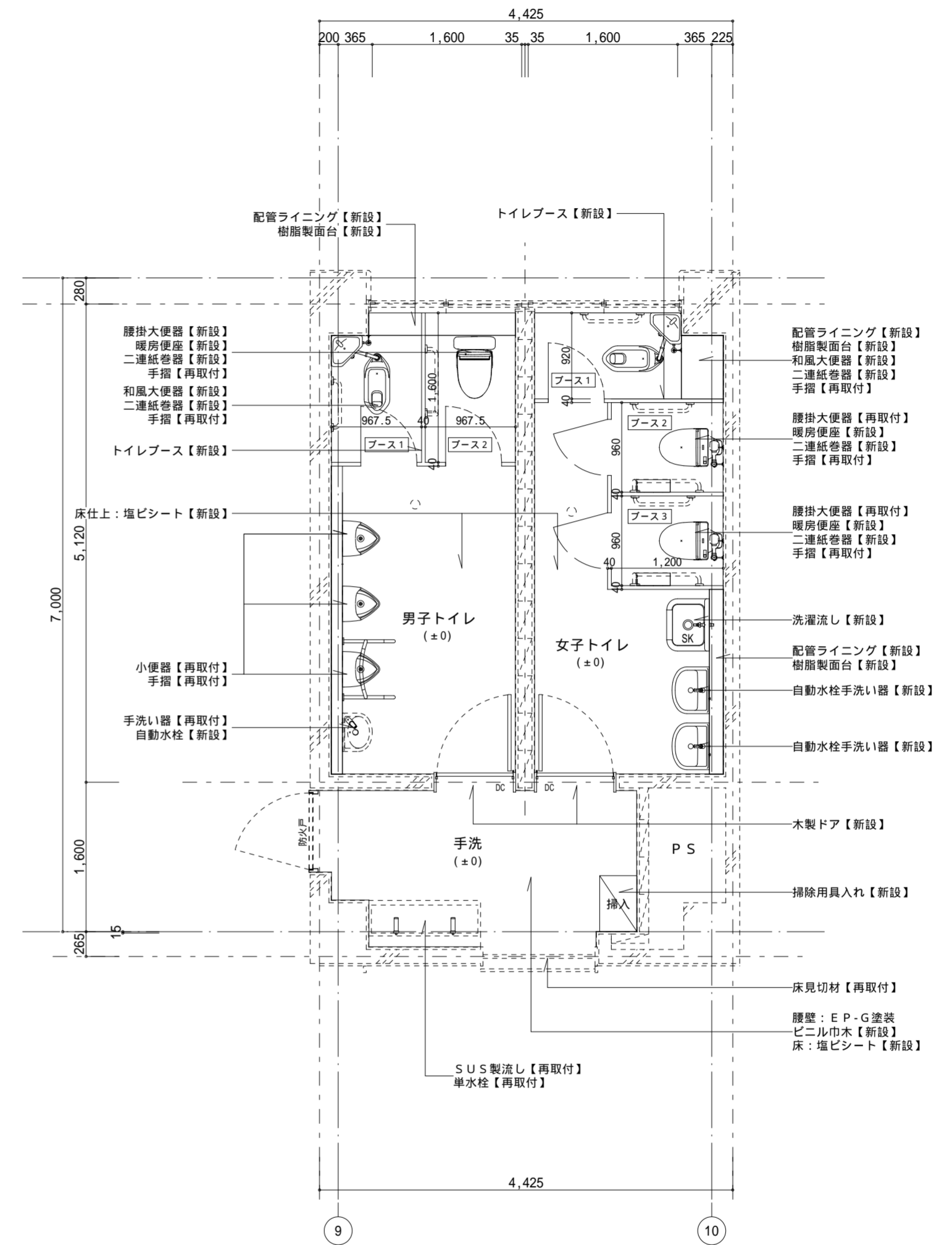
平面詳細図 1:50

記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						2階平面詳細図(改修前・後)	1:50	

改修前



改修後



記事：

㊦ 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)
1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認
・設備設計
・法適合確認

・土法20条の2 構造設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号
・土法20条の3 設備設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

工事名称
総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称
3階平面詳細図 (改修前・後)

設計年月日
2026・01

縮尺
1:50

図面番号

A 2 9

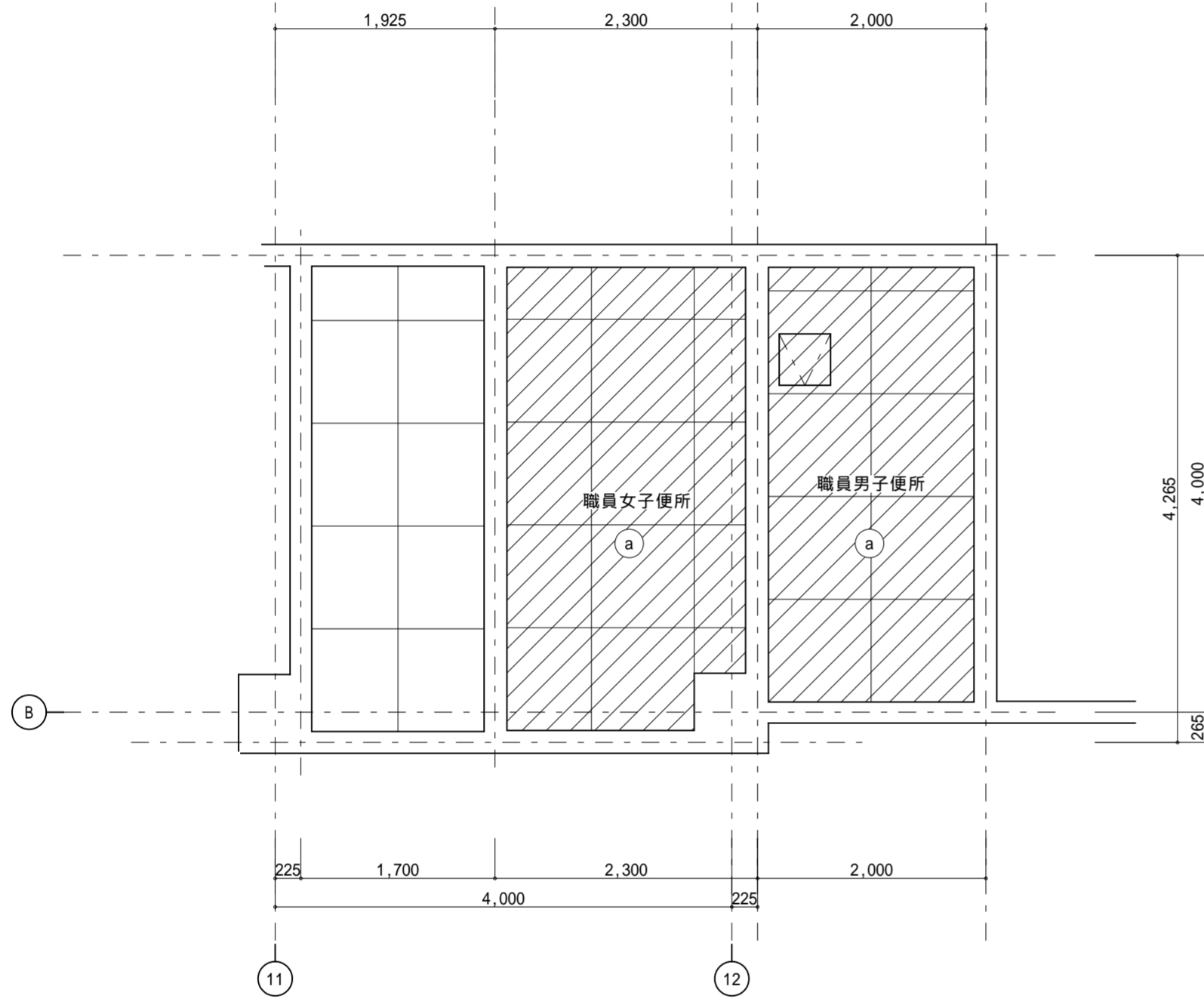
改修前

記号	仕上	備考
Ⓐ	石綿ケイカル板 厚6 底目地張り AEP	(撤去)

☑ アルミ天井点検口 450×450 (一部撤去仮置き)

▨ ハッチ部分は天井解体・撤去範囲を表す

1. 照明器具：撤去・処分 (電気設備工事)
2. 換気扇：撤去・処分 (機械設備工事)

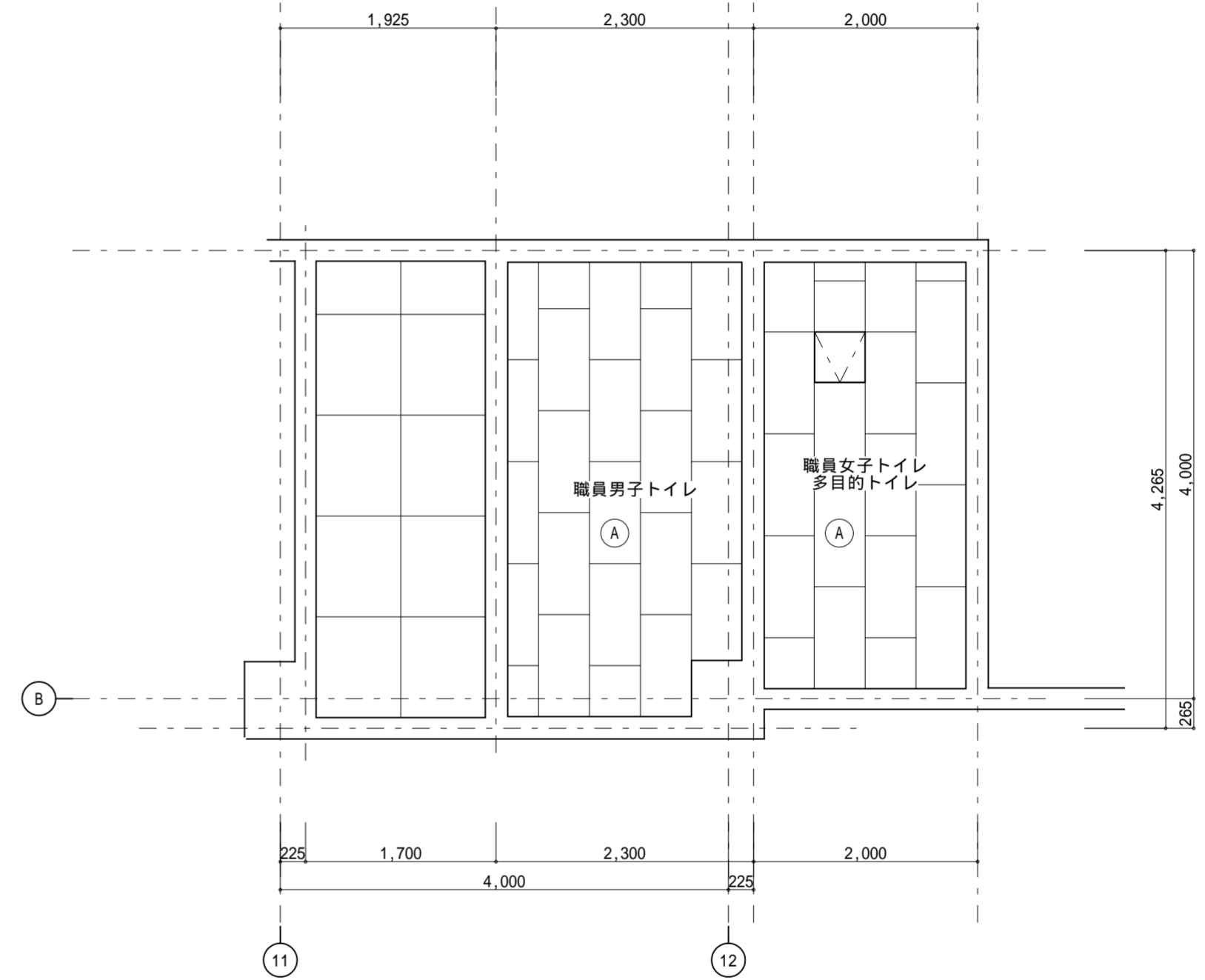


改修後

記号	仕上	備考
Ⓐ	ロックウール吸音板 厚9	LGS下地 (新設)

☑ アルミ天井点検口 450×450 (再取付)

1. 照明器具：LED照明新設 (電気設備工事)
2. 換気扇：新設 (機械設備工事)



記事：

Ⓒ 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当 (総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・法適合確認

・設備設計

・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士第 号

・1級建築士登録第 号

・士法20条の3 設備設計1級建築士第 号

・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階天井伏図-1 (改修前・後)

設計年月日

2026・01

縮尺

1:50

図面番号

A 3 0

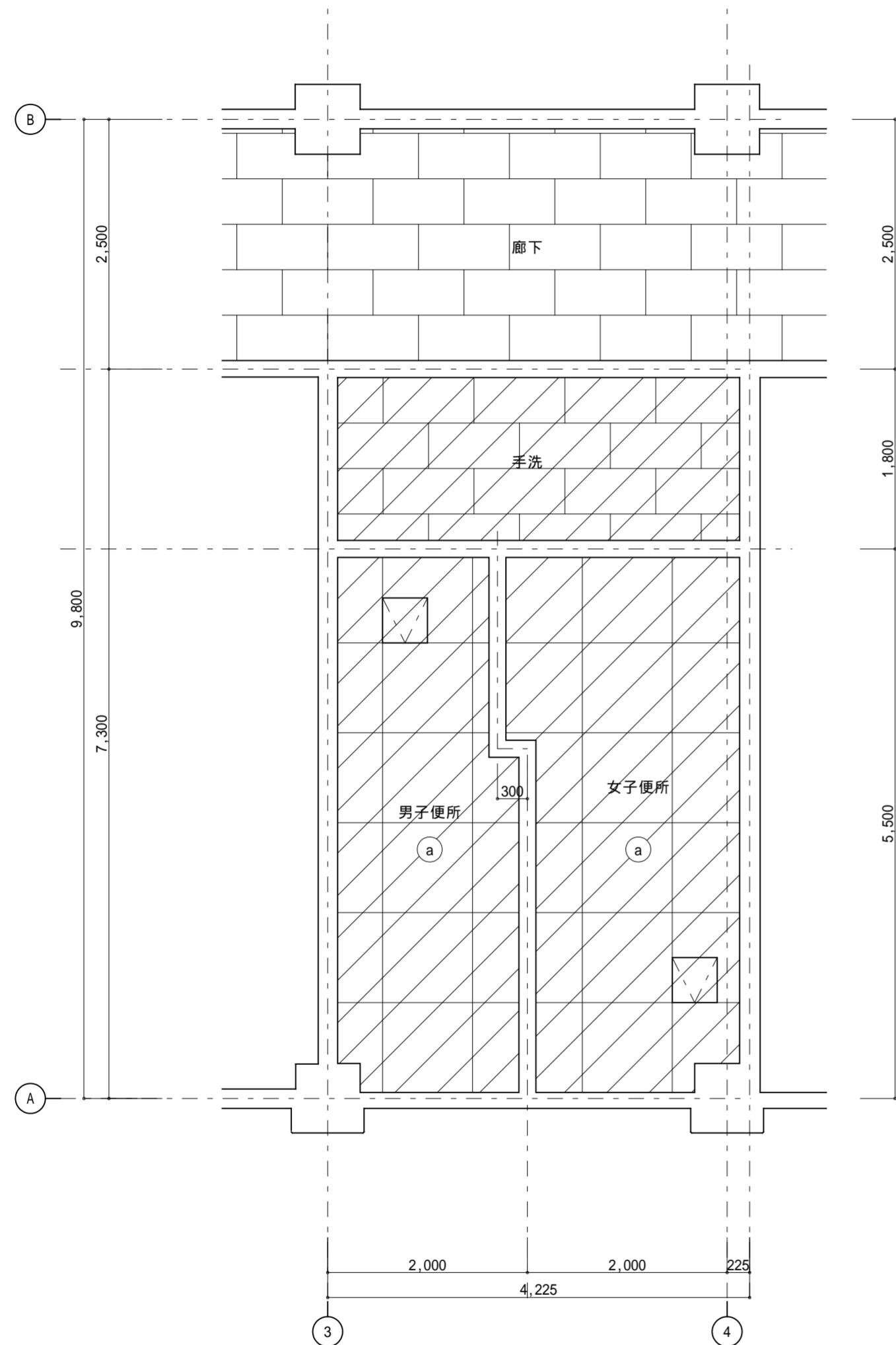
改修前

記号	仕上	備考
Ⓐ	石綿ケイカル板 厚6 底目地張り AEP	(撤去)

☑ アルミ天井点検口 450×450 (一部撤去仮置き)

▨ ハッチ部分は天井解体・撤去範囲を表す

1. 照明器具：撤去・処分（電気設備工事）
2. 換気扇：撤去・処分（機械設備工事）



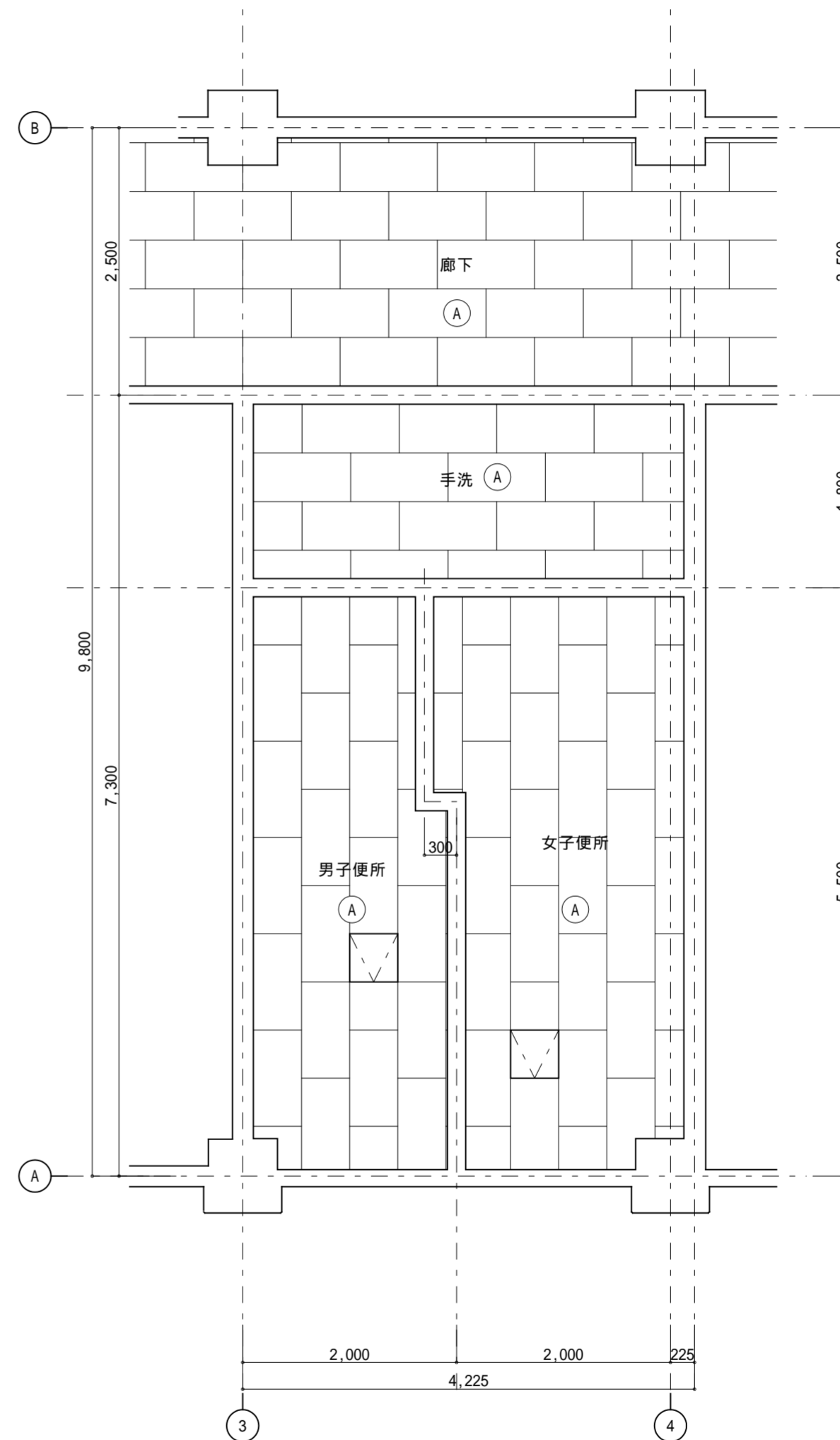
天井伏せ図 1:50

改修後

記号	仕上	備考
Ⓐ	ロックウール吸音板 厚9	LGS下地(新設)


☑ アルミ天井点検口 450×450 (再取付)

1. 照明器具：LED照明新設（電気設備工事）
2. 換気扇：新設（機械設備工事）



天井伏せ図 1:50

記事：


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者（管理建築士）
1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当（総合）
1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称
総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称
1階天井伏図-2 (改修前・後)

設計年月日
2026・01

縮尺
1:50

図面番号

A 3 1

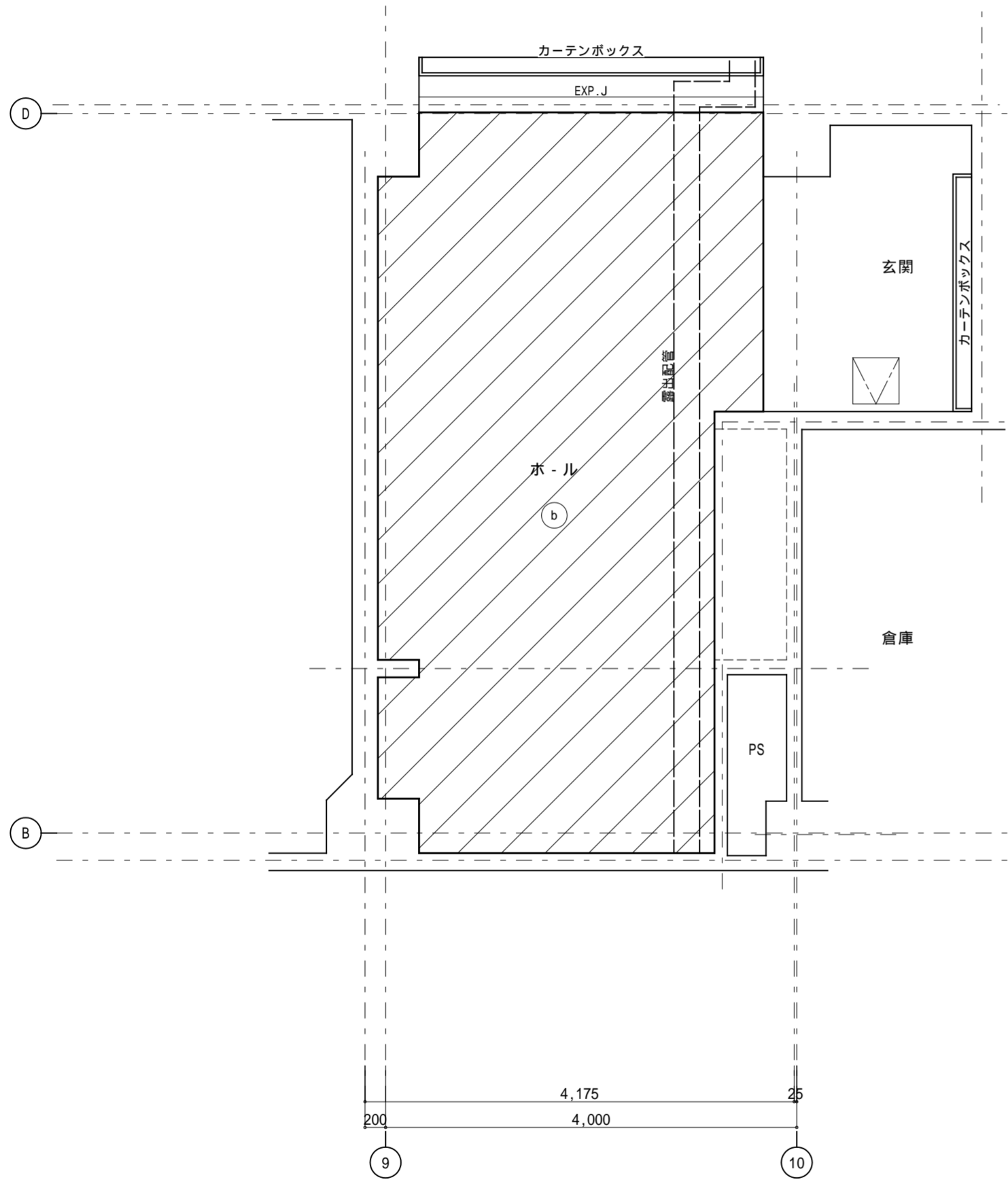
改修前

記号	仕上	備考
ⓑ	石膏ボード t9.5 下地 ビニルクロス貼り	解体・撤去(下地共)

☑ アルミ天井点検口 450×450 (一部撤去仮置き)

▨ ハッチ部分は天井解体・撤去範囲を表す

1. 照明器具：撤去・処分（電気設備工事）
2. 換気扇：撤去・処分（機械設備工事）



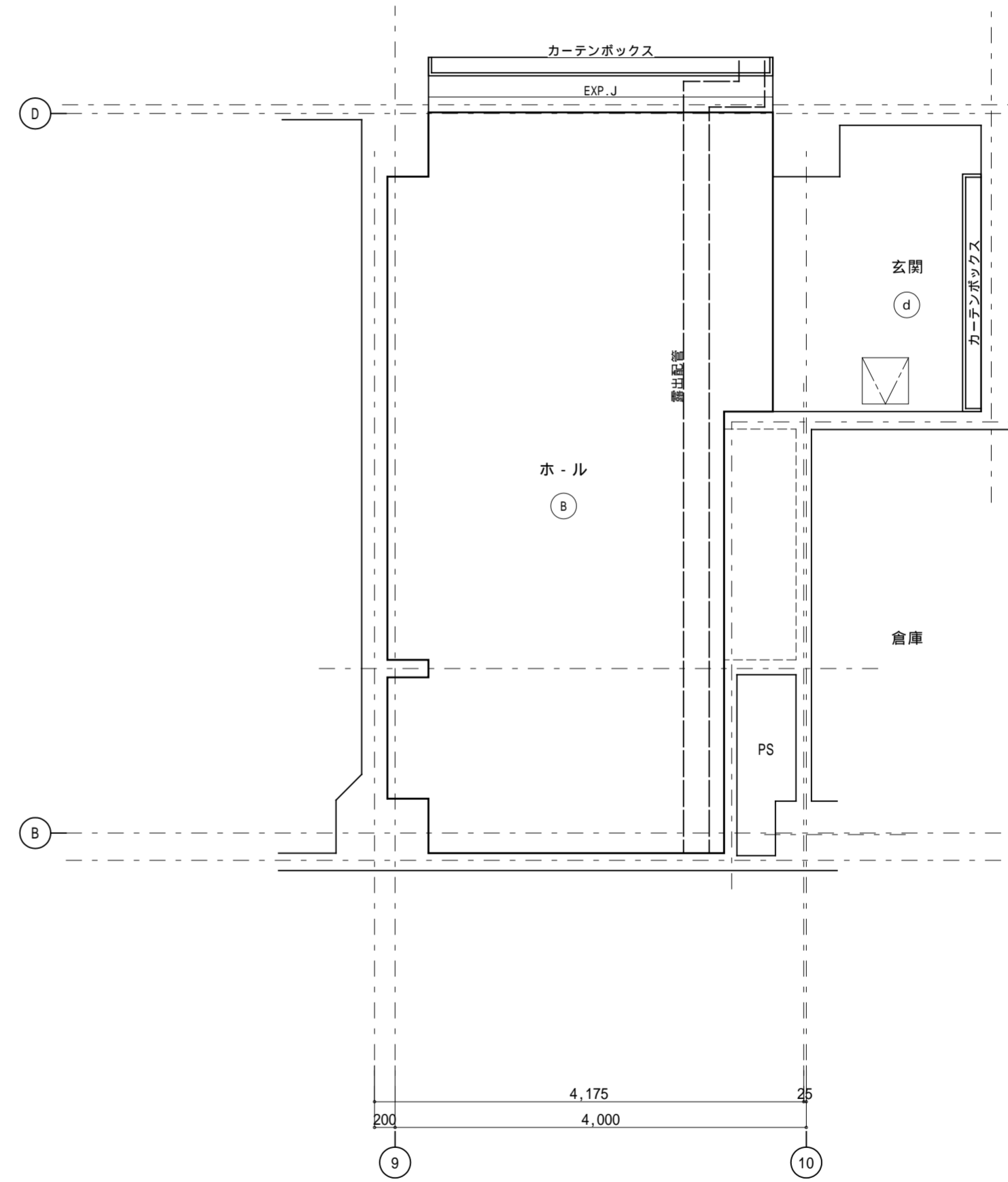
天井伏せ図 1:50

改修後

記号	仕上	備考
ⓑ	石膏ボード t9.5 下地 ビニルクロス貼り	LGS下地(新設)

☑ アルミ天井点検口 450×450 (再取付)

1. 照明器具：LED照明新設（電気設備工事）
2. 換気扇：新設（機械設備工事）



天井伏せ図 1:50

記事：

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者（管理建築士）
1級建築士登録第229944号
倉田 洋二

担当（総合）
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認
・設備設計
・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号
・士法20条の3 設備設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称 1階天井伏図-3 (改修前・後)

設計年月日 2026・01

縮尺 1:50

図面番号

A 3 2

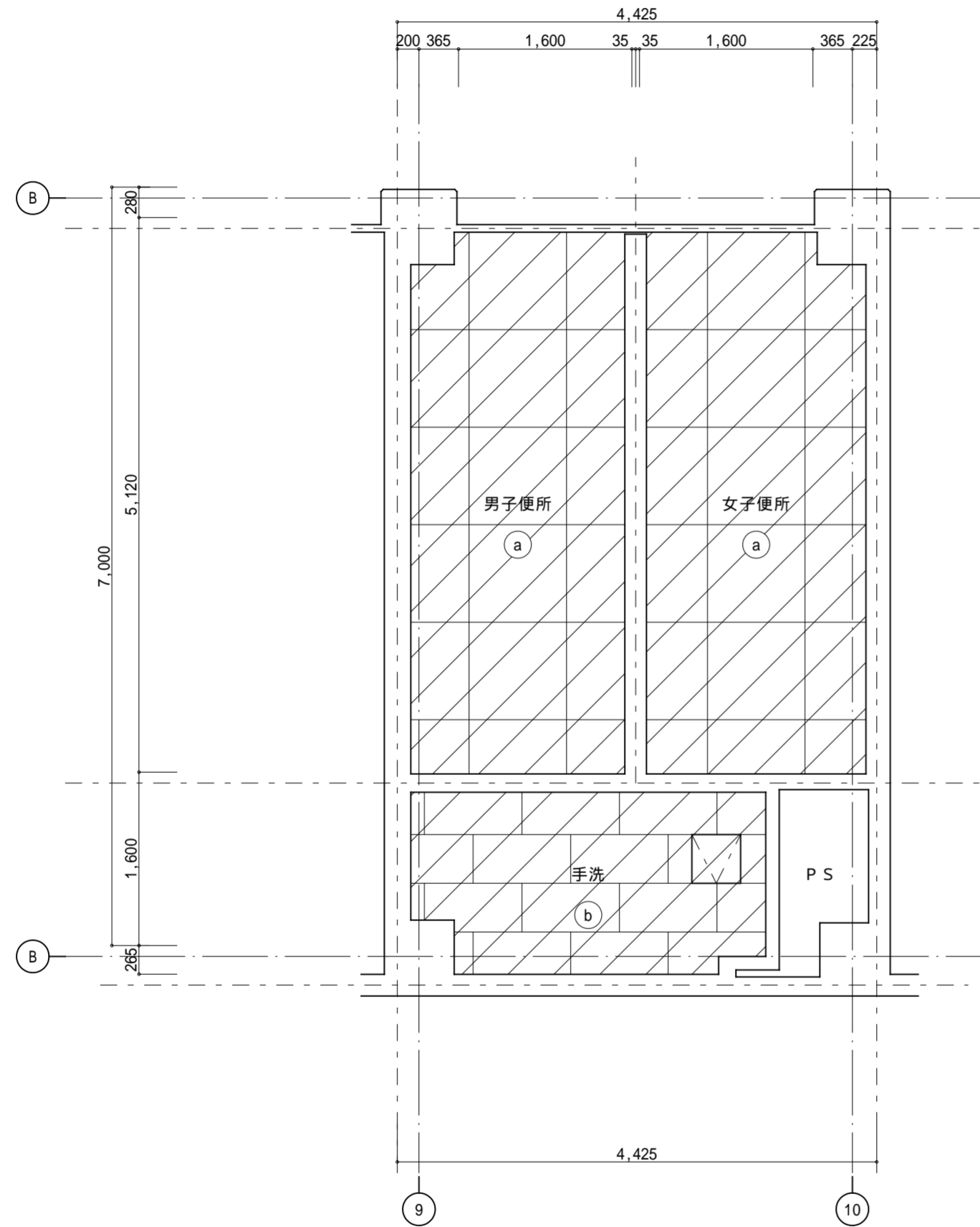
改修前

記号	仕上	備考
Ⓐ	石綿ケイカル板 厚6 底目地張り AEP	(そのまま)
Ⓒ	化粧石膏ボード 厚9.5	

☑ アルミ天井点検口 450×450 (一部撤去仮置き)

▨ ハッチ部分は天井解体・撤去範囲を表す

1. 照明器具：撤去・処分（電気設備工事）
2. 換気扇：撤去・処分（機械設備工事）



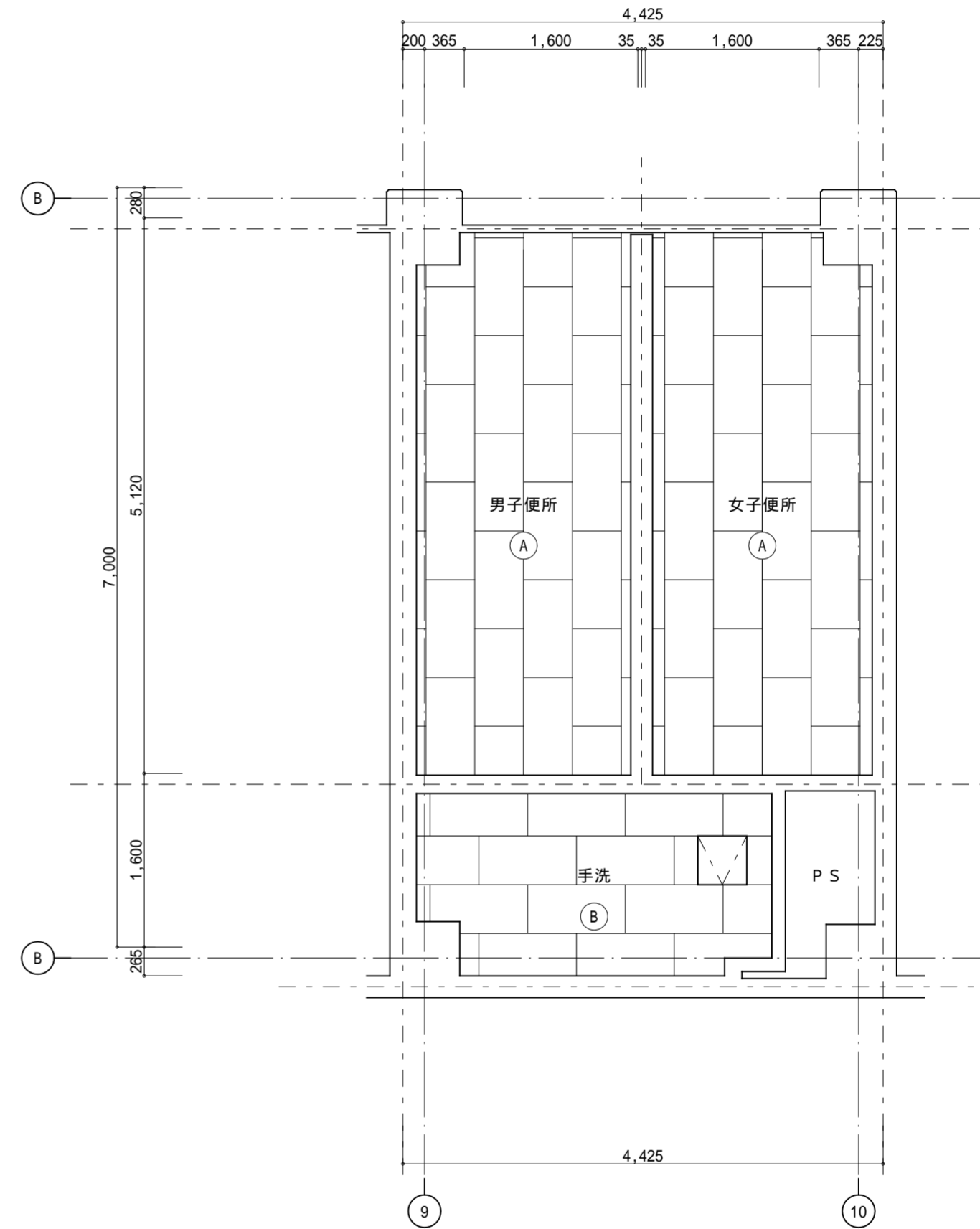
天井伏せ図 1:50

改修後

記号	仕上	備考
Ⓐ	ロックウール吸音板 厚9	LGS下地（新設）
Ⓒ	化粧石膏ボード 厚9.5	LGS下地（新設）

☑ アルミ天井点検口 450×450 (再取付)

1. 照明器具：LED照明新設（電気設備工事）
2. 換気扇：新設（機械設備工事）



天井伏せ図 1:50

記事：

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者（管理建築士）

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当（総合）

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

・設備設計
・法適合確認

・士法20条の3 設備設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

2階天井伏図（改修前・後）

設計年月日

2026・01

縮尺

1:50

図面番号

A 3 3

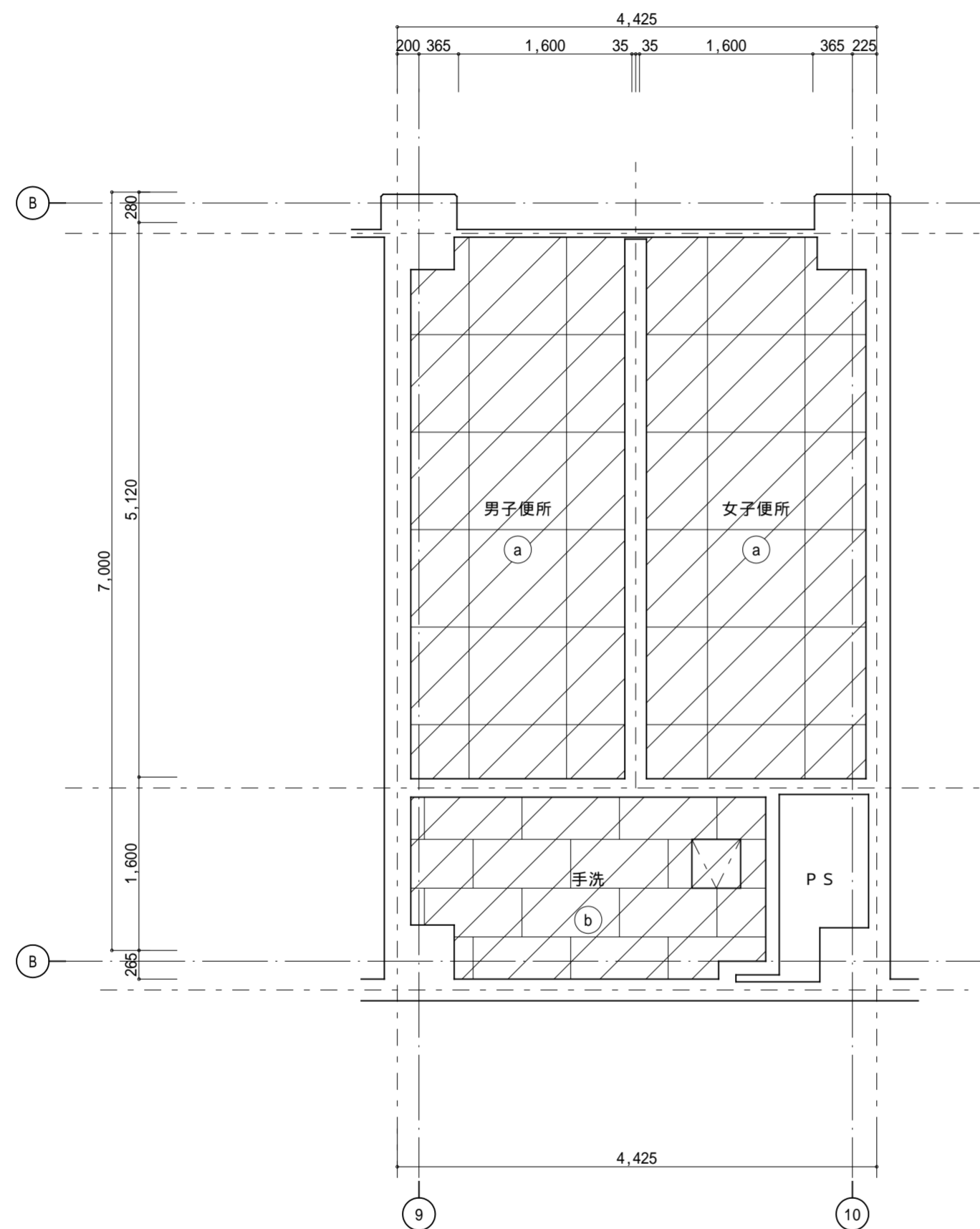
改修前

記号	仕上	備考
Ⓐ	石綿ケイカル板 厚6 底目地張り AEP	(そのまま)
Ⓒ	化粧石膏ボード 厚9.5	

☑ アルミ天井点検口 450×450 (一部撤去仮置き)

▨ ハッチ部分は天井解体・撤去範囲を表す

1. 照明器具：撤去・処分（電気設備工事）
2. 換気扇：撤去・処分（機械設備工事）



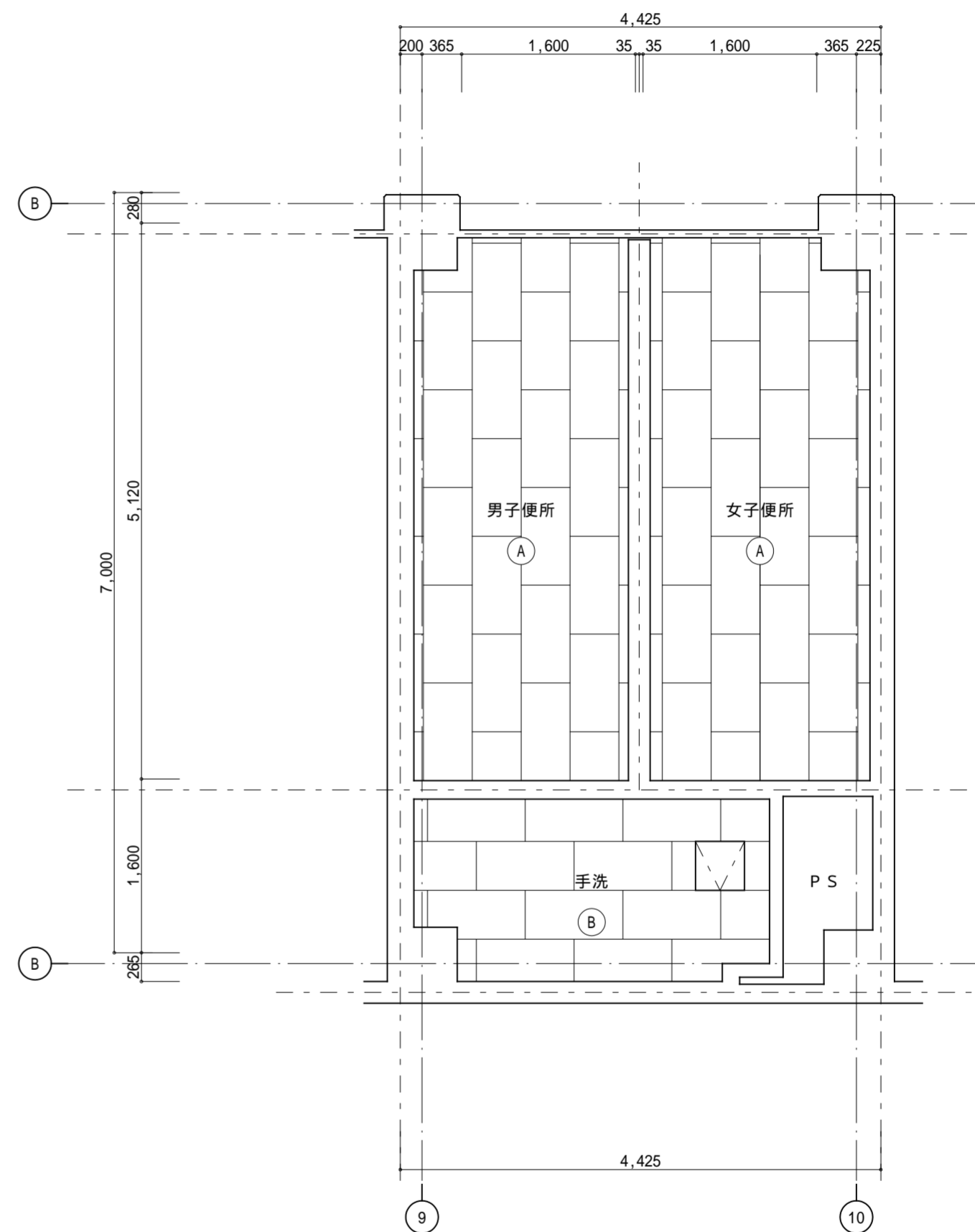
天井伏せ図 1:50

改修後

記号	仕上	備考
Ⓐ	ロックウール吸音板 厚9	LGS下地（新設）
Ⓒ	化粧石膏ボード 厚9.5	LGS下地（新設）

☑ アルミ天井点検口 450×450 (再取付)

1. 照明器具：LED照明新設（電気設備工事）
2. 換気扇：新設（機械設備工事）



天井伏せ図 1:50

記事：

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者（管理建築士）

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当（総合）

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

・設備設計
・法適合確認

・士法20条の3 設備設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

3階天井伏図（改修前・後）

設計年月日

2026・01

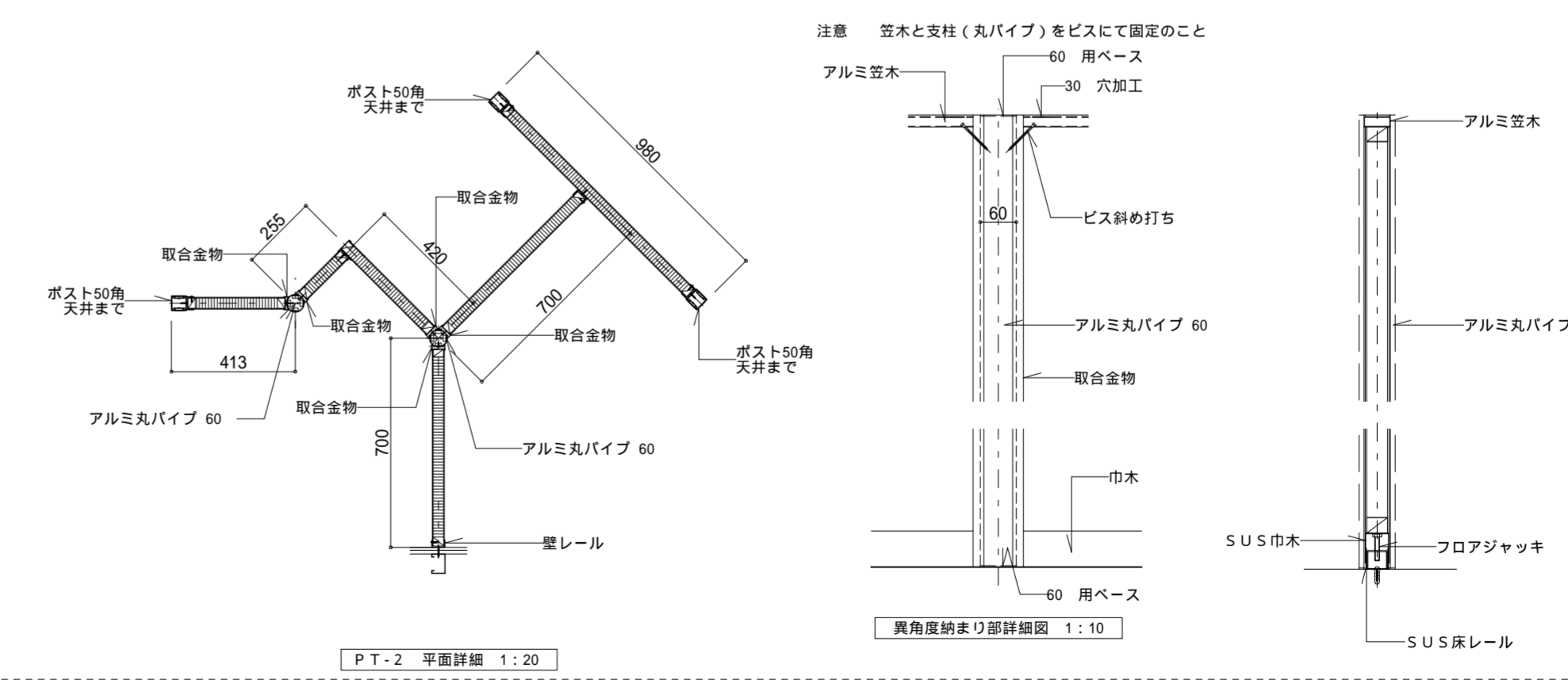
縮尺

1:50

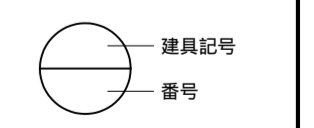
図面番号

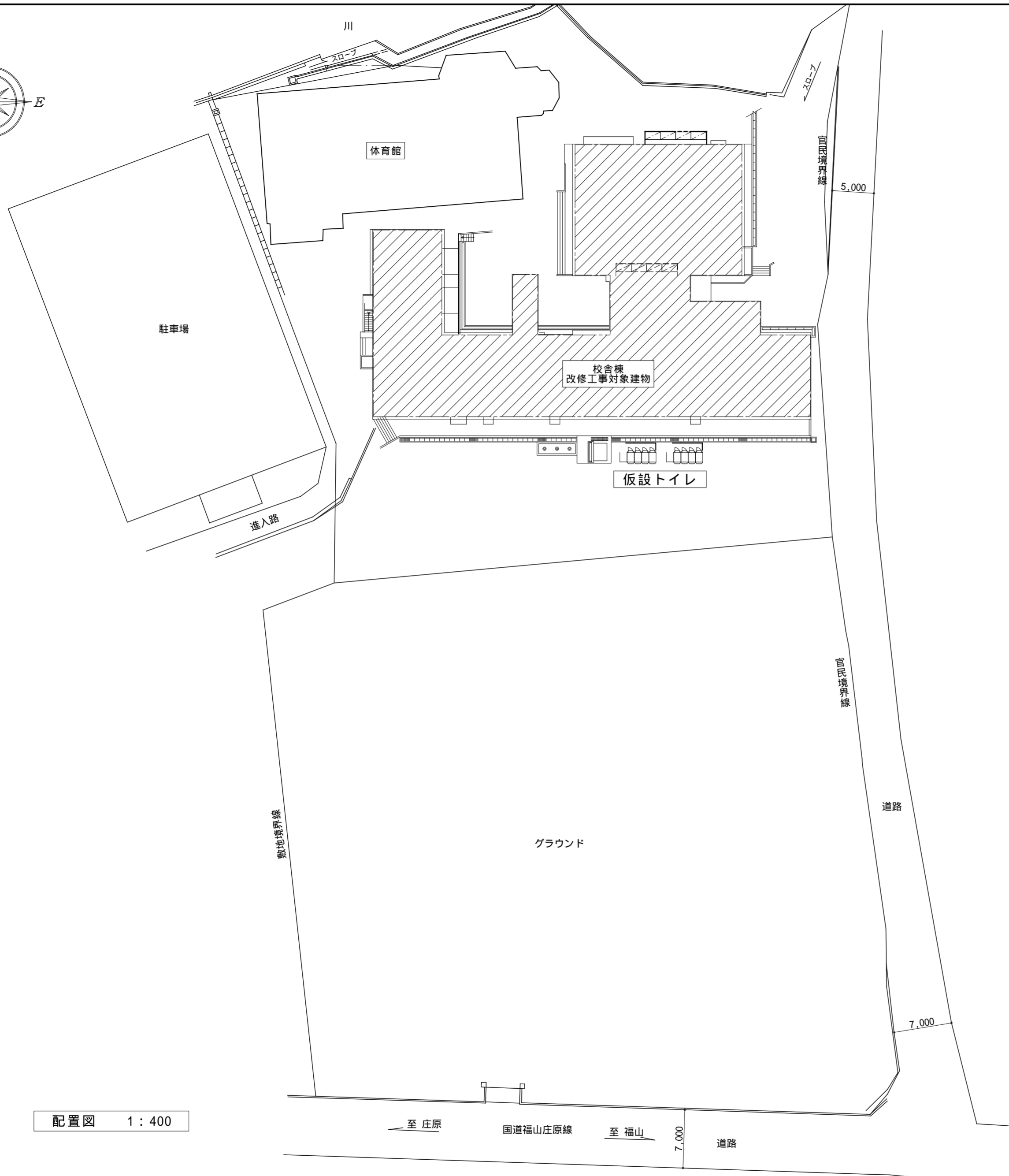
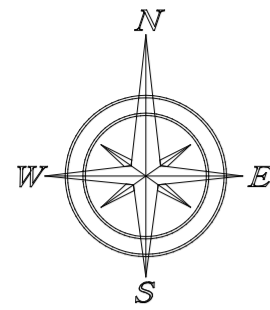
A 3 4

符号	名称	数量	SS 1	WD 1	TB 1	TB 2A	TB 2B	凡例			
	手動軽量シャッター 1階児童用トイレ 手洗	1		木製片開きドア 2, 3階男子トイレ, 女子トイレ	4	トイレブース 1階職員男子トイレ	1	トイレブース 1階職員女子トイレ	1	W 木製 LS 軽量鋼製 S 鋼製 A アルミニウム製 ST ステンレス製 S 障子 F 襖 FD 戸襖 W 窓 D 扉 AT エアータイト SS シャッター Fr 枠	
形状・寸法			新設		新設		新設		新設		
材料・仕上	カラー鋼板製 スラット t0.4			化粧樹脂シート 強化ガラス t4		メラミン合板 フラッシュ構造		メラミン合板 フラッシュ構造		金物	
硝子	見込										
金物	ケース, ガイドレール, 座板 手掛け, ラッチ錠 (廊下側から施錠・解錠のみ)			H, D, C, Lh, ガラリ, 戸当たり		アルミ笠木, 戸当り金物 (帽子掛け), ラバトリーヒンジ SUS巾木, スライドラッチ		アルミ笠木, 戸当り金物 (帽子掛け), ラバトリーヒンジ SUS巾木, スライドラッチ		H 丁番 A 顔縁取付用アングル CP シリンダー箱錠 CL 棒鍵錠 PD シリンダー本締め錠 LD 棒鍵本締め錠 KLD 棒鍵錠 NL ナイトラッチ C 空錠 M モノロック錠 EL 非常錠 DC ドアチェック (ストップ付) FH フロアヒンジ (ストップ付) PH ビボットヒンジ LH ラバトリーヒンジ OH オートヒンジ (ストップ付) AS アームストッパー GH グレモハンドル F フランス落し CU クレセント TH 水切 Lh レバーハンドル SL ステンレスレール	
備考	三和シャッター バランスシャッター同等			パナソニック ベリティス同等		標準金物一式 非常解機構 三和シャッター ラベンダー同等		標準金物一式 非常解機構 三和シャッター ラベンダー同等			
符号	名称	数量	TB 3	TB 4	TB 5	TB 6					
	トイレブース 1階男子トイレ	1		トイレブース 1階女子トイレ	1	トイレブース 2階, 3階男子トイレ	2	トイレブース 2階, 3階女子トイレ	2		
形状・寸法			新設		新設		新設		新設		
材料・仕上	メラミン合板 フラッシュ構造			メラミン合板 フラッシュ構造		メラミン合板 フラッシュ構造		メラミン合板 フラッシュ構造			
硝子	見込										
金物	アルミ笠木, 戸当り金物 (帽子掛け), ラバトリーヒンジ SUS巾木, スライドラッチ, サッシ干渉部アルミ金物			アルミ笠木, 戸当り金物 (帽子掛け), ラバトリーヒンジ SUS巾木, スライドラッチ, サッシ干渉部アルミ金物		アルミ笠木, 戸当り金物 (帽子掛け), ラバトリーヒンジ SUS巾木, スライドラッチ, サッシ干渉部アルミ金物		アルミ笠木, 戸当り金物 (帽子掛け), ラバトリーヒンジ SUS巾木, スライドラッチ			
備考	標準金物一式 非常解機構 三和シャッター ラベンダー同等			標準金物一式 非常解機構 三和シャッター ラベンダー同等		標準金物一式 非常解機構 三和シャッター ラベンダー同等		標準金物一式 非常解機構 三和シャッター ラベンダー同等			
符号	名称	数量	PT 1	PT 2							
	隔て板 1階男子トイレ	1		隔て板 1階児童トイレ前	1						
形状・寸法			新設		新設						
材料・仕上	メラミン合板 フラッシュ構造			メラミン合板 フラッシュ構造							
硝子	見込										
金物	アルミ笠木, SUS巾木, 壁レール			アルミ笠木, SUS巾木, 壁レール 丸ポール, ポスト (天井まで)							
備考	標準金物一式 三和シャッター ラベンダー同等			標準金物一式 三和シャッター ラベンダー同等							
記事:		有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382		設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二		担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ		工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事		設計年月日 2026・01	
						構造設計 ・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号		図面名称 建具表		縮尺 1:50, 20, 10	
						設備設計 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号				図面番号 A 3 5	



硝子の符号	
FL	フロート板ガラス
HFL	熱線吸収板ガラス
TFL	強化ガラス
P	磨き板ガラス
PW	網入り磨き板ガラス
HP	熱線吸収磨き板ガラス
HPW	熱線吸収網入り磨き板ガラス
F	型板ガラス
FW	網入り型板ガラス
FLTA	フロストガラス
SC	熱線反射板ガラス
HTFL	熱線吸収強化板ガラス





配置図 1 : 400

総領小学校トイレ洋式化工事工程表

工事箇所	[校舎棟]					
	1	2	3	4	5	6
準備・仮設等	→		→	→	→	→
解体・撤去工事	→			→		
床改修工事	→			→		
内装改修工事		→			→	
設備器具取付			→		→	

特記事項

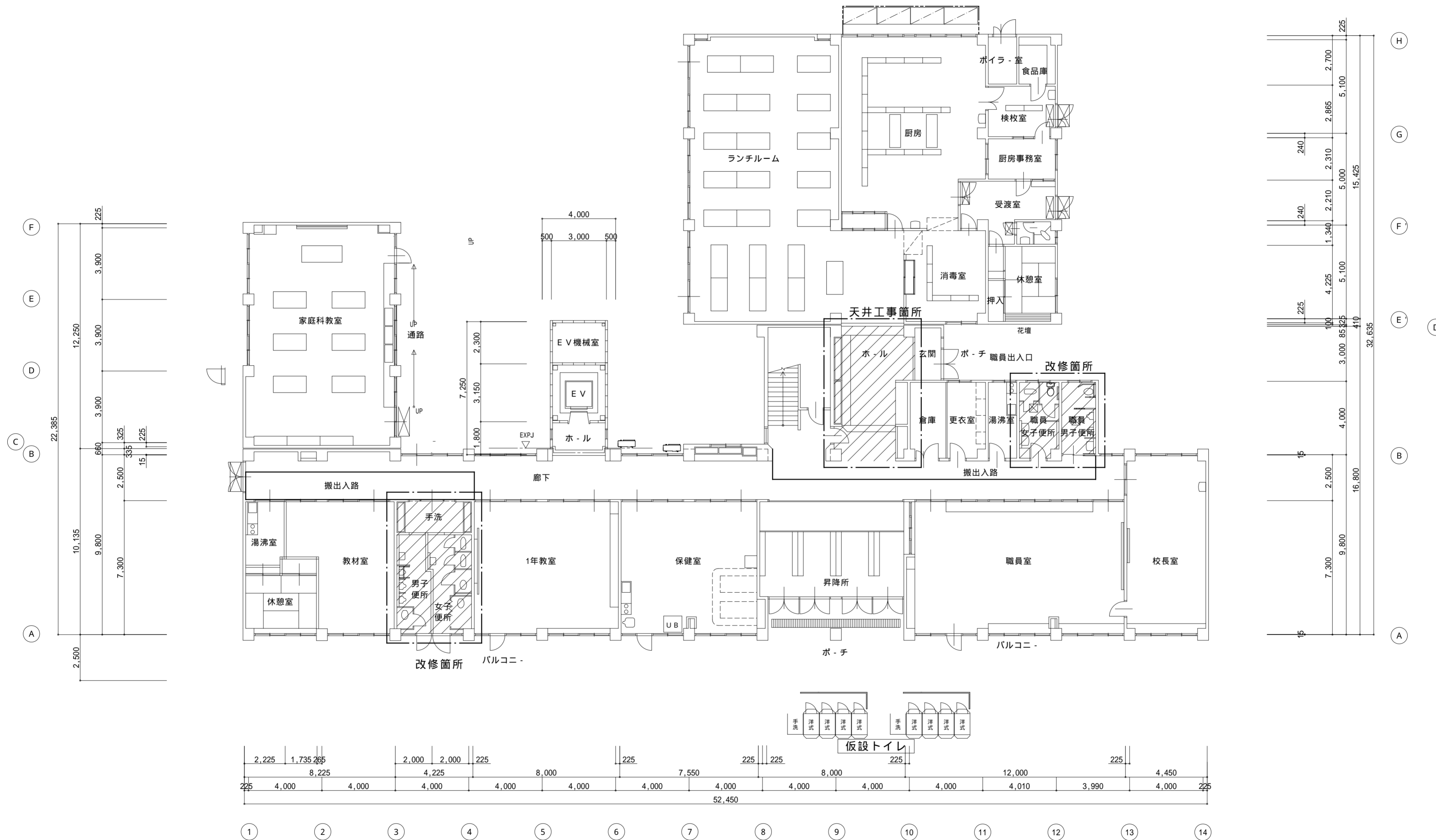
- 仮設利用場所については工事着手前に発注者と位置・期間等の打合せを行う。(本図は暫定とする。) 仮設電気・水道は仮設計量器を設置し、分岐位置を発注者と協議の上決定とし仮設工事は本工事にて行う。
- 仮設利用場所(撤去機器・新設機器の仮置場、工事用車両駐車場、仮設事務所、作業場、休憩場等)は発注者と協議の上決定する事。
なお、喫煙は指定場所又は車内とし、構内では厳禁とする。
- 枠組足場(巾900)及び一部ブラケット足場を使用し、外周部は養生シート設置とする。

仮設トイレ：快適トイレGXシリーズ(洋式便器 GX-WCP、樹脂製手洗器 GX-LHP)
仮設トイレへの水供給及び汲み取りは別途とする。
仮設トイレの設置場所は、監督職員と協議の上決定すること。

凡例

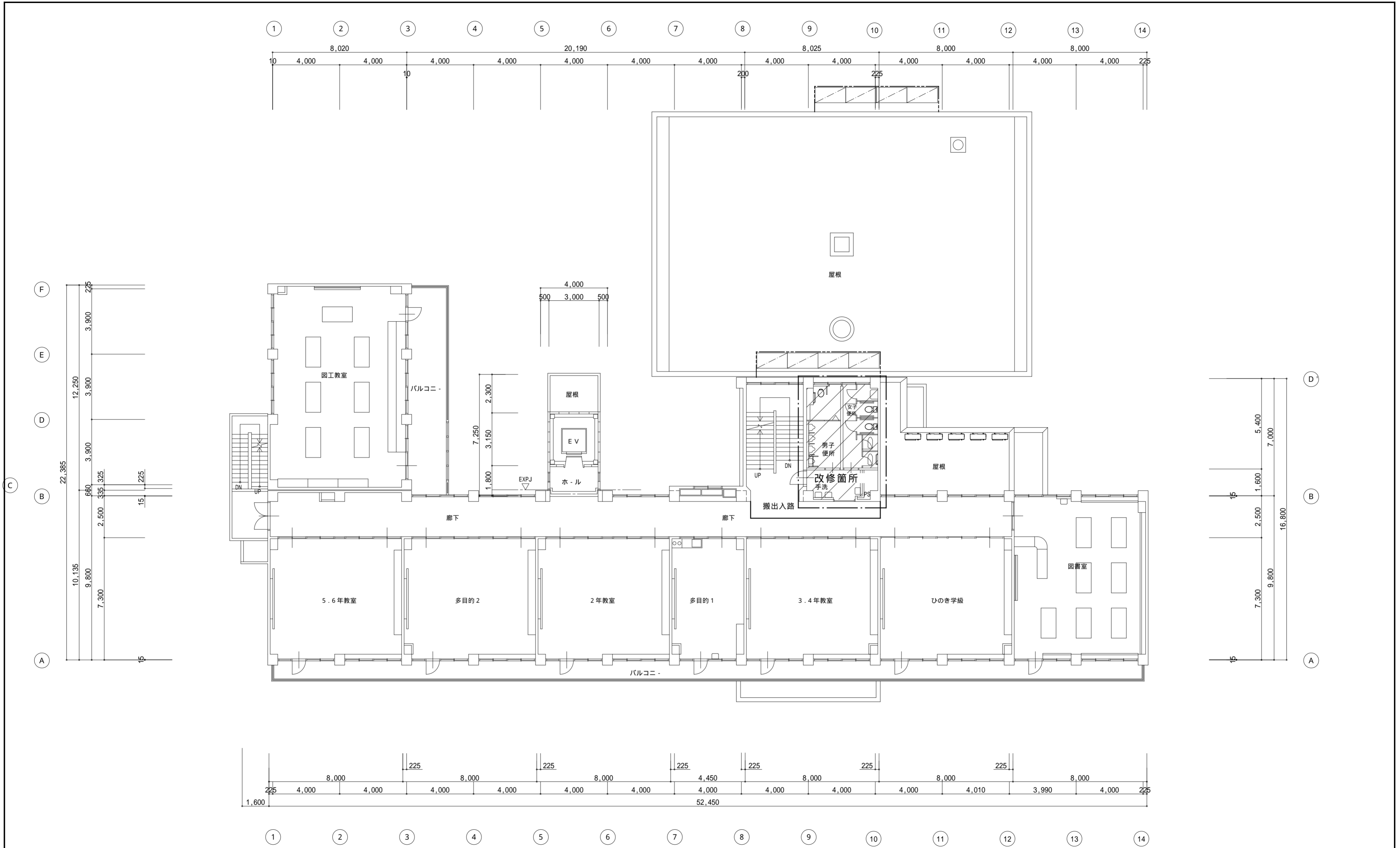
-----	グリーンネット(安全衛生法に準ずる)
-----	バリケード
▨	手摺先行枠組本足場(W=900以上)
→	工事車両経路
▩	改修範囲

記事：	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 仮設計画図 配置図 (参考図)	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号			・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			縮尺	
						1:400	



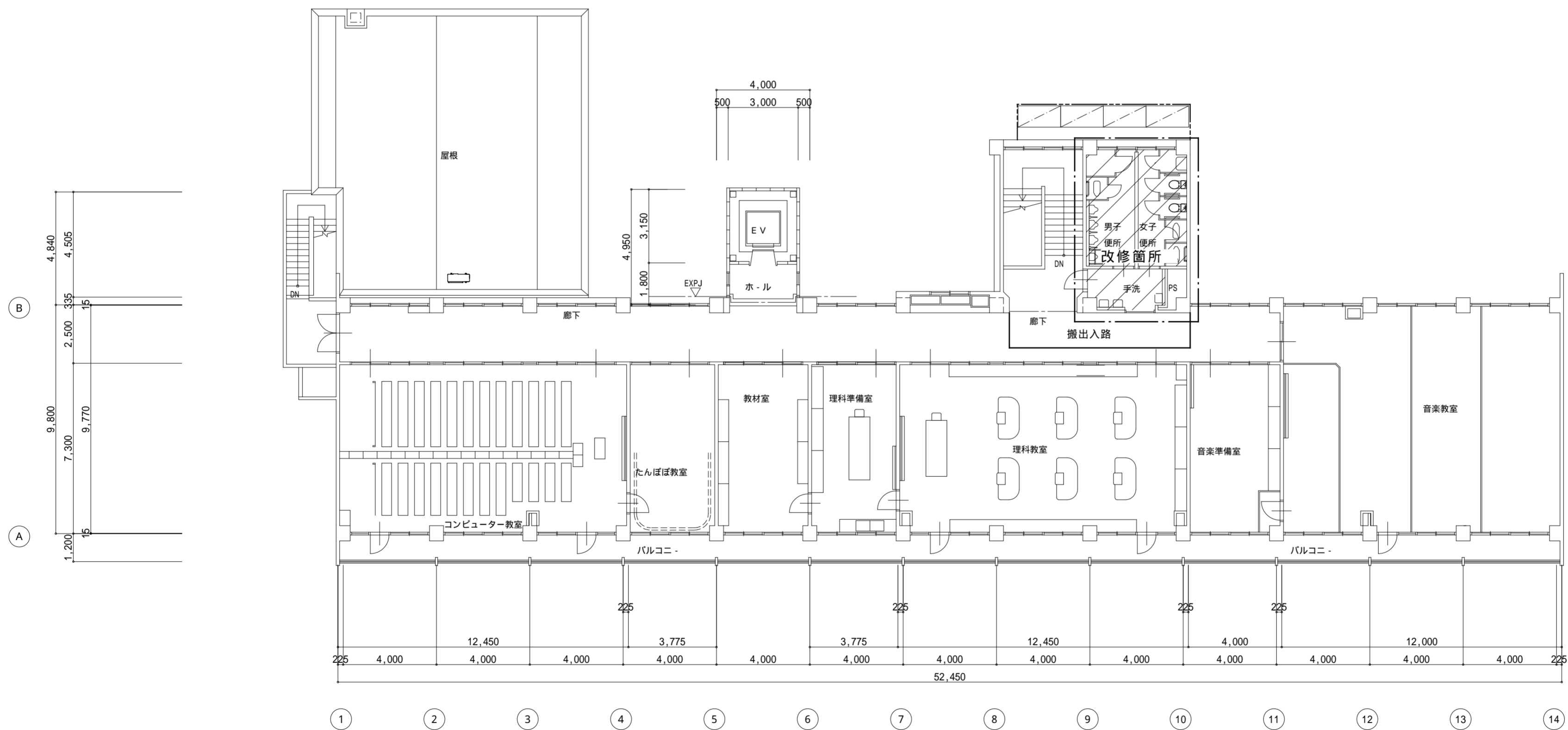
1階平面図 1:150

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						仮設計画図 1階平面図 (参考図)	1:150	



2階平面図 1:150

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 仮設計画図 2階平面図 (参考図)	設計年月日 2026・01 縮尺 1:150	図面番号 A 3 8

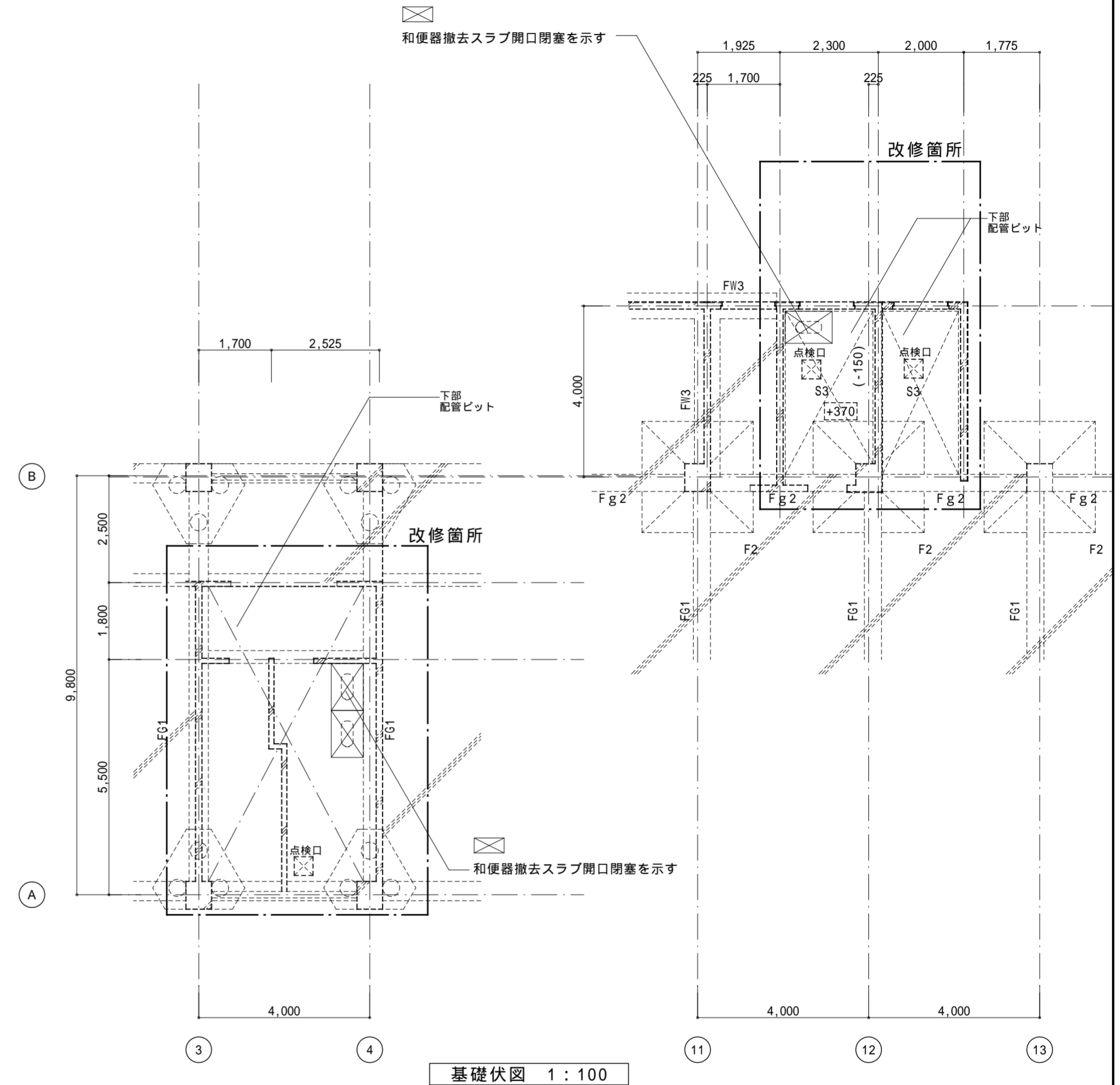
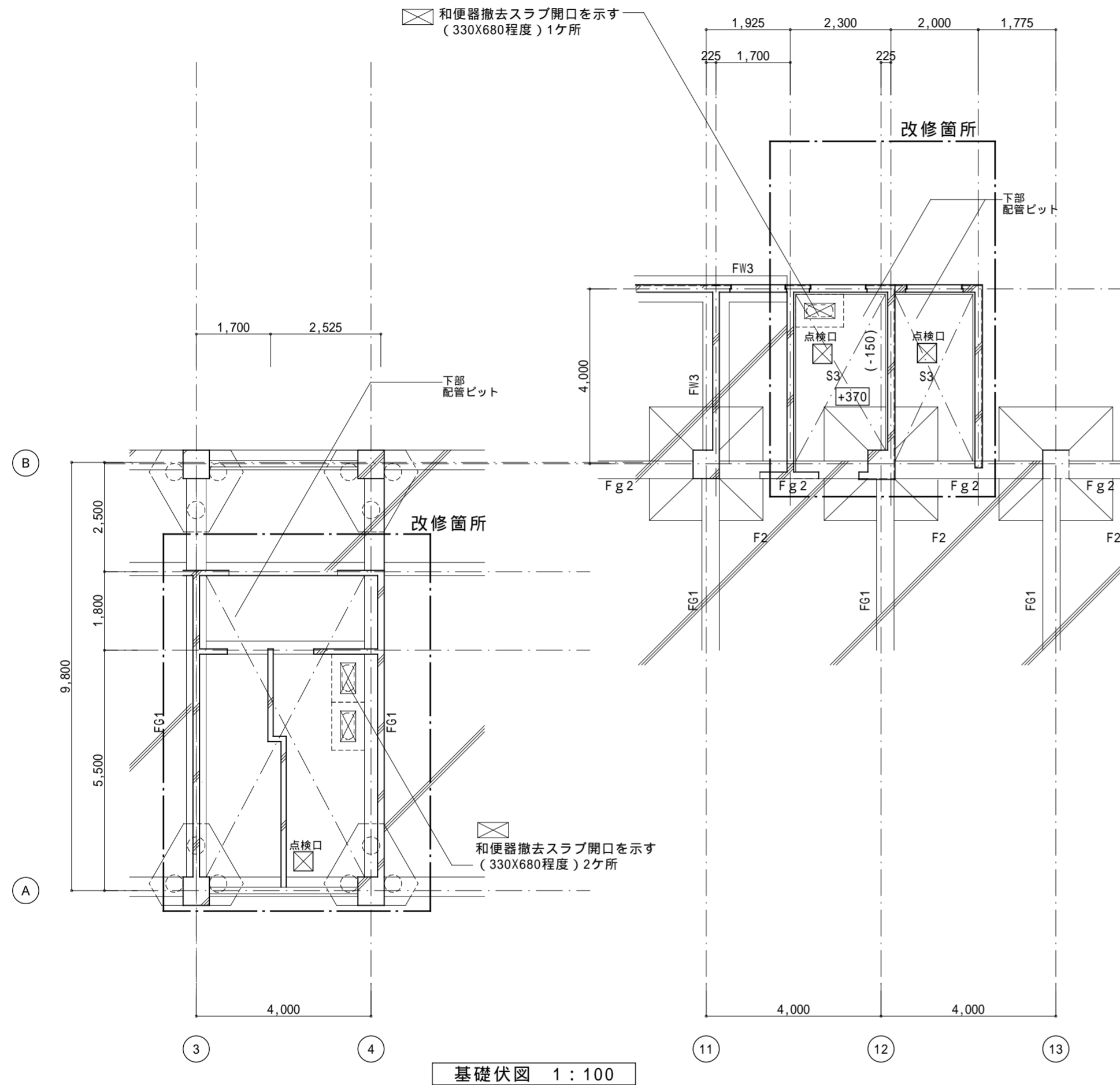


3階平面図 1:150

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 登録番号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 登録番号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						仮設計画図 3階平面図 (参考図)	1:150	

改修前

改修後



記事:

㊦ 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)
 1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号
 ・1級建築士登録第 号

・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称
 総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称
 基礎伏図 (改修前・後)

設計年月日
 2026・01

縮尺
 1:100

図面番号

S 0 1

改修前

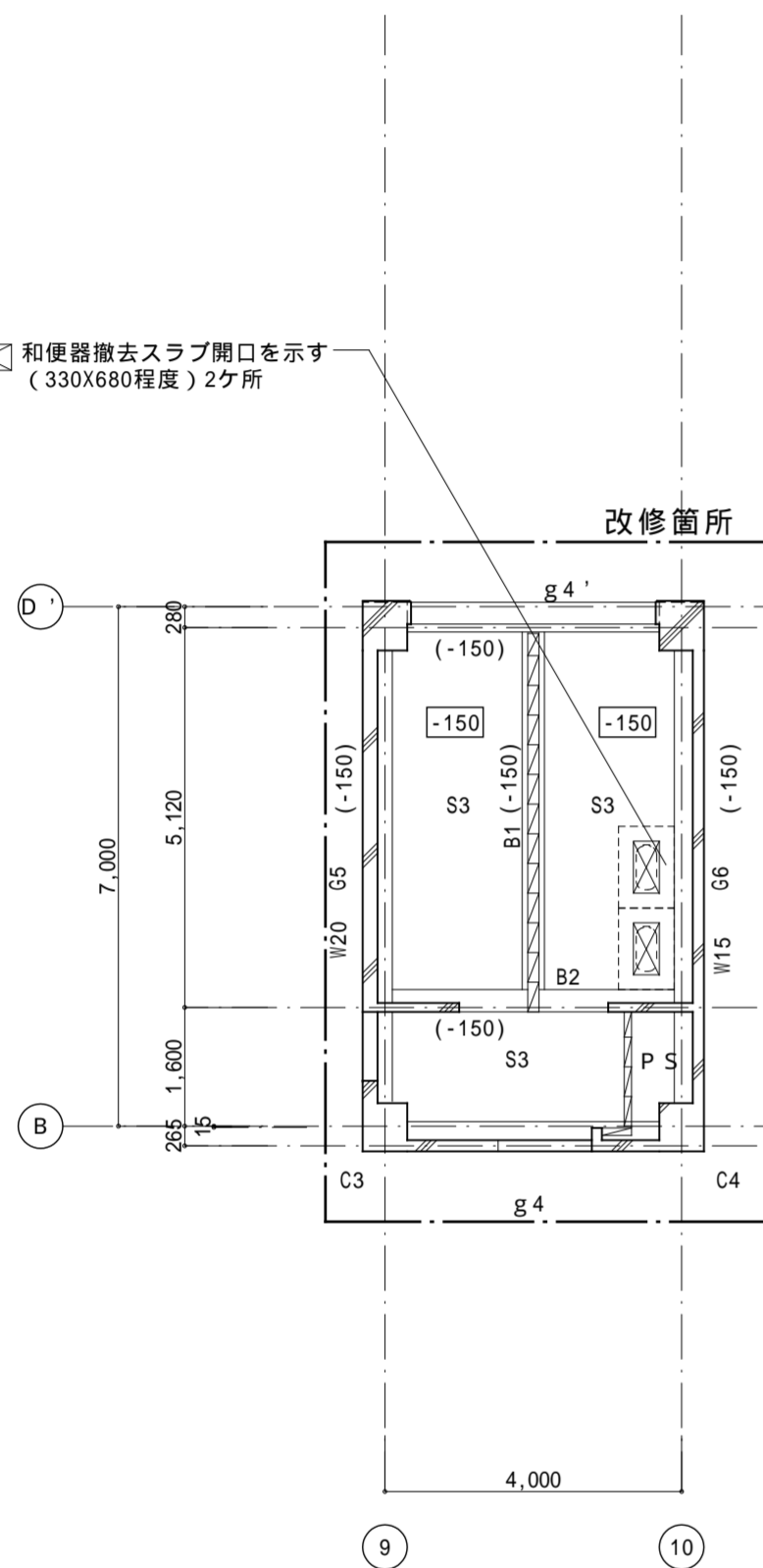
改修後

和便器撤去スラブ開口を示す
(330X680程度) 2ヶ所

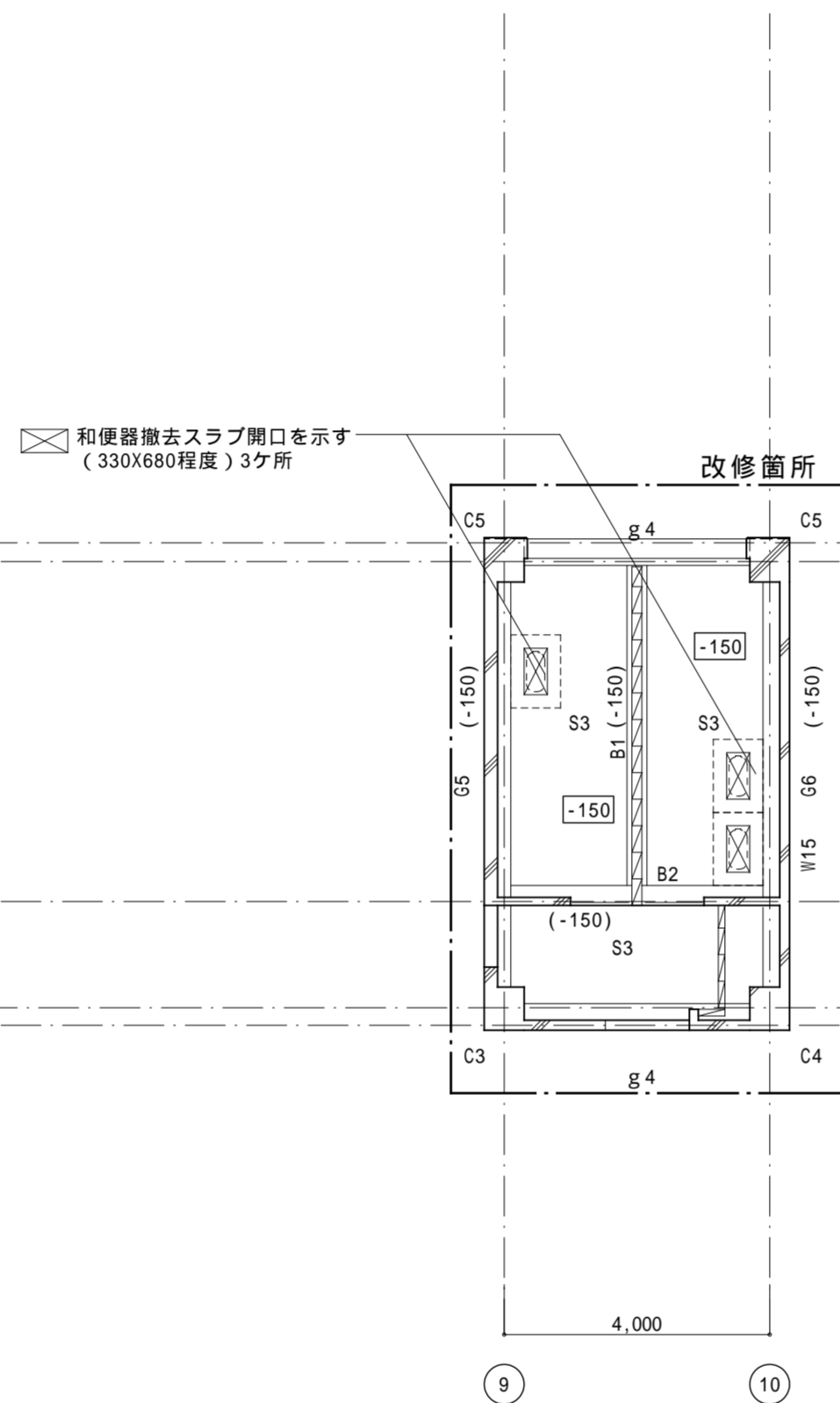
和便器撤去スラブ開口を示す
(330X680程度) 3ヶ所

和便器撤去スラブ開口閉塞を示す

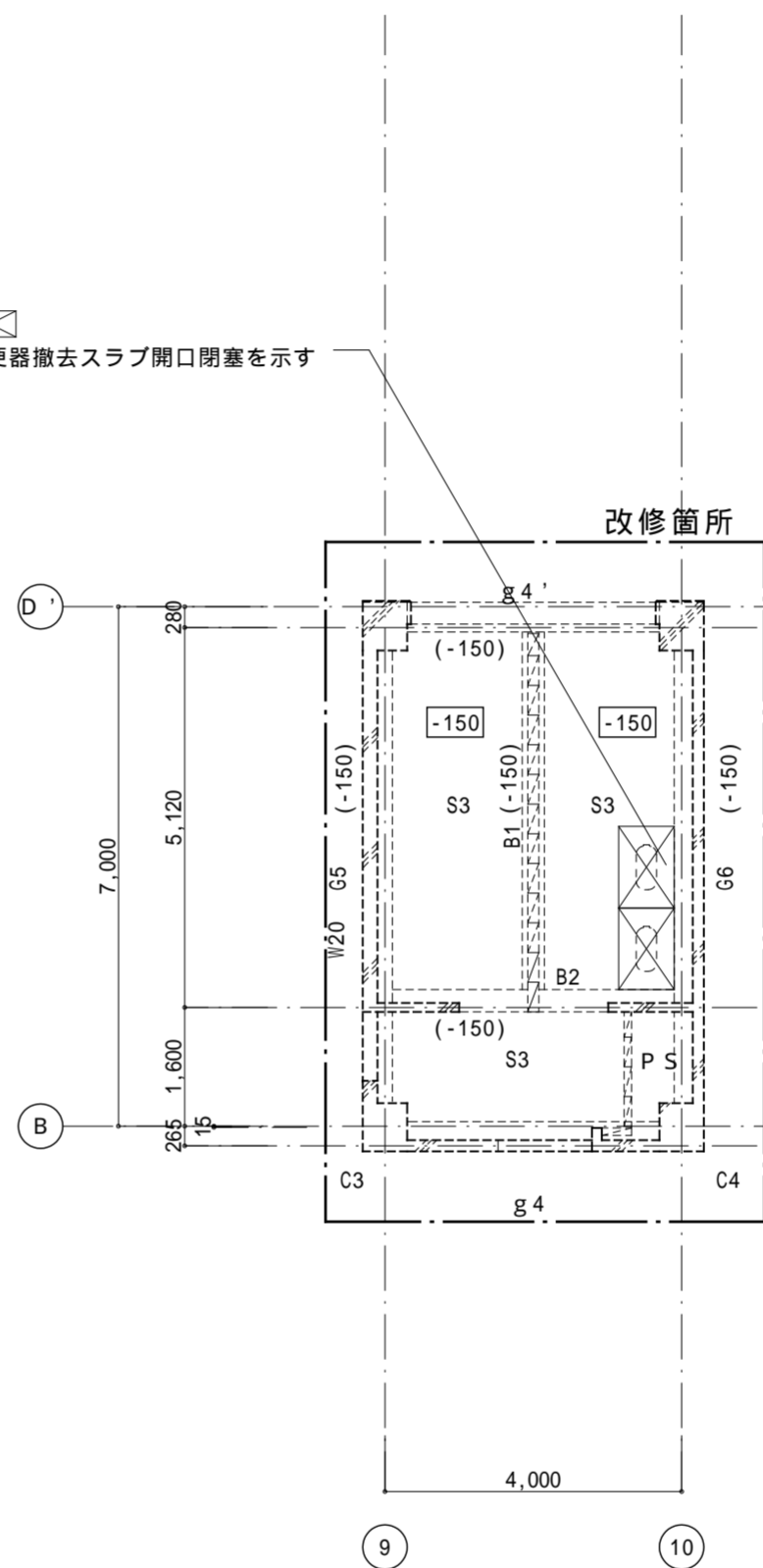
和便器撤去スラブ開口閉塞を示す



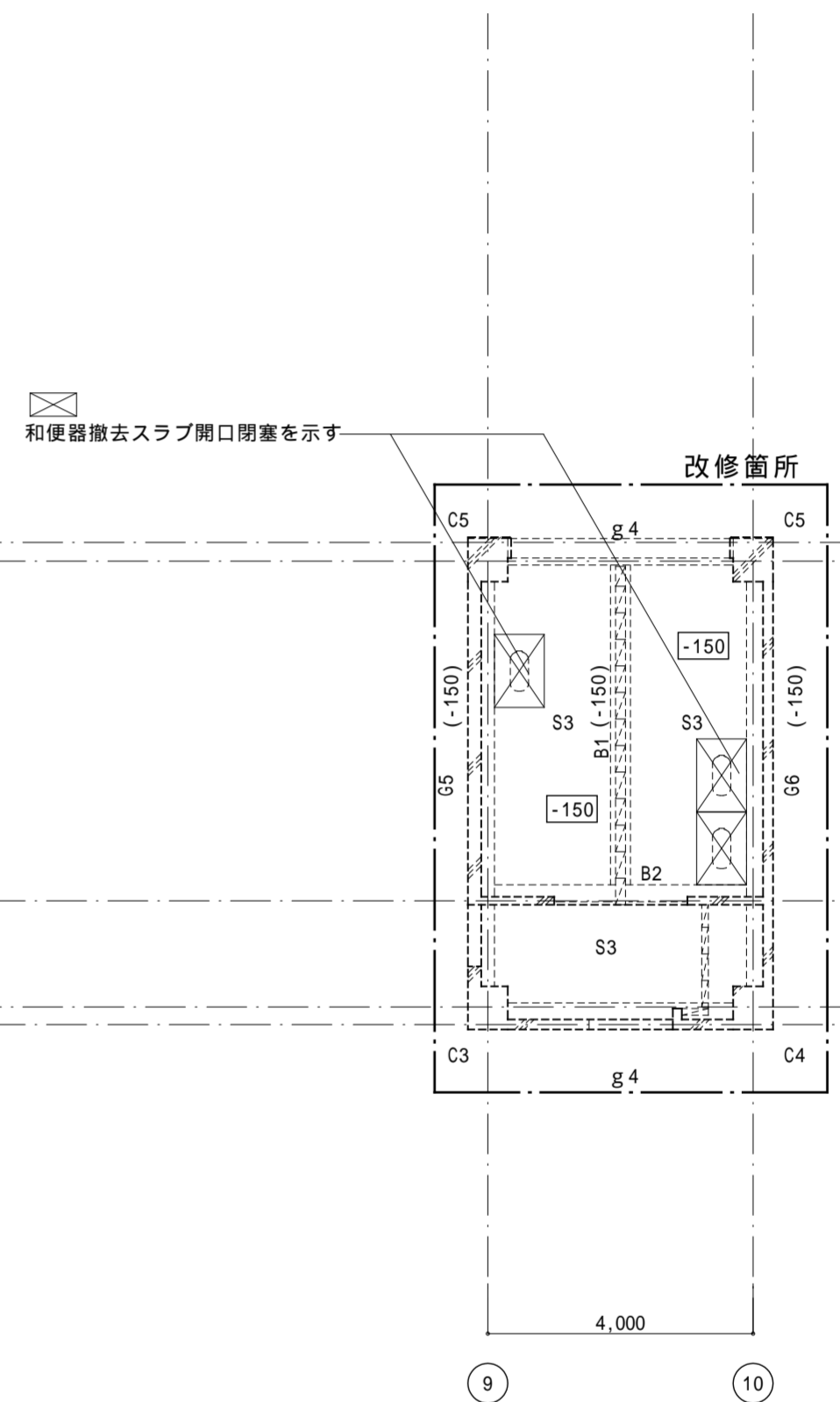
2階床梁伏図 1:100



3階床梁伏図 1:100



2階床梁伏図 1:100



3階床梁伏図 1:100

特記なき限り下記とする


W12

CB15を示す。

() F Lコト天より梁の上り下りを示す。

□ F Lコト天よりスラブの上り下りを示す。

記事:


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・法適合確認

・設備設計

・法適合確認

・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号

・1級建築士登録第 号

・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号

・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

2、3階床梁伏図 (改修前・後)

設計年月日

2026・01

縮尺

1:100

図面番号

S 0 2

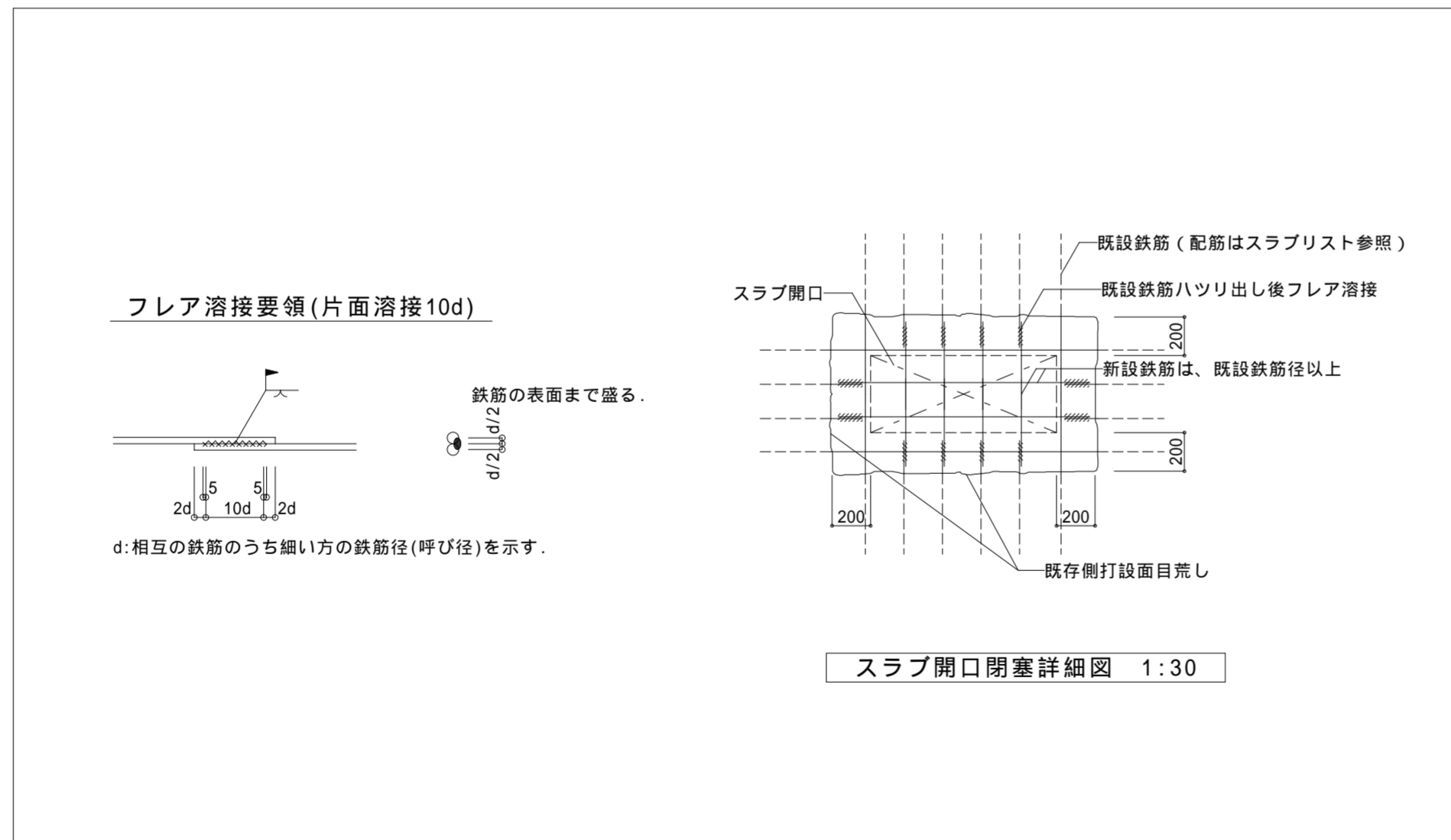
スラブリスト

符号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			中央部		両端部	中央部		両端部	
			端部	中央部	全域	端部	中央部	全域	
S3	130	上端筋	D10D13@200	←	←	D10D13@250	←	←	
		下端筋	D10@200	←	←	D10-@250	←	←	
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							

特記なき限り


- ・使用コンクリート FC21
- ・使用鉄筋 D16以下 SD295
D19以上 SD345

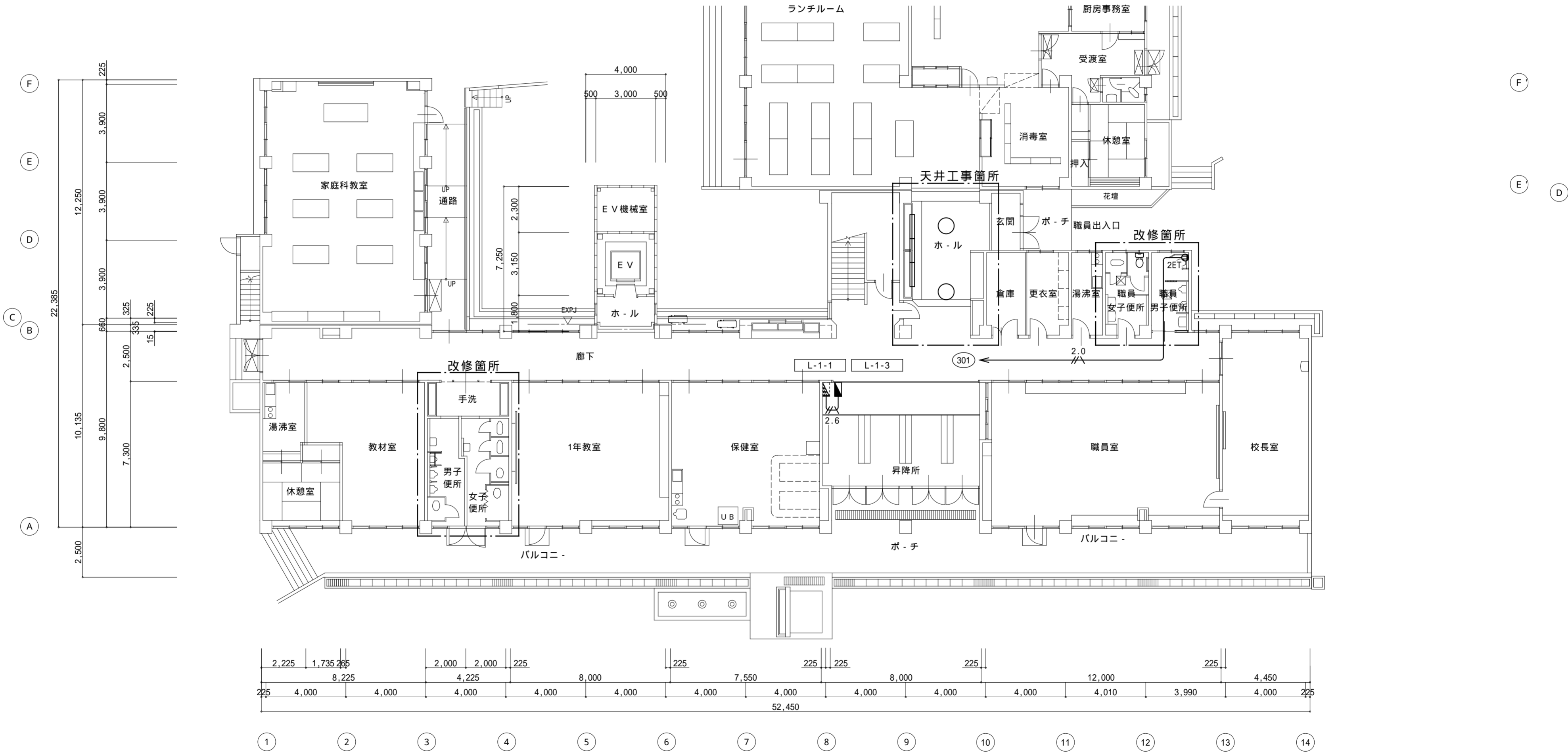
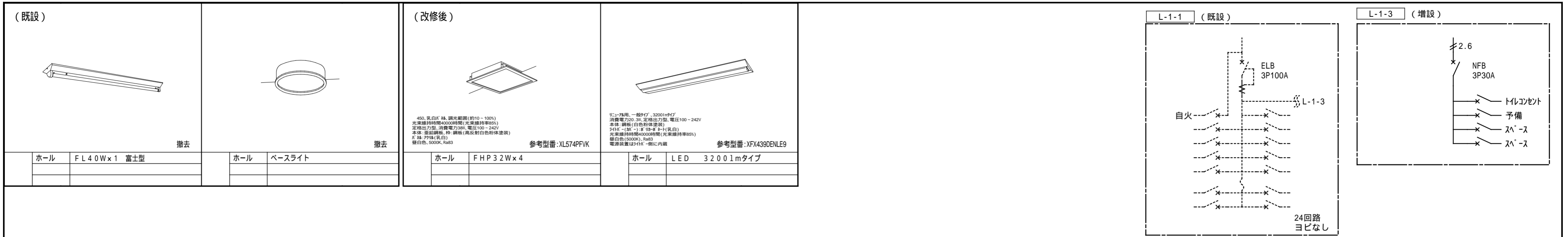
配筋詳細図【改修】




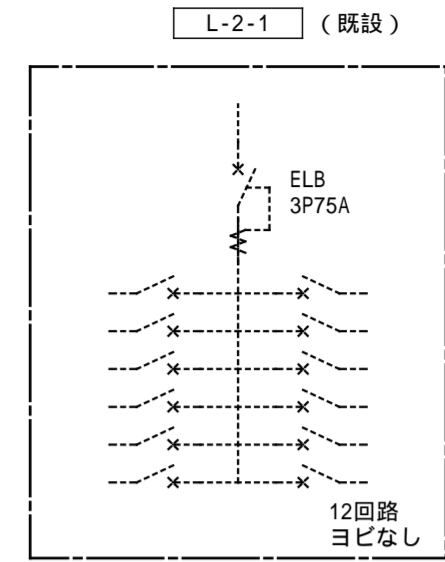
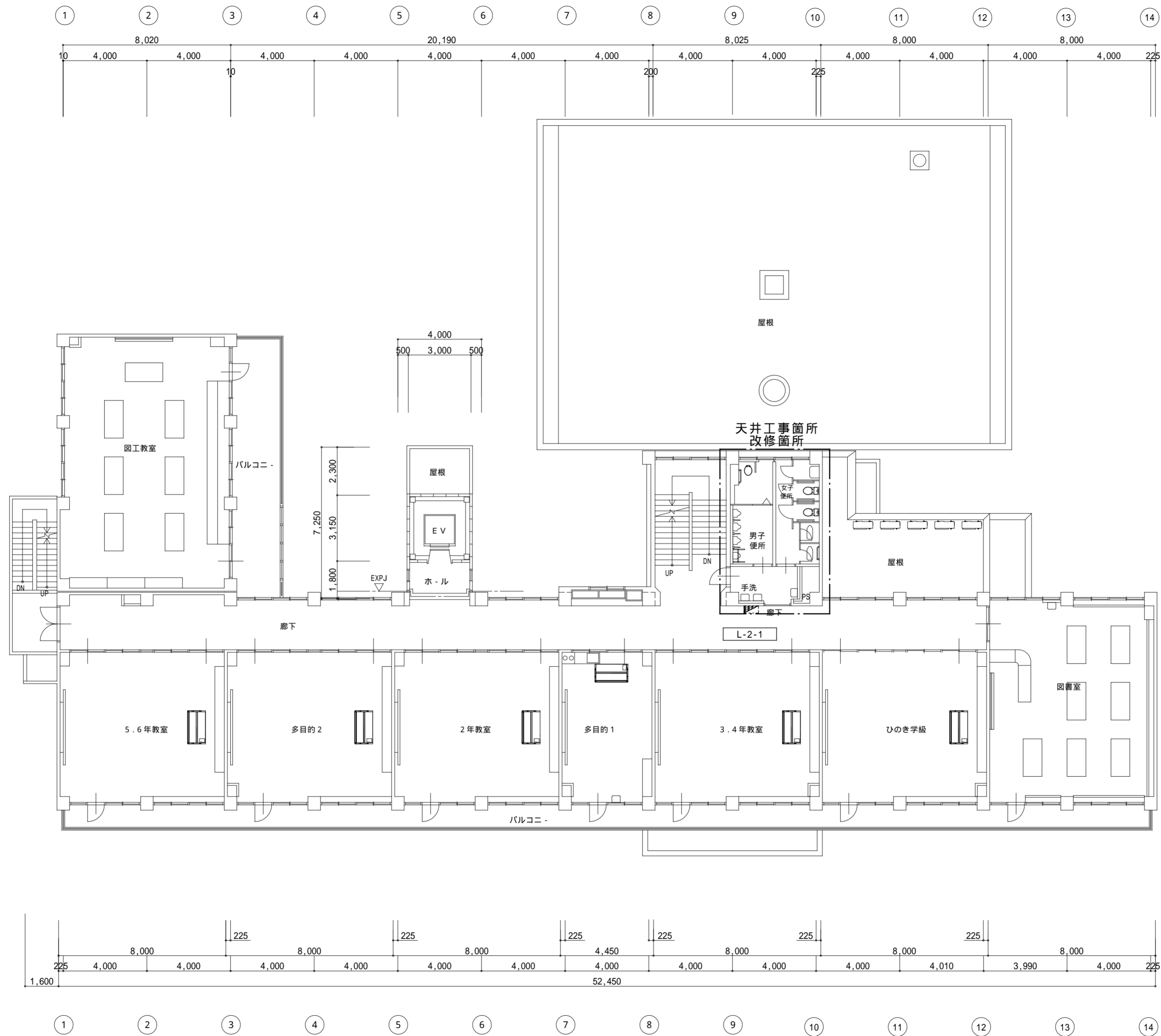
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士)	担当 (総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			総領小学校トイレ洋式化工事	2026・01	
						図面名称	縮尺	
						スラブリスト (既存)、詳細図【改修】	1:50	

1. 工事名称	総領小学校トイレ洋式化工事		6. 工事項目	監視設備		6. 工事項目	電気時計設備		凡 例			
2. 工事場所	広島県庄原市総領町下領家267		形式	・ 自立型 ・ デスク型		親時計	水晶発振式(・ 壁掛型 ・ 据置型)出力 回路		記号	名称	適用	標準取付高さ
3. 建物概要	RC ・ SRC ・ S ・ 地下 階/地上 3 階/塔屋 階/延面積 m ² ・ 小学校 ・ [消防法 第 7 項()]		監視対象	・ 受変電 ・ 衛生動力 ・ 空調動力 ・ 温湿度 ・ 発電機		子時計	・ 壁掛型 ・ 半埋込型 ・ 埋込型 ・ 吊下げ型		○	照明器具	○コード吊 ○壁付 ●非常照明	
4. 主な用途			計装配線	・ 含む ・ 含まず					□	照明器具	□壁付 □非常照明込	
5. 一般事項						○インターホン設備	用途		●	誘導灯	●通路誘導灯は矢印を記入	
1) 適用基準等	本工事は設計図・特記仕様書によると共に、建築設備工事共通仕様書(日本建築家協会監修)、電気設備の技術基準、内線規程、消防法、建築基準法及び、その他関係法令・規則・条例に基づき、完全に施工するものとする。					通話方式	・ 同時通話 ・ 交互通話		◎	照明器具	屋外灯	
2) 疑義	施工にあたり、疑義が生じた場合は、係員と協議すること。					形式	・ 親子式 ・ 相互式 ・					
3) 官公庁その他の手続	本工事に必要な官公庁への手続きは、請負業者にて代行し、これに要する費用は、請負業者の負担とする。		○幹線設備	施工範囲					Ⓜ	コンセント	壁付(2P15A x 2 コロ)他は口数傍記	FL+300
4) 工法の決定	施工者は、係員の承認なく、施工方法、使用材料及び使用機器を変更してはならない。変更を行う場合は、速やかに変更図面を提出し、係員の承認を得た後に施工すること。		電圧	動力 ・ 3 3W200V (・ AC ・ GAC) 動力 ・ 3 3W V (・ AC ・ GAC) 電灯 ・ 3 4W200/100V(・ AC ・ GAC) 電灯 ・ 1 3W200/100V(・ AC ・ GAC)		○ナースコール設備	機器				傍記Tは引掛型、Eは接地端子付、WPは防滴型を示す。	和室+200
			配線種別	一般電灯動力(・ 電線管 ・ ケーブル ・ バスタクト) 非常電灯動力(・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル) 直 流 (・ 耐熱電線 ・ 耐火ケーブル)		○設備					●床付2P15A x 2	
5) 提出書類	下記の ○ 印の書類を係員に提出すること。 工事書類 ○ 工程表 ○ メーカリスト ○ 納入仕様書 ○ 施工図 完成書類 ○ 官公庁等への諸手続きの写し ○ 検査試験成績表 ○ 取扱説明書 ○ 工事記録写真 ○ 竣工図		○動力設備	施工範囲		○自動火災報知設備	受信機		・	スイッチ	・ 片切 ・ 2両切 ・ 3路 ・ 4路	FL+1300
6) 検査	工事完成後、経済産業局、その他官公庁の各種検査に合格すると共に、係員の検査に合格すること。		器具仕様	照明器具の供給取付工事 非常照明器具(・ 専用 ・ 兼用 ・ 組込) 非常照明用予備電源 (・ 内蔵 ・ 別置) 誘導灯用非常電源 (・ 内蔵 ・ 別置)		受信機	・ 単独 ・ 複合 型 級(・ 自立型 ・ 壁掛型) (自火報) 回線、(防排煙) 回線		●	リモコンスイッチ	回路数は傍記による	和室 1200
7) 特記事項	1) 配線器具プレート(・ 樹脂 ○ 新金属 ・ ステンレス ・) 2) 工事項目は、番号の入っている設備項目を適用する。 3) 仕様、工事内容及び工事区分は、○ 印を付したものを適用する。 4) 機器の取付高さは、特に指示のない場合、標準取付高さによること。		○避雷設備	方式		総合盤	・ 消火栓組込 ・ 単独 消火ポンプ起動 受信機設置場所		▽	パイロットランプ		
			○電灯コンセント設備	分電盤を(○ 含み ・ 含まず)二次側端子接続より、配線器具等の取付まで。		制御盤	・ 単独(回線) ・ 火災報知受信機組込 制御対象		◎	リモコンスイッチ	確認ランプ付、窓数傍記	
						防排煙制御設備	・ 単独(回線) ・ 火災報知受信機組込 制御対象		◎	調光器	容量傍記、FLは蛍光灯用	
						避雷設備	・ 単針 ・ 棟上導体 接地極		◎	自動点滅器	特記なきは3Aとする。	
							突針支持管		◎	自動スイッチ	熱線センサー付	
							端子箱		◎	制御用スイッチ	◎フロードレススイッチ電極(種数は傍記)	
							突針支持管		◎	フロードレススイッチ	◎圧力スイッチ	
							端子箱		◎	換気扇	大きさ傍記、天井扇	
							端子箱		◎	開閉器	容量は傍記	FL+1500
							端子箱		◎	電灯分電盤	上層FL+1500	
							端子箱		◎	動力制御盤		
							端子箱		◎	灯動共用盤		
							端子箱		◎	警報盤		
							端子箱		◎	保安器盤		
							端子箱		◎	端子盤		
6. 工事項目	仕様、工事内容及び工事区分											
○引込設備	電圧種別	・ 高圧 W V Hz ・ 低圧 W V Hz ・ 低圧 W V Hz	○照明器具設備	施工範囲		7. 工事区分	(該当欄に○印で記します。)		◎	電話アクトレット	壁付、床付(ローテーションスタンド共)	
	引込方式	・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中	器具仕様	非常照明器具(・ 専用 ・ 兼用 ・ 組込) 非常照明用予備電源 (・ 内蔵 ・ 別置) 誘導灯用非常電源 (・ 内蔵 ・ 別置)		項 目	電気 建築 衛生 空調 別途 備考		◎	情報アクトレット	壁付、床付(ローテーションスタンド共)	
○受変電設備	形式	・ 閉鎖型(キュービクル) ・ 簡易閉鎖型 ・ 開放組立型	引込方法	・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中		電力会社・NTTに納入する負担金			◎	接地端子箱		
	施設場所	・ 屋内(階) ・ 屋外(・ 地上 ・ 屋上)	建物内配管	・ 配管 ・ ケーブルラック		テレビ受信のビル影響調査及び補償費			◎	スปีカ	天井埋込型、壁掛型	
	主遮断器	・ VCB ・ GCB ・ LBS	構内配線	・ 含む ・ 含まず		受電後、引渡し迄の電気基本料金及び使用料金			◎	ホン型スピーカ		
	設備容量	7.2kV A kA 変圧器 (動力用 kVA、電灯用 kVA) (その他 用 kVA) 進相コンデンサ kvar 直列リアクトル kvar				コンクリート基礎(・ キュービクル ・ 発電機 ・ 変圧器 ・ 盤類 ・ 外灯)			◎	ジャック	MJマイクジャック、SJスピーカジャック	
○発電機設備	用途	・ 常用 ・ 非常用 ・ 兼用 ・ コージェネ	○電話設備	交換機		シンダーコンクリート打設工事			◎	アツテナータ		
	形式	・ パッケージ型 ・ 据置型 ・ 屋内型 ・ 屋外型	交換機	・ 含む ・ 含まず ・ 電子交換機 局線 / 回線 ・ ボタン電話機 型		ビット工事(緑金物、蓋共)			◎	増幅器		
	発電機	定格出力 W kVA Hz、力率 % 運 転 (・ 1時間 ・ 連続 ・ 常用)	引込方法	・ 架空 ・ 地中 ・ 構内地中		天井に取付ける機器の穴明けと補強工事及び取付枠			◎	遠隔操作器		
	エンジン	種 類 (・ ディーゼル ・ タービン) 定格出力 PS rpm 出力電圧 W kVA Hz、 冷却方式 (・ 水冷 ・ 空冷)	建物内配管	・ 配管 ・ ケーブルラック		電気配線用点検口の設置工事			◎	アンテナ	種類、素子数傍記	
	燃料	・ 重油 ・ 軽油 ・ ガス	配 線	・ 含む ・ 含まず					◎	パラボラアンテナ	大きさ傍記	
	燃料タンク	L (・ 搭載型 ・ 別置型)							◎	TV機器収納函		
	始動時間	秒以内 始動方式(・ 空気 ・ 蓄電池)							◎	直列ユニット	75 (端子型)	
	始動盤	(・ 搭載型 ・ 別置型)							◎	インターホン	親機、子機	
○蓄電池設備	用途	・ 非常用 ・ 一般 ・ 兼用	○放送設備	用途		8. メーカリスト (その他下記以外で、係員が同等品以上と認められたもの)			◎	時計	親時計、子時計	
	収容形式	・ 閉鎖型 ・ 開放架台	増幅器形式	・ 自立型 ・ 卓上型 ・ デスク型 ・ 壁掛型		電線ケーブル	発 電 機		◎	避雷突針		
	蓄電池形式	鉛 (・ HS ・ HS-E ・ MSE)	出力	W、出力回路 回路		バスダクト	エンジン		◎	試験用接続端子箱		
	アルカリ	(・ AMH ・ AHH ・ AH)	遠隔操作器	・ 有 ・ 無 (・ 非常用 ・ 一般用)		電線管	直流電源装置		◎	接地極	種別傍記	
	セル	V AH HR	付属機器			電線管付属品	電話交換機		◎	ジョイントボックス		
	整流器	入力 W V 全自動充電方式	増幅器設置場所			合成樹脂電線管	放送機器		◎	ブルボックス		
	特殊仕様	負荷電圧調整器 A				配線器具	テレビ共聴		◎	ハンドホール	□マンホール(蓋荷重傍記)	
						照明器具	電気時計		◎	配管・配線	立上り、素通し、引下げ	
						キュービクル	インターホン		◎	床埋込・天井隠ぺい		
						高低圧配電盤	ナースコール		◎	露出		
						制御盤監視盤	自火報防排煙		◎	地中		
						分電盤端子盤	避 雷 針		◎			
						高圧機器			◎			
						変圧器			◎			
						進相器			◎			

記事:	 有限会社 山 谷 建 築 設 計 事 務 所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・ 構造設計	・ 土法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・ 1級建築士登録第 号	工事名称	総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日	2026・01	図面番号	E 0 1
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号	・ 設備設計	・ 土法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・ 1級建築士登録第 号	図面名称	電気設備工事特記仕様書	縮 尺	N・S		



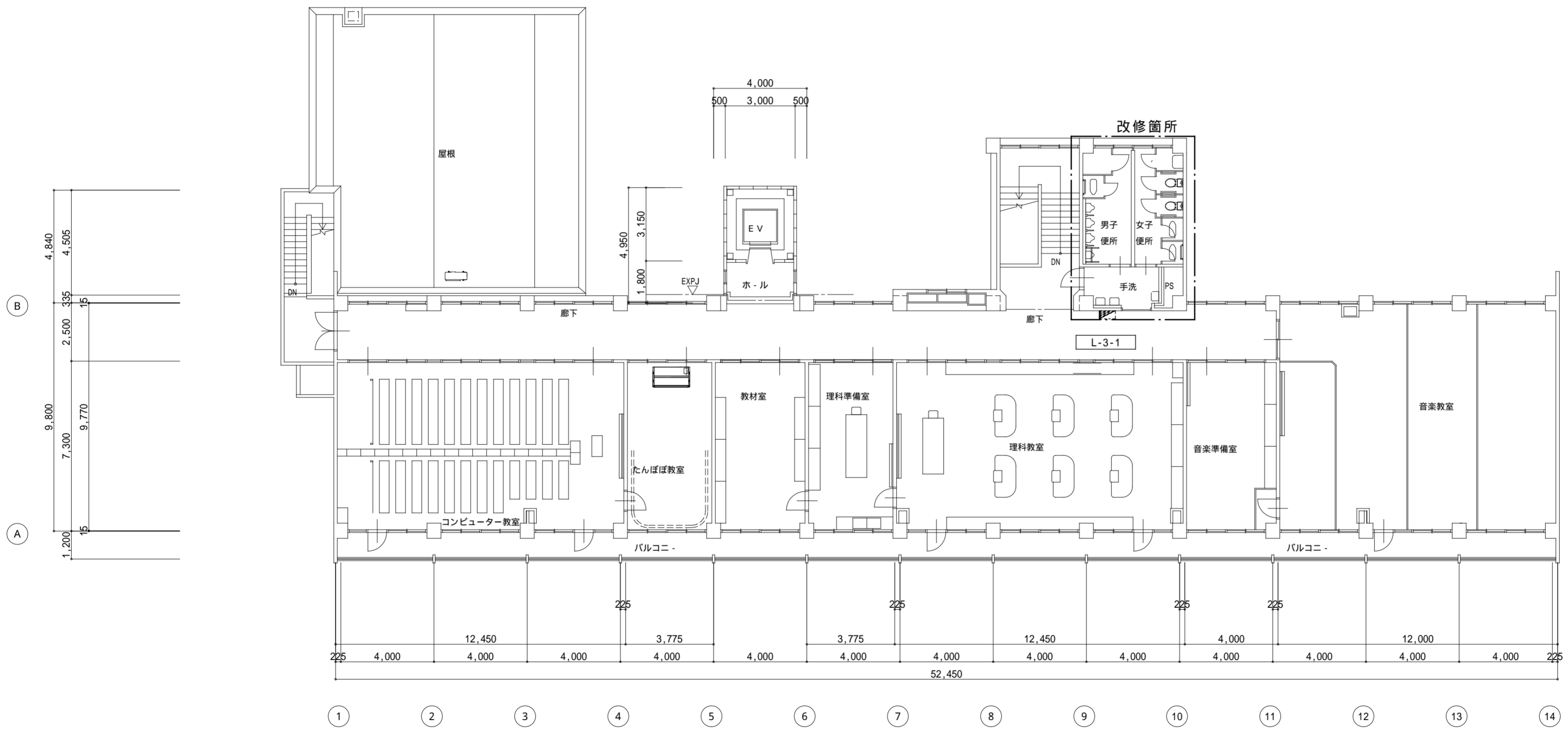
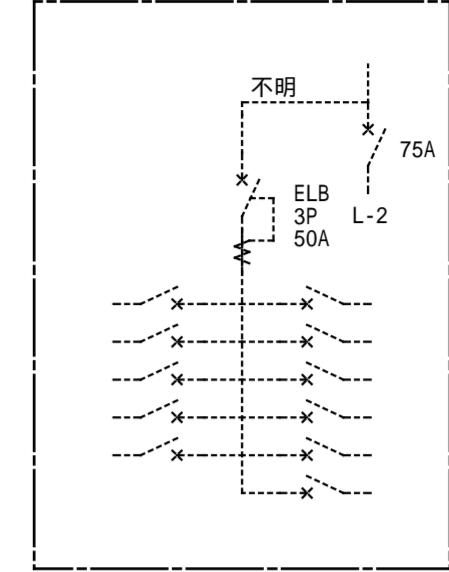
記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事 図面名称 1階電気設備平面図	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第229944号	1級建築士登録第225544号			2026・01	
		倉田 洋二	倉田 まゆみ			縮尺	
						1:150	



2階平面図 1:200

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日 2026・01	図面番号 E 0 3
		縮尺 1:150	図面名称 2階電気設備平面図					



L-3-1 (既設)

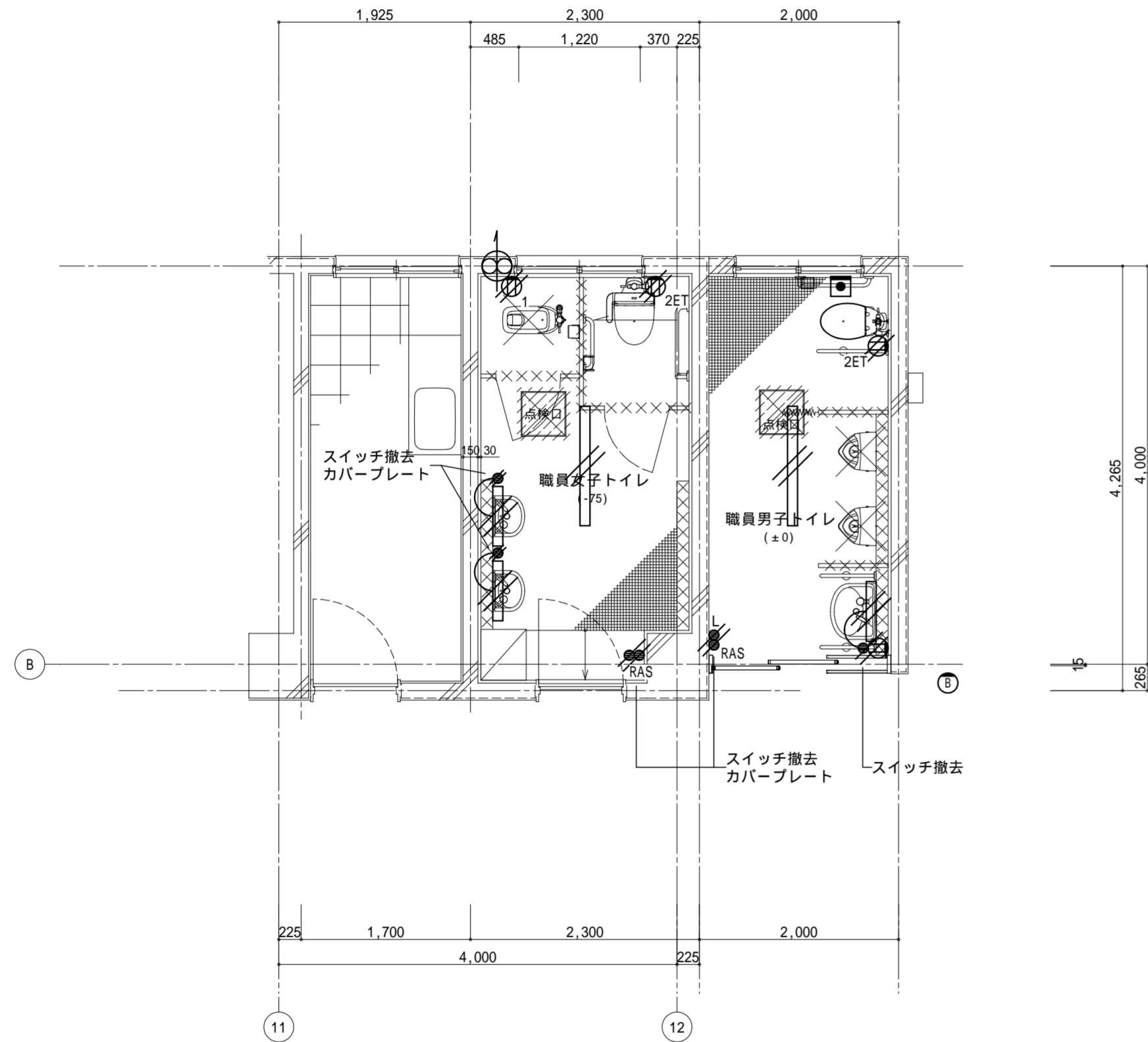


3階平面図 1:200

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認	・土法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日 2026・01	図面番号 E 0 4
				・設備設計 ・法適合確認	・土法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号			

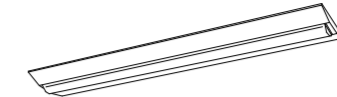
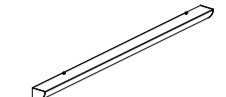
改修前

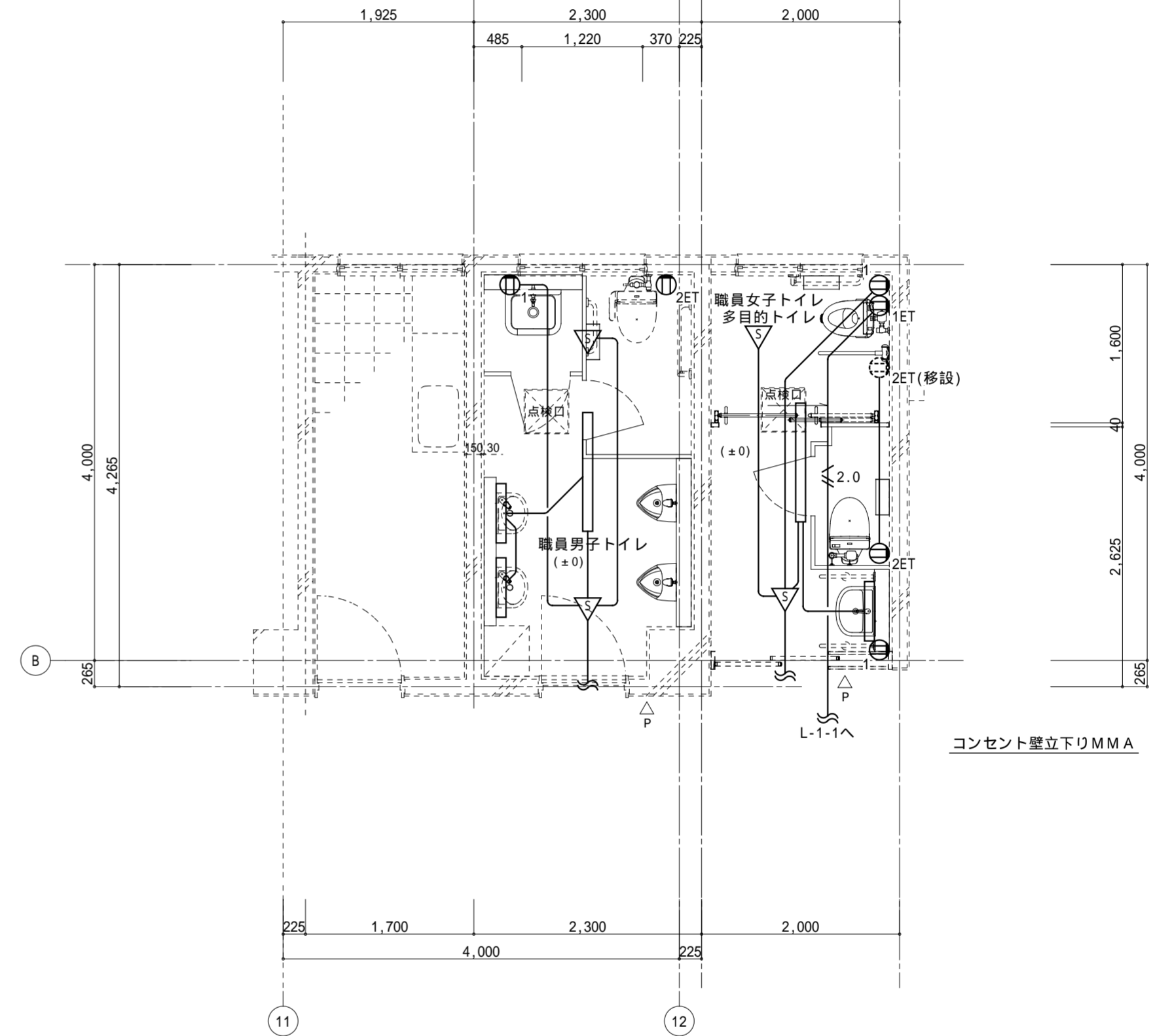
	撤去		撤去
FL40W×1 富士型		FL20W×1 ブラケット	



平面詳細図 1:50

改修後

	標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ 9322 器具光束1360lm、消費電力11.7W、電圧100V 調光タイプ 3359(乳白) 調光タイプ 3327(約1つや消し) 器具(器具が設置する場所) 電圧は必ずしも110		標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ 9322 器具光束1360lm、消費電力11.7W、電圧100V 調光タイプ 3359(乳白) 調光タイプ 3327(約1つや消し) 器具(器具が設置する場所) 電圧は必ずしも110
LED 3200lmタイプ	参考型番:XF439DENLE9	LED 20形	参考型番:NN13510



平面詳細図 1:50

凡例

◁	室名札
◁P	ビクトサイン

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
1級建築士登録第229944号
倉田 洋二

担当(総合)
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認
・設備設計
・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号
・士法20条の3 設備設計1級建築士 号
・1級建築士登録第 号

工事名称
総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称
1階電気設備平面詳細図-1(改修前・後)

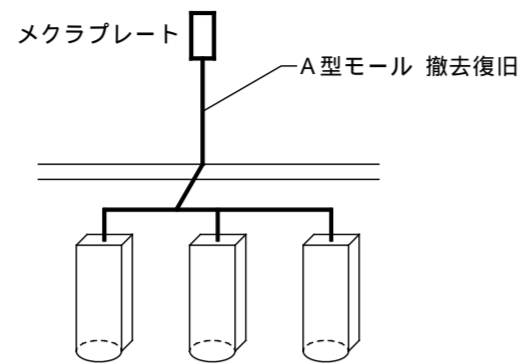
設計年月日
2026・01

縮尺
1:50

図面番号

E05

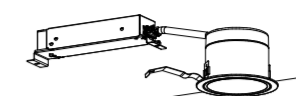
改修前



撤去

FL40W×1 富士型

改修後



LED内蔵タイプ(2と約94°)・電源21以内蔵、一般色94°
5000K、Ra85、配線94°
光源部自動点滅、光束維持時間4000時間(光束維持率85%)
器具光束:88lm、消費電力:4.2W、電圧:100-242V
反射板(上部):フッ素樹脂(防汚)
反射板(下部):75(銀色鏡面仕上)
枠:鋼板(防錆処理済仕上)、埋込穴:100

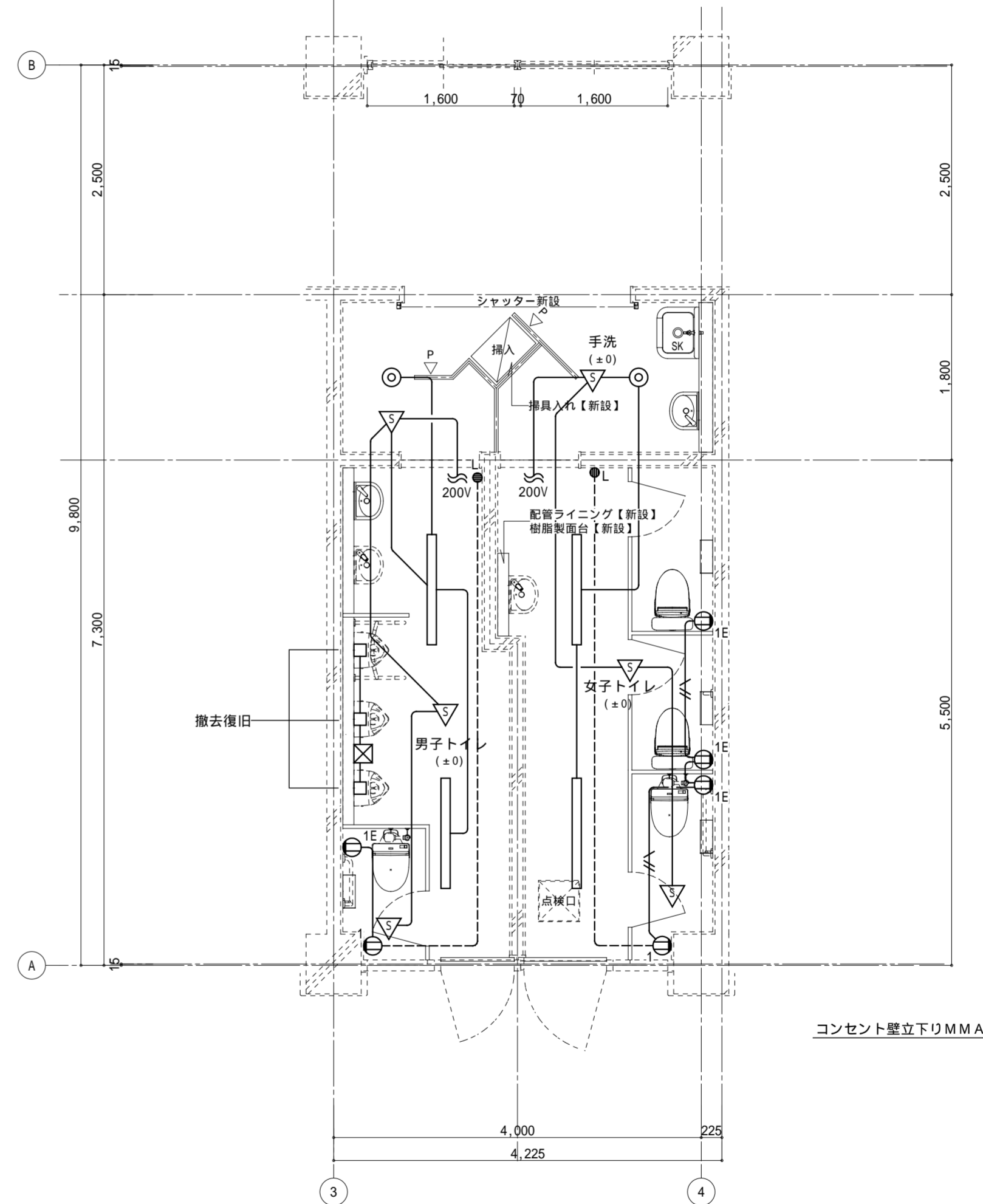
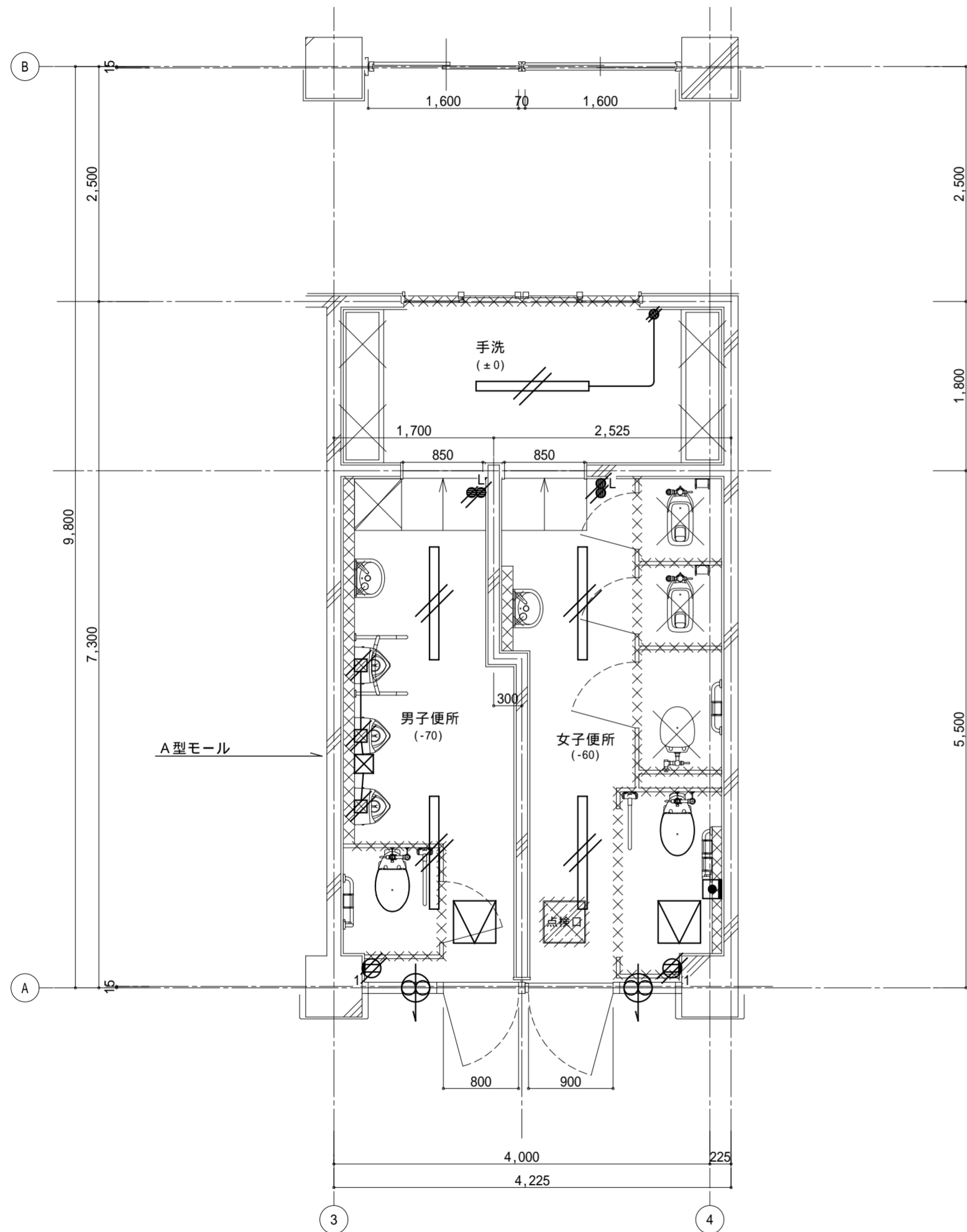
参考型番: XND0637SN

ダウンライト 60形

LED内蔵、一般94°、3200lmタイプ
消費電力20.3W、定格出力型、電圧100-242V
本体:鋼板(白色粉末塗装)
反射板(上部):フッ素樹脂(防汚)
反射板(下部):75(銀色鏡面仕上)
電線径:φ2.0mm、Ra85
電源装置は54W以内蔵

参考型番: XF4390ENLE9

LED 3200lmタイプ



凡例

◁	室名札
◁P	ピクトサイン

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・土法20条の2 構造設計1級建築士 号

・1級建築士登録第 号

・設備設計

・土法20条の3 設備設計1級建築士 号

・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階電気設備平面詳細図-2(改修前・後)

設計年月日

2026・01

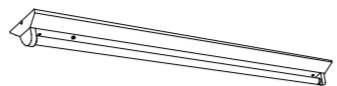
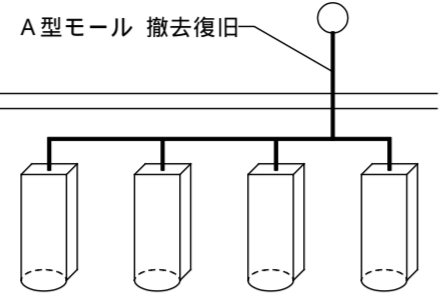
縮尺

1:50

図面番号

E06

改修前



撤去

FL40W×1 富士型

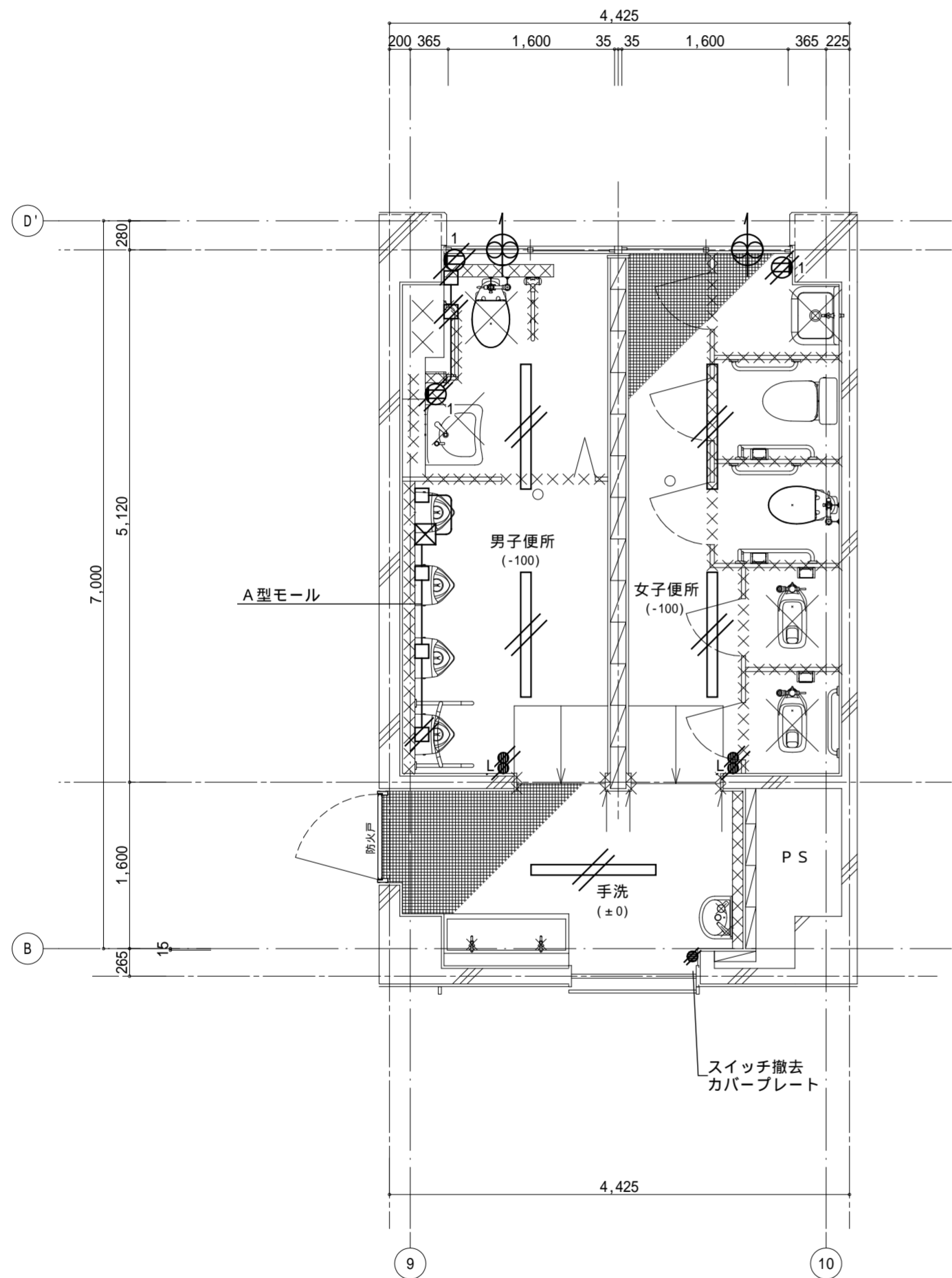
改修後



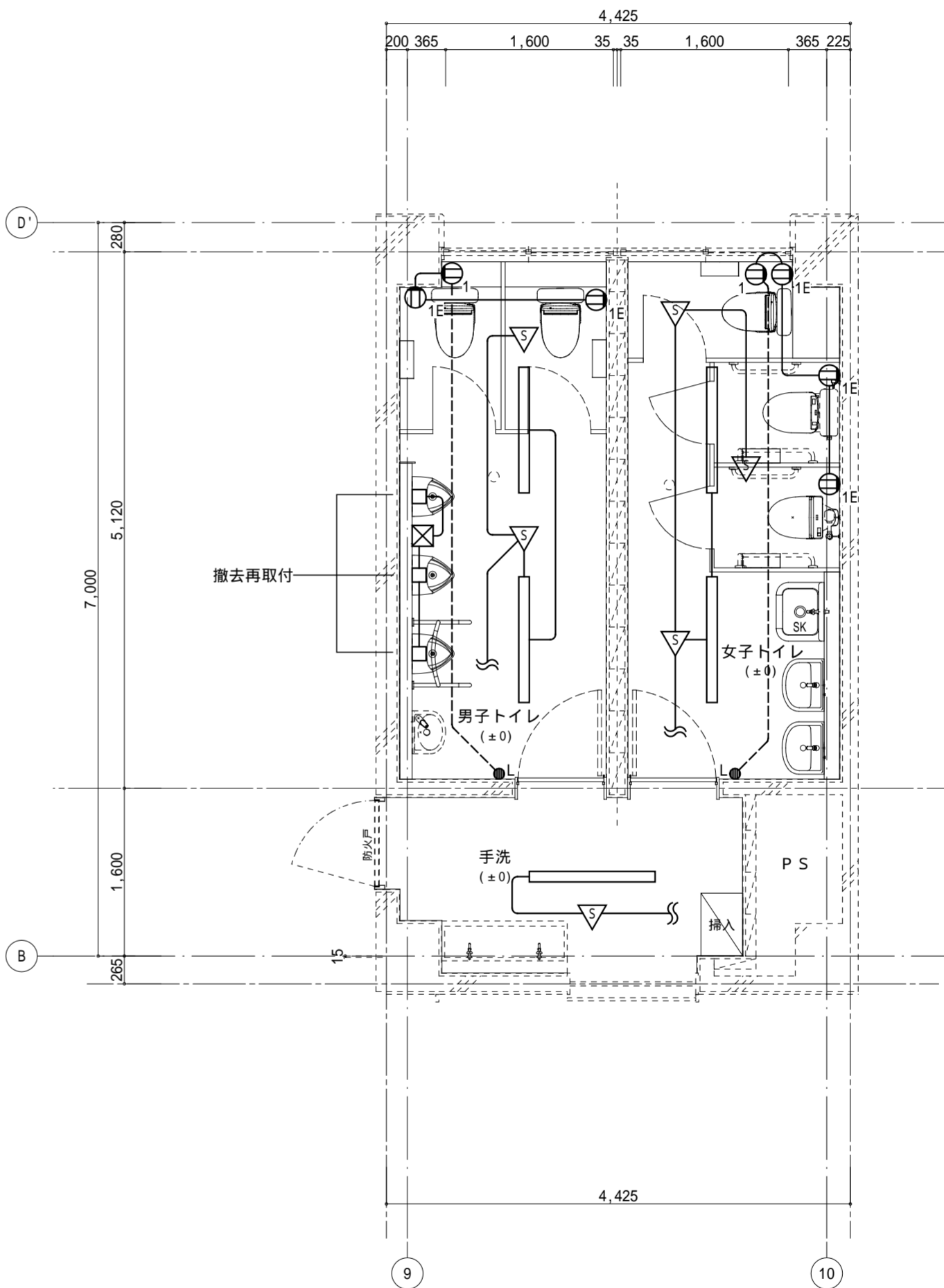
LED専用 一般形 3200lmタイプ
消費電力20.3W 定格出力型 電圧100-242V
本体:鋼板(白色形体塗装)
カバー:PMMA(透明) 伊予型(乳白)
光束維持時間4000時間(光束維持率80%)
昼白色(5000K), Ra85
電源装置はカバー側に内蔵

参考型番:XF439DENLE9

LED 3200lmタイプ



平面詳細図 1:50



平面詳細図 1:50

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・法適合確認

・設備設計

・法適合確認

・土法20条の2 構造設計1級建築士 号

・1級建築士登録第 号

・土法20条の3 設備設計1級建築士 号

・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

2階電気設備平面詳細図(改修前・後)

設計年月日

2026・01

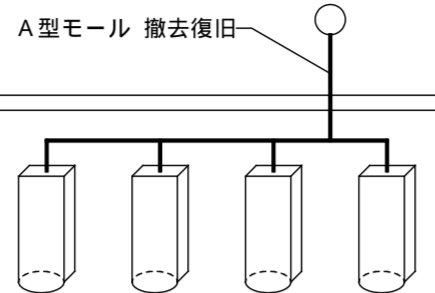
縮尺

1:50

図面番号

E07

改修前



撤去

FL40W×1 富士型

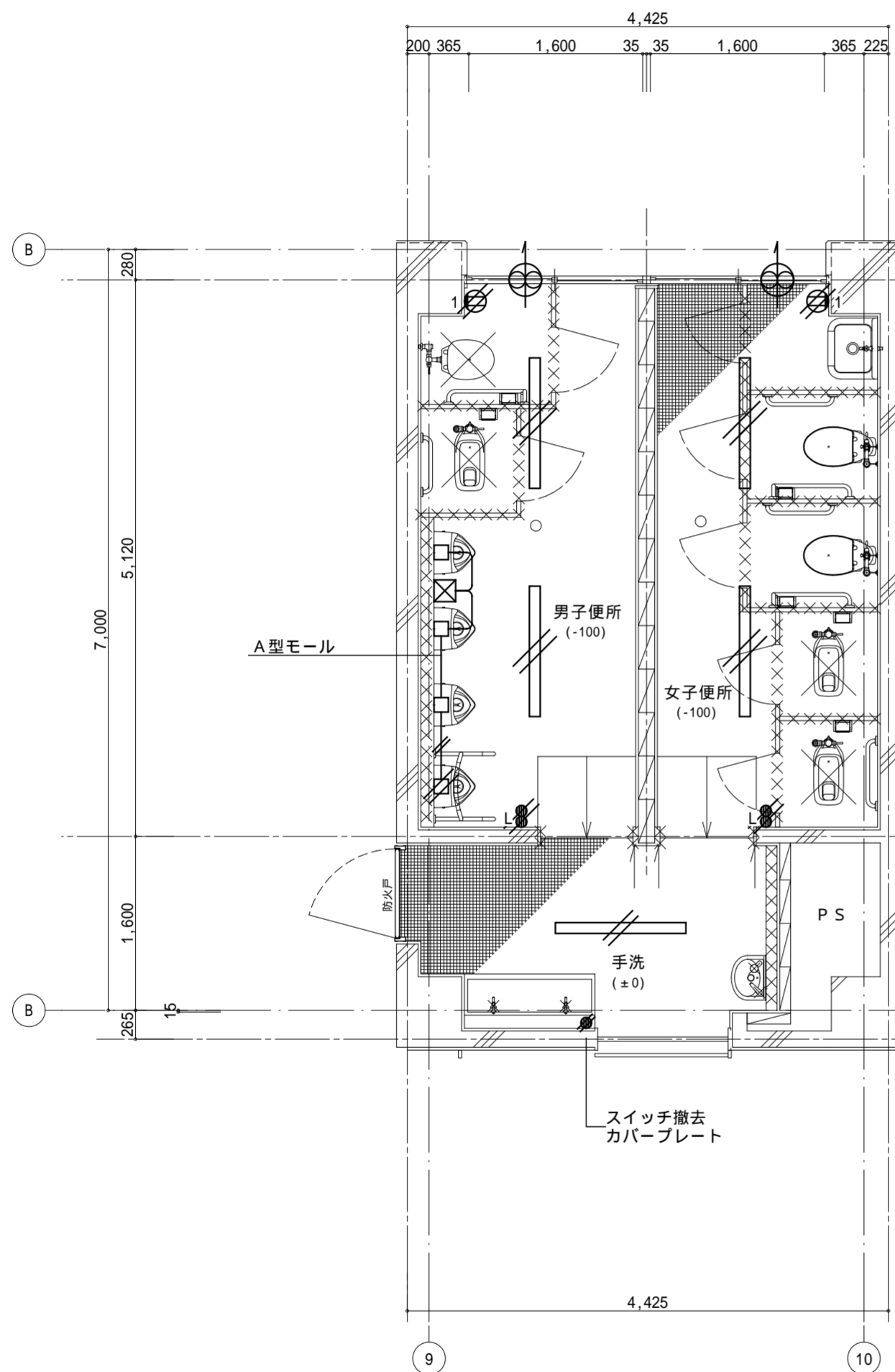
改修後



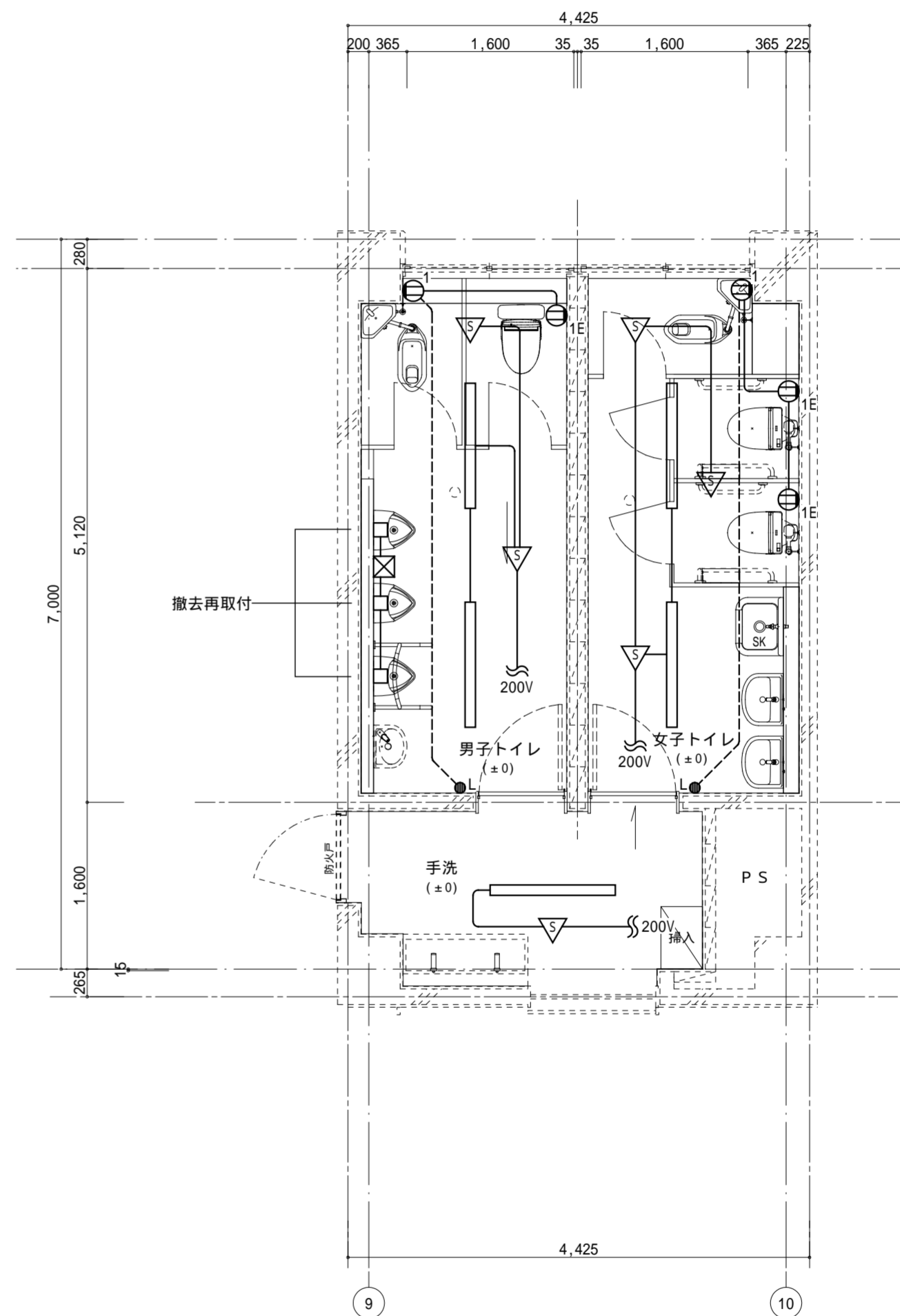
LED 3200lmタイプ
LED 消費電力 3200lmタイプ
 消費電力20.3W、定格出力型、電圧100-240V
 本体・調光(白色系体塗装)
 24Hr(約1.8ヶ月)保証(乳白)
 光東維持時間4000時間(光束維持率85%)
 保証書(2020年)発行
 電源装置は3分以内の間に内蔵

参考型番:XF439DENLE9

LED 3200lmタイプ



平面詳細図 1:50



平面詳細図 1:50

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)
 1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

- ・構造設計 土法20条の2 構造設計1級建築士 号
- ・法適合確認 1級建築士登録第 号
- ・設備設計 土法20条の3 設備設計1級建築士 号
- ・法適合確認 1級建築士登録第 号

工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称 3階電気設備平面詳細図(改修前・後)

設計年月日 2026・01

縮尺 1:50

図面番号

E08

機 器 表

器 具 名	仕 様	電源仕様		1階職員用		1階児童用			2階児童用			3階児童用			合計	備考
		電源(電圧)	消費電力	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	手洗い	男子トイレ	女子トイレ	手洗い	男子トイレ	女子トイレ	手洗い		
【新設器具】																
和 風 便 器	C755V.U.S570B.TS750ZSRR32.TS671FUS (床給水)											1	1		2	新設
洋 風 便 器	CS670B.SH670BA.TCF6543AM (洗浄便座、リモコン洗浄タイプ)	単相100V	408W		1										1	〃
洋 風 便 器	CS670B.SH670BA.TCF226 (ナシ付 着座センサー付)	単相100V	56W						2	2	1	1			6	〃
洗 浄 便 座	TCF6543	単相100V	408W	1											1	〃
洗 浄 便 座	TCF5841P (便器洗浄なし、蓋なし)	単相100V	1260W		1										1	〃
暖 房 便 座	TCF226 (蓋付 着座センサー付)	単相100V	56W			1	1			2		2			6	〃
棚 付 二 連 紙 巻 器	YH650			1	2	1	3		2	3		2	3		17	〃
小 便 器	UFH570.TEA62ADS.T9R (発電式自動水栓)			2											2	〃
可 動 手 す り	L112HK7R (跳ね上げ式)				1										1	〃
自 動 水 栓	TEJ20DPRA (乾電池タイプ)			2		1	1		1			1			6	新設(既設手洗器に取付)
手 洗 器	L30DM.TLE28SS1W(発電式)				1	1		1		2			2		7	〃
掃 除 流 し	SK22A.TK22.T23AEQ20C.TN114.Y9R.HH04060x2.T37SGEP			1					1	1			1		4	〃
【流用機器】																
洋 風 便 器	C21(フラッシュ弁)、洗浄便座は撤去・新設			1											1	撤去・再取付(移設)
洋 風 便 器	C14.TV150NDH (フラッシュ弁)便座は撤去・新設					1	1			2		2			6	〃
車 椅子 用 便 器					1										1	〃
小 便 器	U29 (発電式自動水栓)					3			3			3			9	〃
L 形 手 す り				1	1	1	1			2		1	2		9	〃
I 型 手 す り				1						2		1	3		8	〃
小 便 器 用 手 す り						1			1			1			3	〃
洗 面 器 手 す り					1										1	〃
手 洗 器	L5相当 水栓撤去(取替)			2		1	1		1		移設	1		移設	6	〃
化 粧 鏡				2	1	1	1								5	〃
手 洗 流 し	水栓									2				2	4	〃

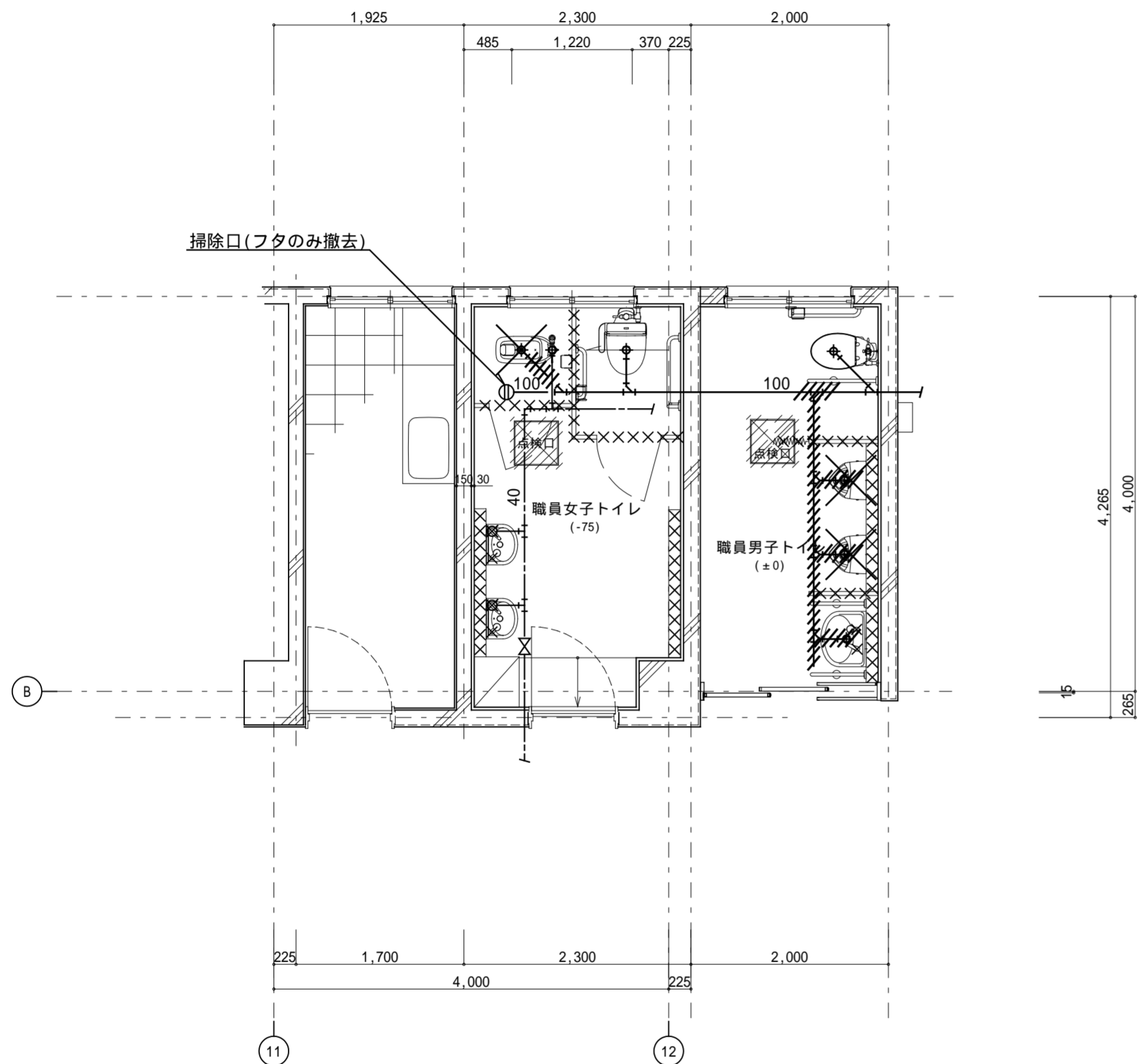
器 具 名	仕 様	電源仕様		1階職員用		1階児童用			2階児童用			3階児童用			合計	備考
		電源(電圧)	消費電力	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	手洗い	男子トイレ	女子トイレ	手洗い	男子トイレ	女子トイレ	手洗い		
【撤去機器】																
和 風 便 器	C375V.TV700C (フラッシュ弁)			1			2			2		1	2		8	撤去(廃棄処分)
洋 風 便 器	C14.TV150NDH (フラッシュ弁)						1					1			2	〃
車 椅子 用 便 器									1						1	〃
紙 巻 器				2	1	1	4		1	4		2	4		19	〃
小 便 器	U29(発電式自動水栓)				2				1			1			4	〃
可 動 手 す り						1	1		1						3	〃
L 形 手 す り									1						1	〃
I 型 手 す り										1					1	〃
車 椅子 用 洗 面 器					1				1						2	〃
手 洗 流 し	水栓								6						6	〃
車 椅子 用 固 定 手 す り					1										1	〃
掃 除 流 し											1		1		2	〃

(特記事項) 1階職員用トイレは男子用と女子用が逆になるので、器具表の数量は改修後の部屋名で表示しています。

- 1.トイレの床が嵩上となる部分の衛生器具・化粧鏡等は一旦撤去し高さを変更して再取付とする。接続配管はすべて新設とする。
- 2.既設流用の洋風便器は床張り替えのため、一旦撤去・再取付とする。
- 3.器具の配管は、1階はビット内、2階は天井内で既設管へ接続、不要配管は撤去しキャップ止め又はプラグ止めとする。
- 4.既設掃除口は床の嵩上げのため掃除用蓋のみ撤去し、VU管継ぎ足しの上掃除口は新設とする。

改修前

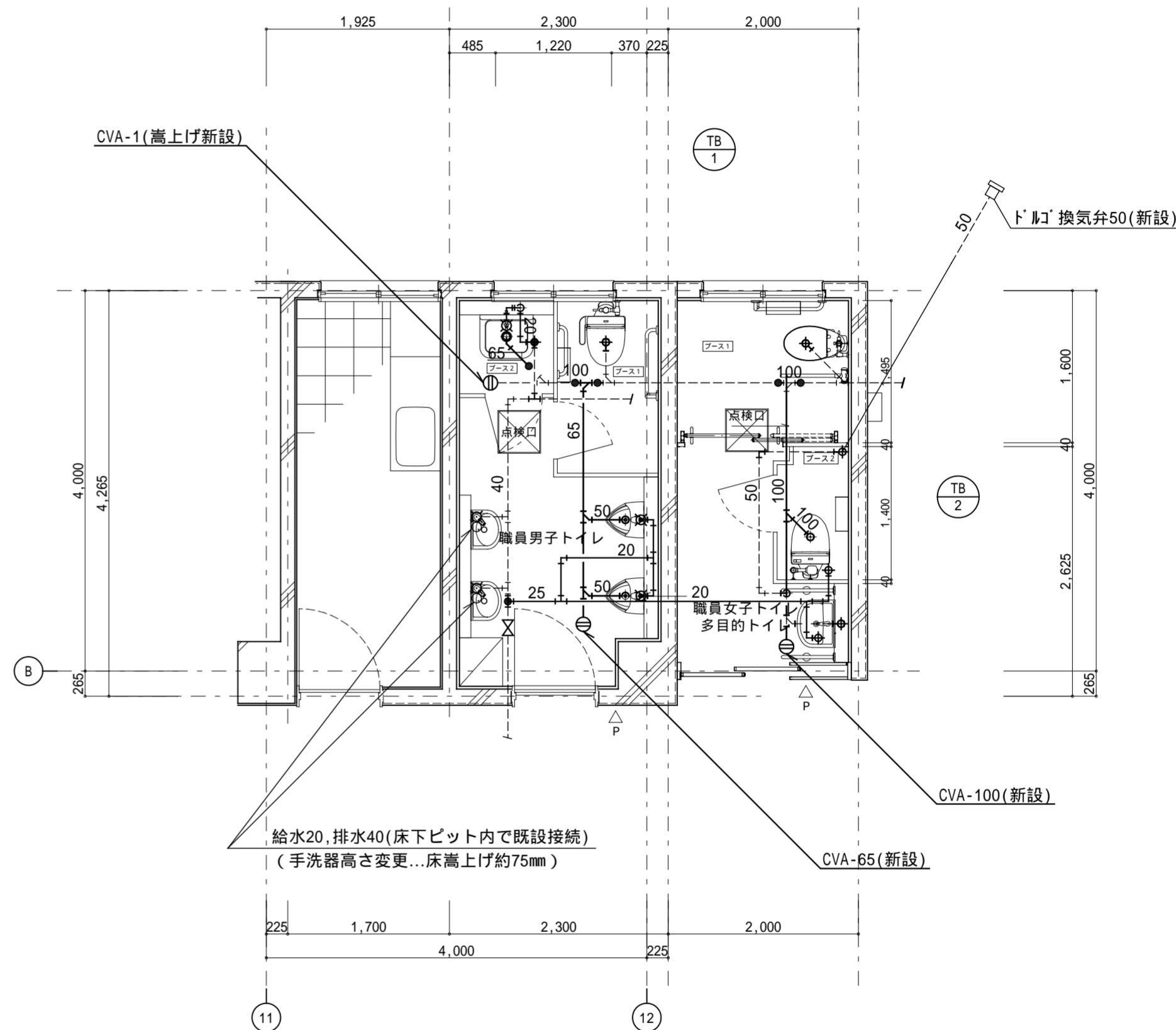
〔凡例〕
//// 配管撤去部分を示す



平面詳細図 1:50

改修後

〔凡例〕
---●--- 既設接続部を示す
--- 既設配管
— 新設配管



平面詳細図 1:50

凡例

◁	室名札
◁P	ピクトサイン

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号
 倉田 洋二

担当(総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計 土法20条の2 構造設計1級建築士 号
 ・法適合確認 1級建築士登録第 号
 ・設備設計 土法20条の3 設備設計1級建築士 号
 ・法適合確認 1級建築士登録第 号

工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事

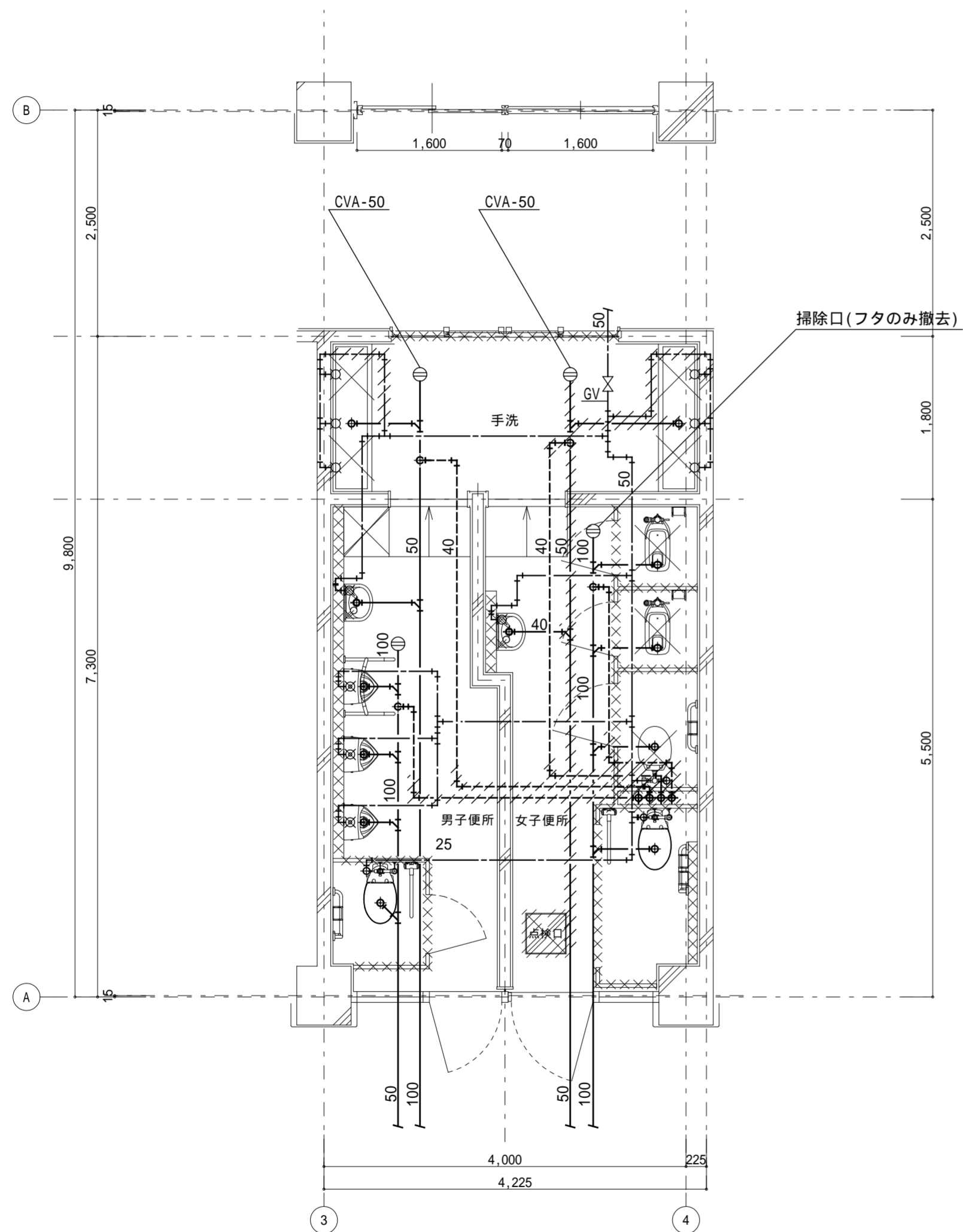
図面名称 1階給排水設備平面詳細図-1(改修前・後)

設計年月日
 2026.01
 縮尺
 1:50

図面番号 M03

改修前

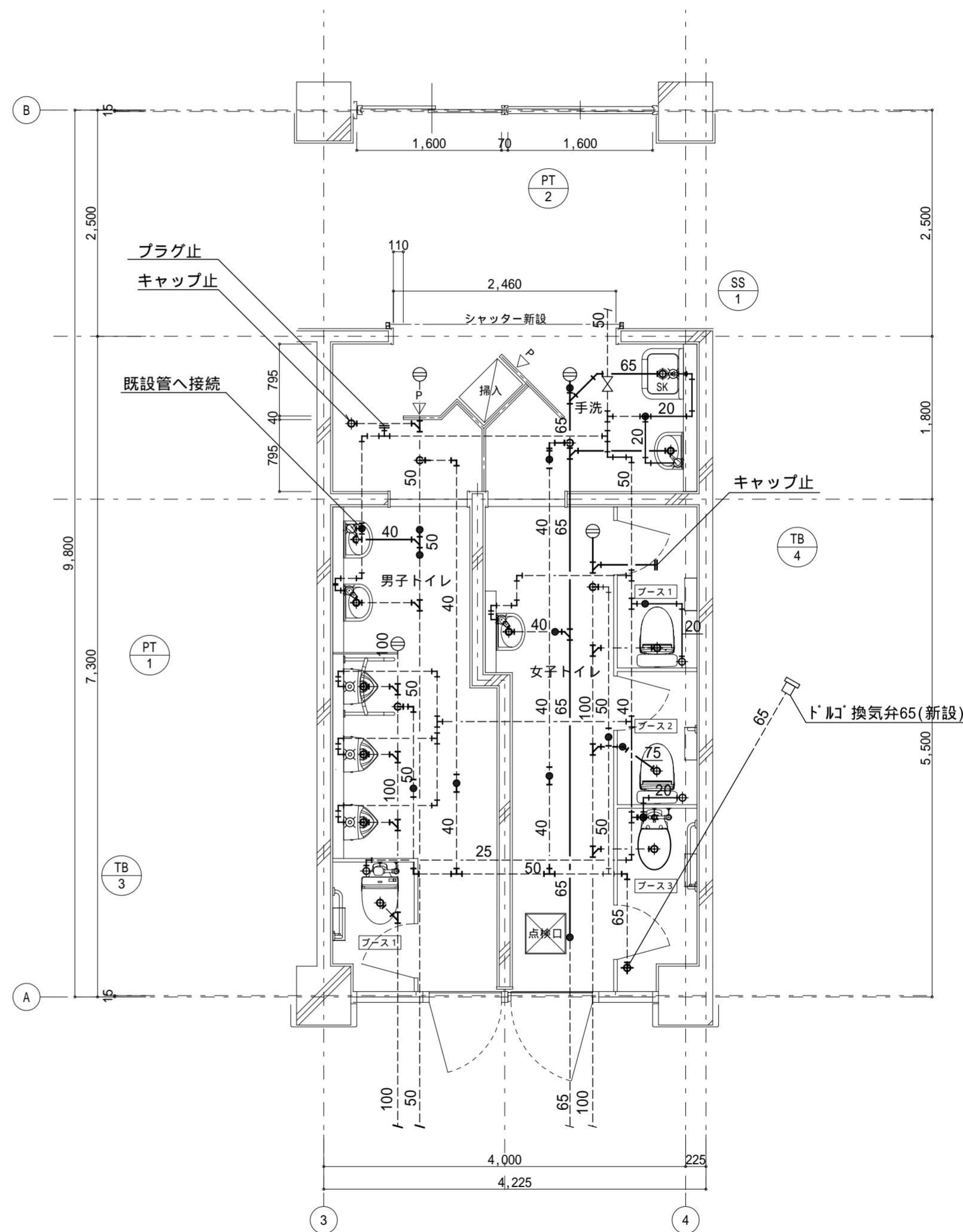
〔凡例〕
////// 配管撤去部分を示す



平面詳細図 1:50

改修後

〔凡例〕
---●--- 既設接続部を示す
--- 既設配管
— 新設配管



平面詳細図 1:50

凡例

◁	室名札
◁P	ピクトサイン

記事：

有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者（管理建築士）

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当（総合）

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・土法20条の2 構造設計1級建築士第 号

・1級建築士登録第 号

・設備設計

・土法20条の3 設備設計1級建築士第 号

・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

1階給排水設備平面詳細図-2（改修前・後）

設計年月日

2026・01

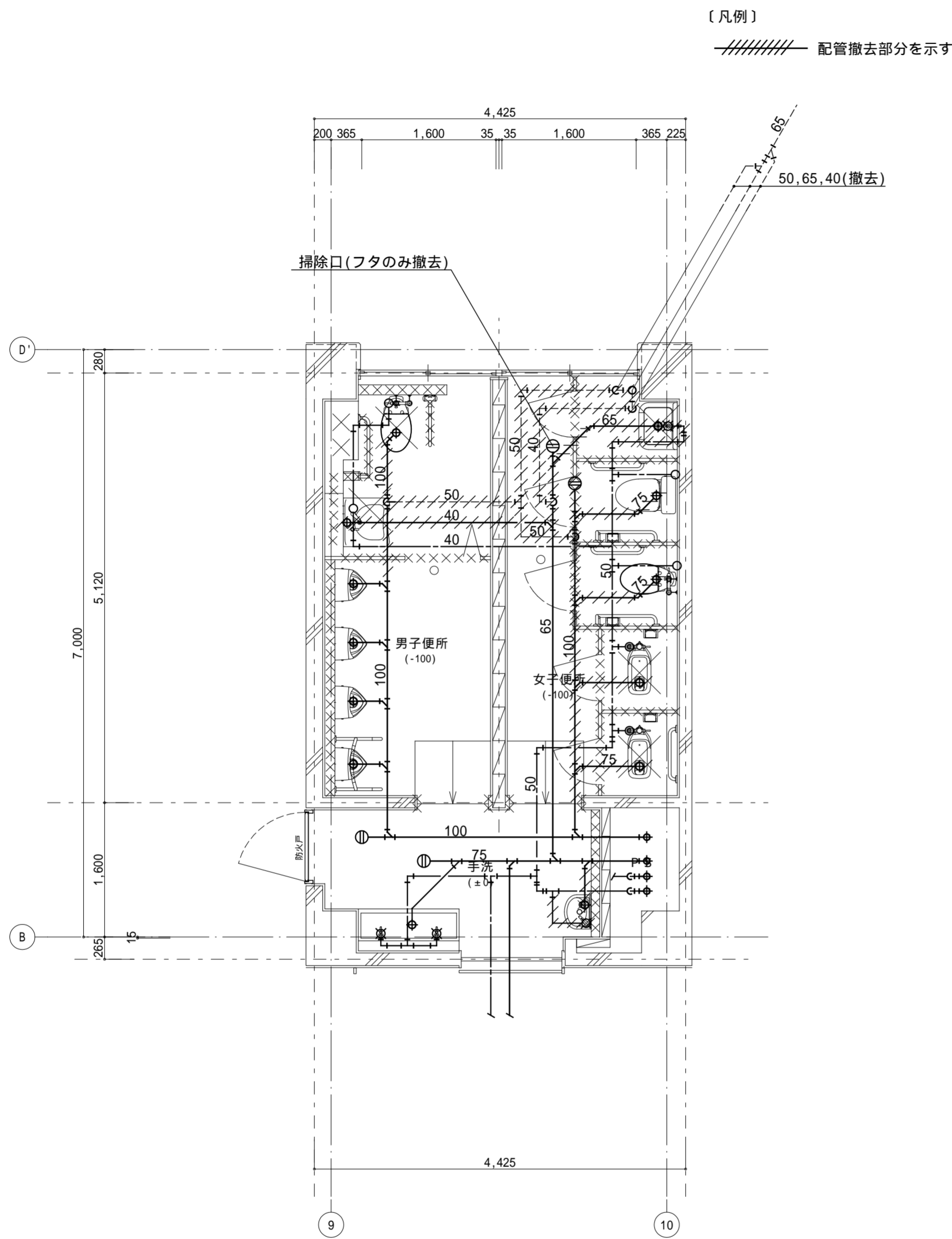
縮尺

1:50

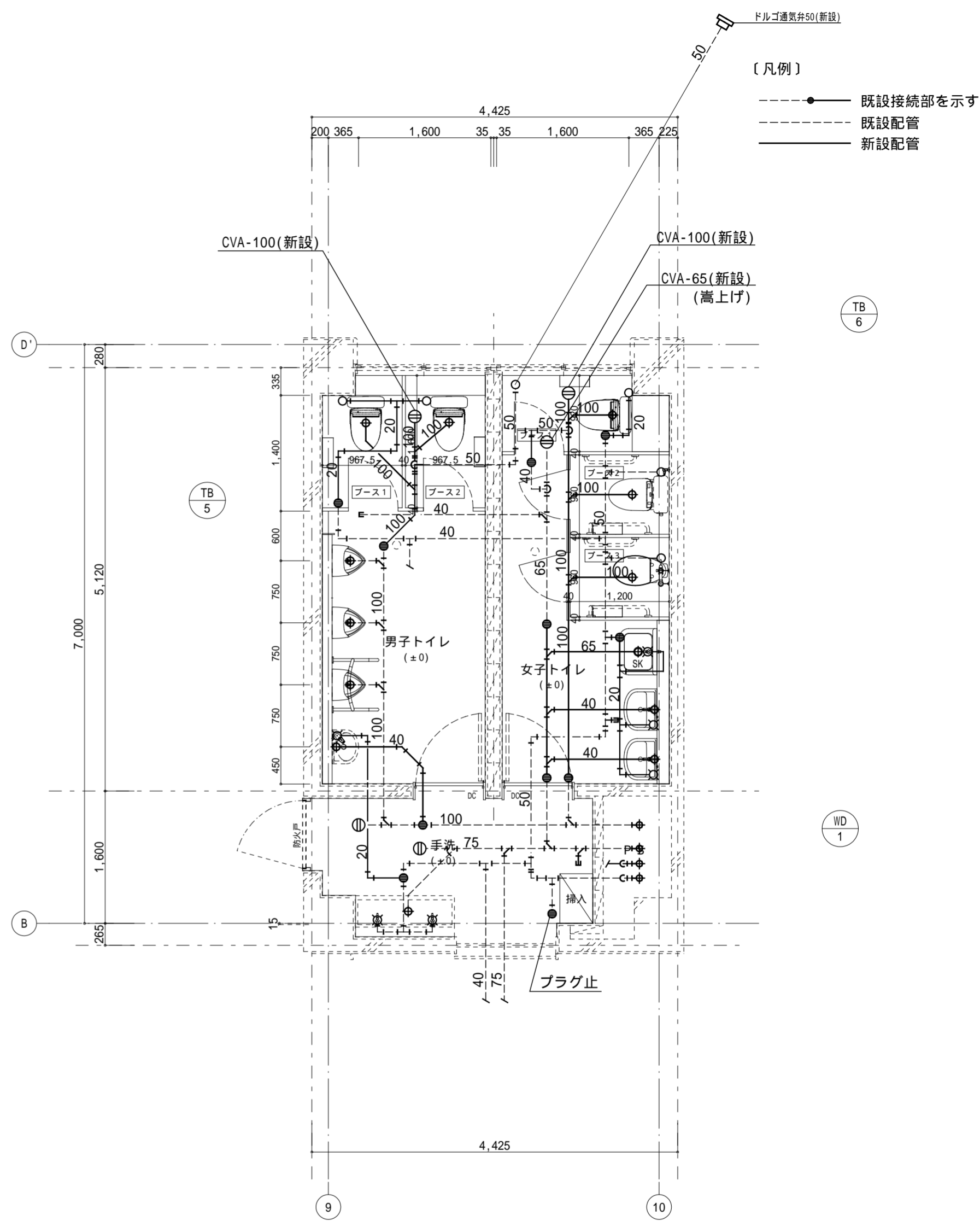
図面番号

M04

改修前



改修後



記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計

・土法20条の2 構造設計1級建築士 号

・1級建築士登録第 号

・設備設計

・土法20条の3 設備設計1級建築士 号

・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

2階給排水設備平面詳細図(改修前・後)

設計年月日

2026・01

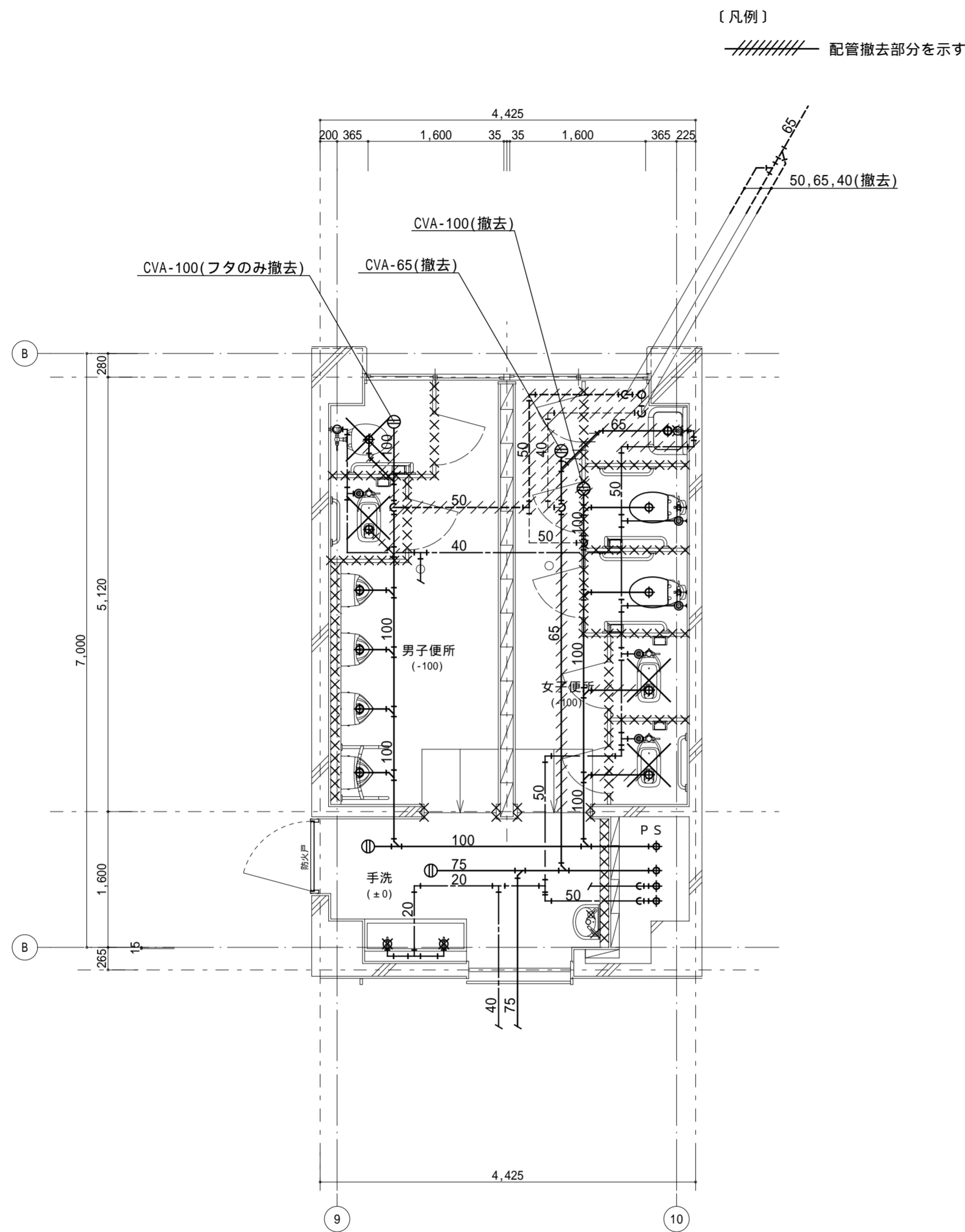
縮尺

1:50

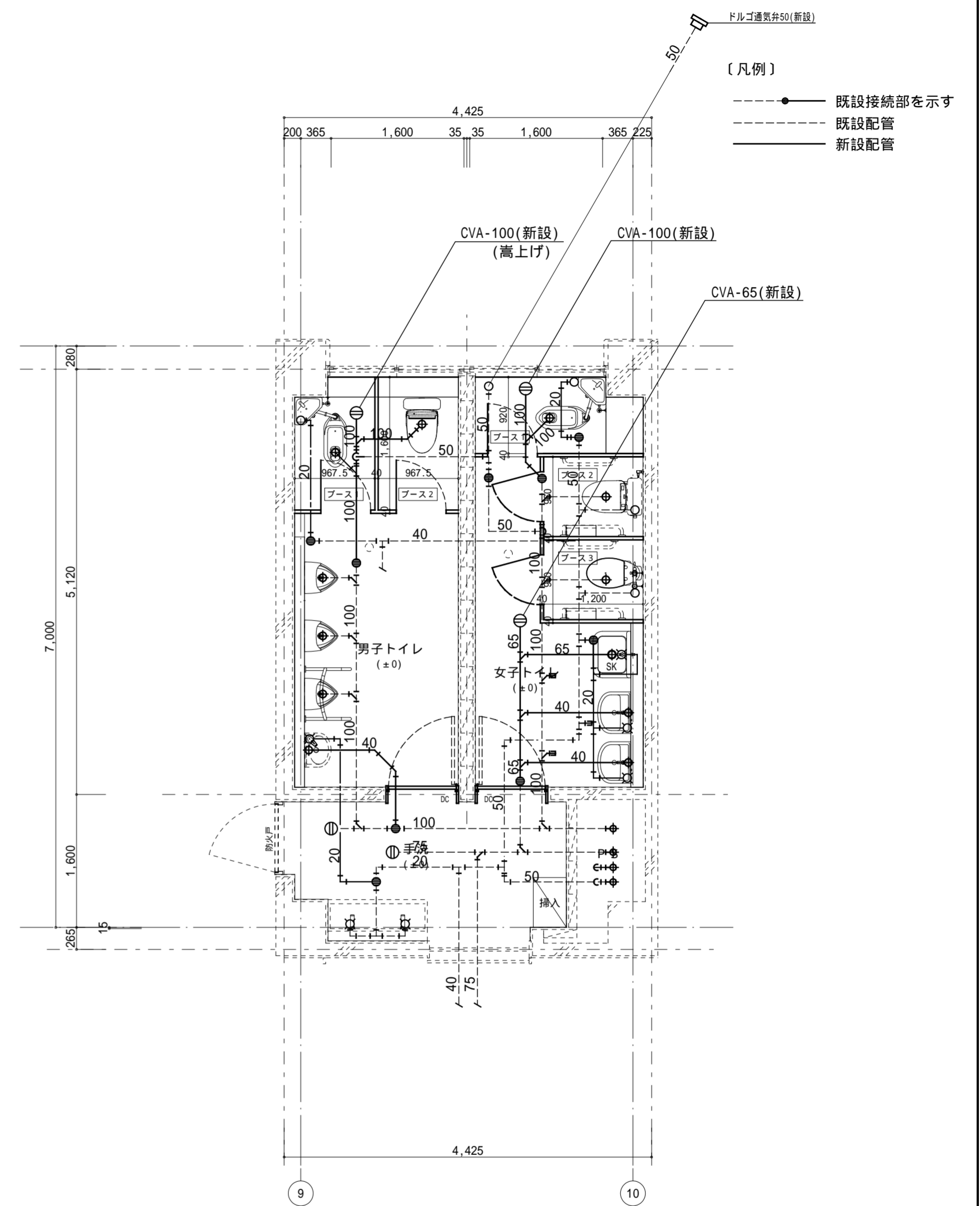
図面番号

M05

改修前



改修後



記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)

1級建築士登録第229944号

倉田 洋二

担当(総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認

・土法20条の2 構造設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

・設備設計
 ・法適合確認

・土法20条の3 設備設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称

総領小学校トイレ洋式化工事

図面名称

3階給排水設備平面詳細図(改修前・後)

設計年月日

2026・01

縮尺

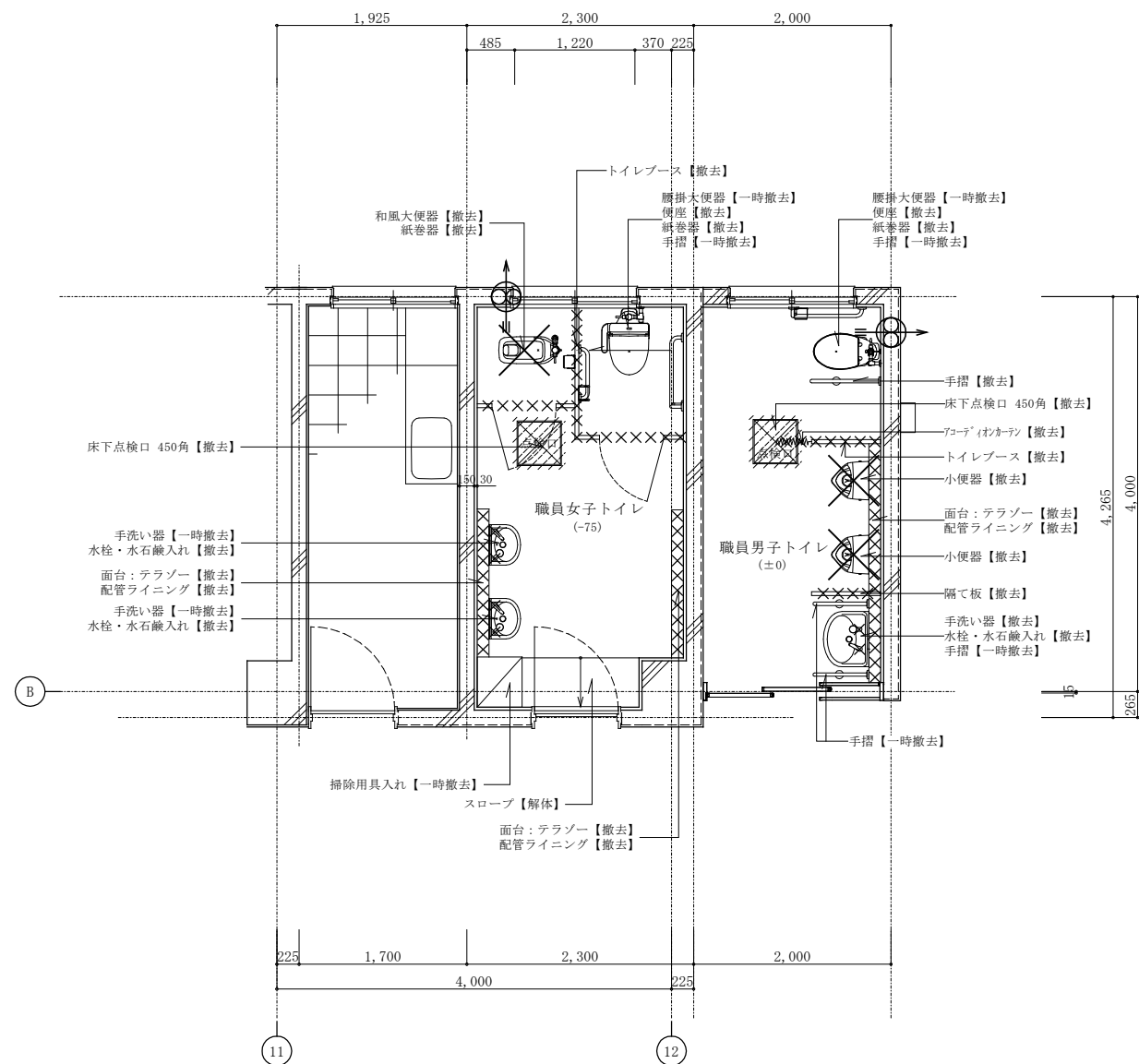
1:50

図面番号

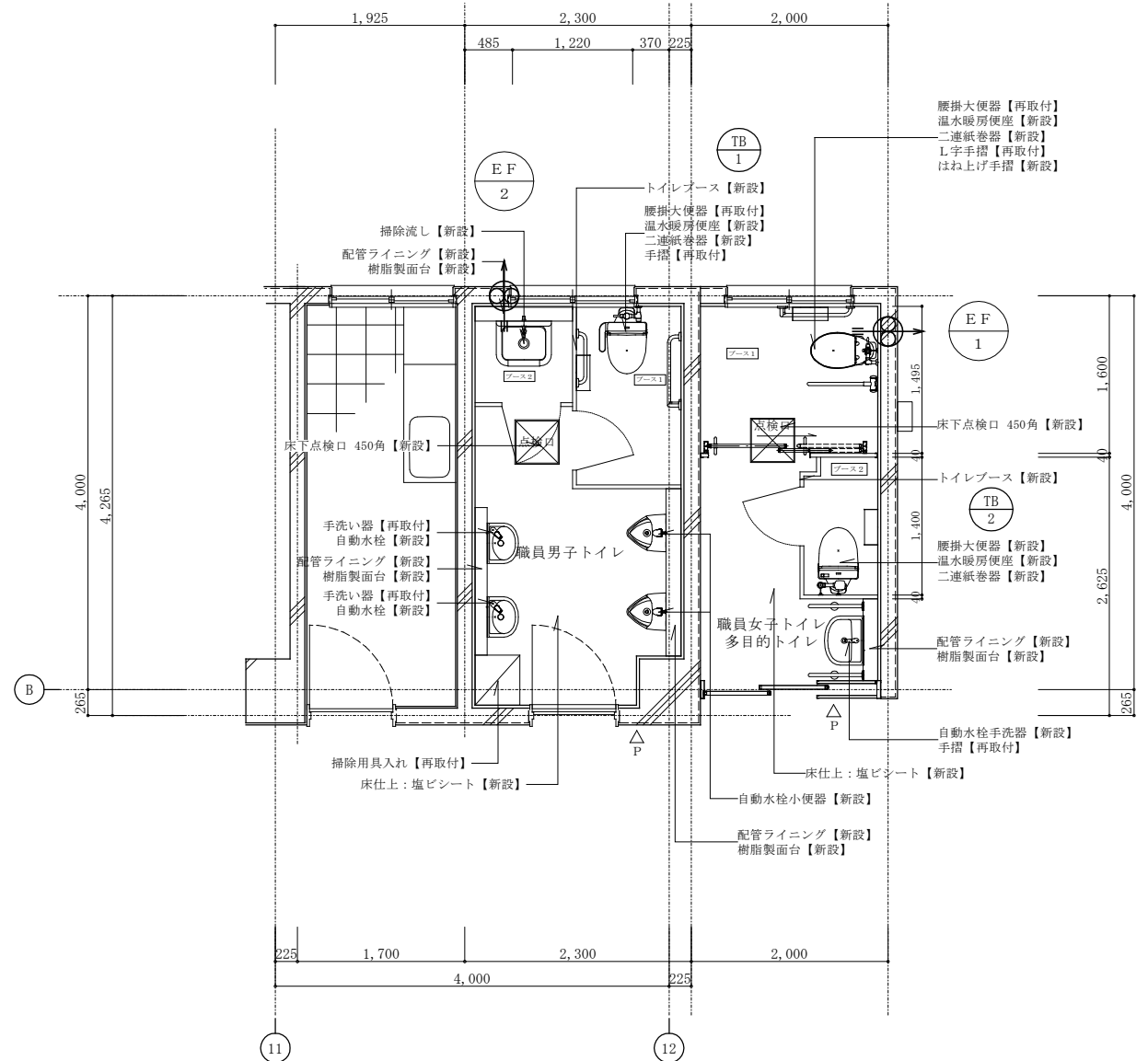
M06

改修前

改修後



平面詳細図 1:50



平面詳細図 1:50

凡例

◁	室名札
◁P	ピクトサイン

※既設換気扇共通 【撤去】

※既設換気扇共通 【新設】

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号
 倉田 洋二

担当(総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

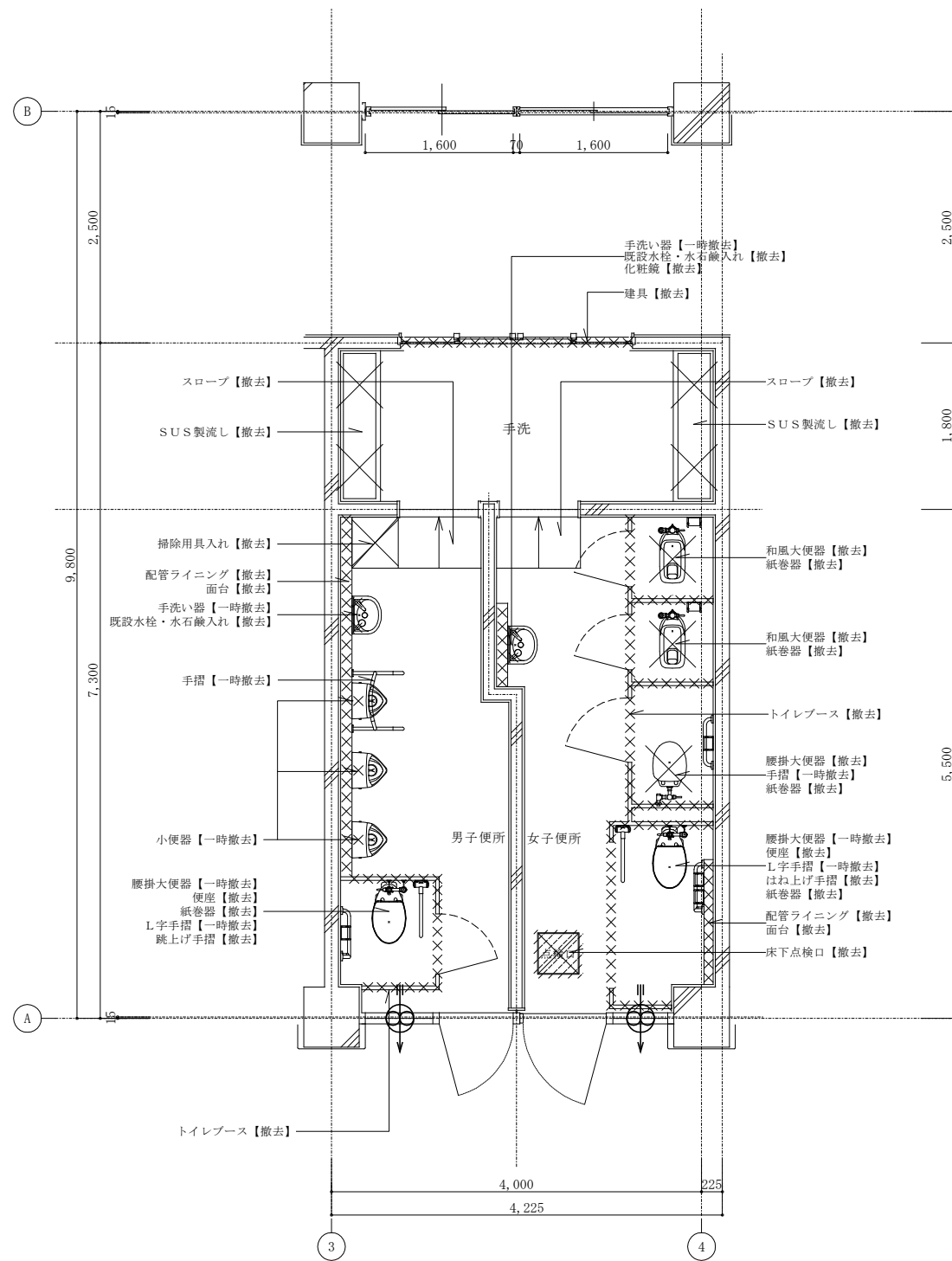
・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称
 総領小学校トイレ洋式化工事
 図面名称
 1階換気設備図-1 (改修前・後)

設計年月日
 2026・01
 縮尺
 1:50

図面番号
 MO7

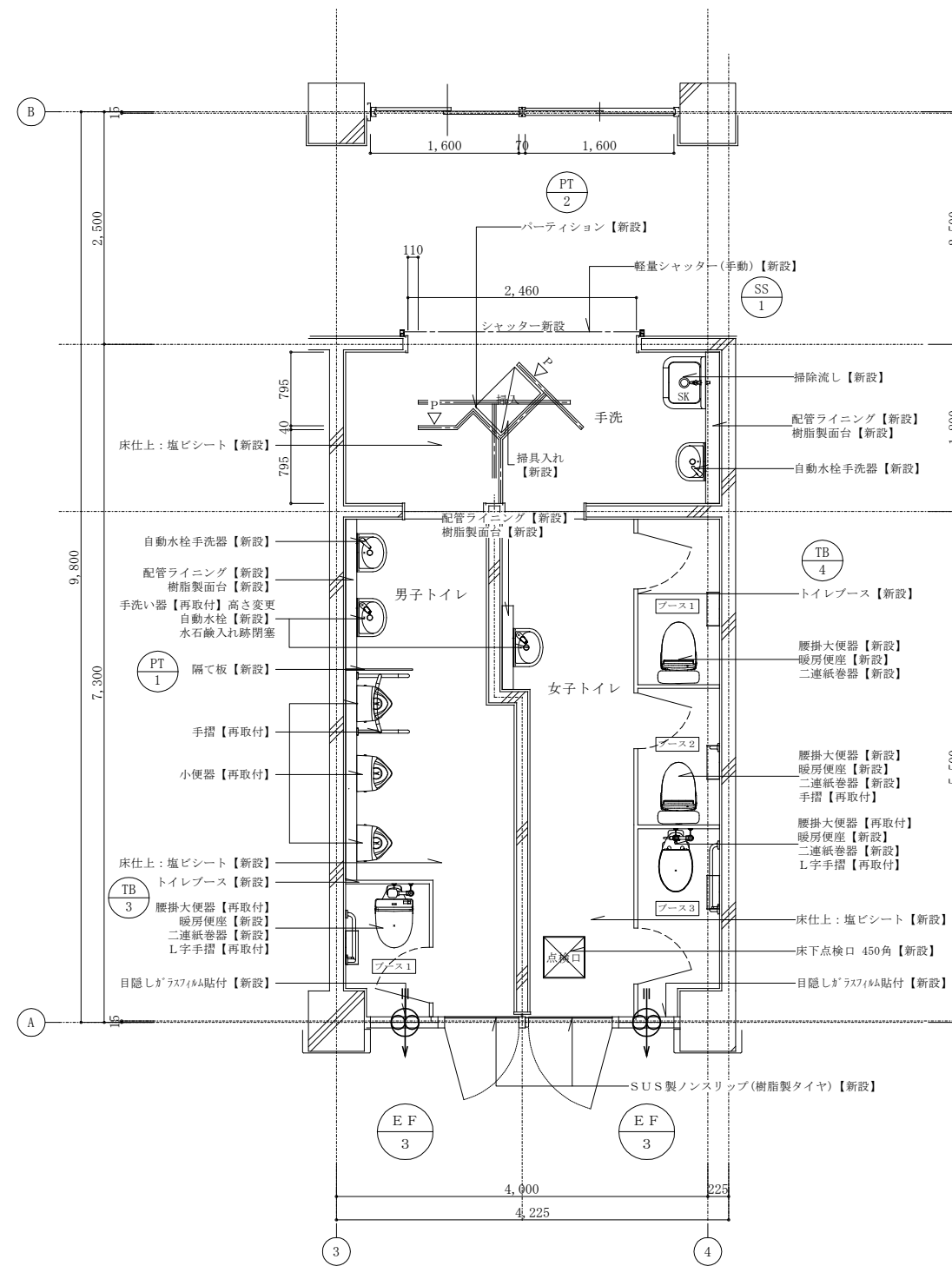
改修前



平面詳細図 1:50

※既設換気扇共通 【撤去】

改修後



平面詳細図 1:50

※既設換気扇共通 【新設】

凡例

◁	室名札
◁P	ビクトサイン

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号
 倉田 洋二

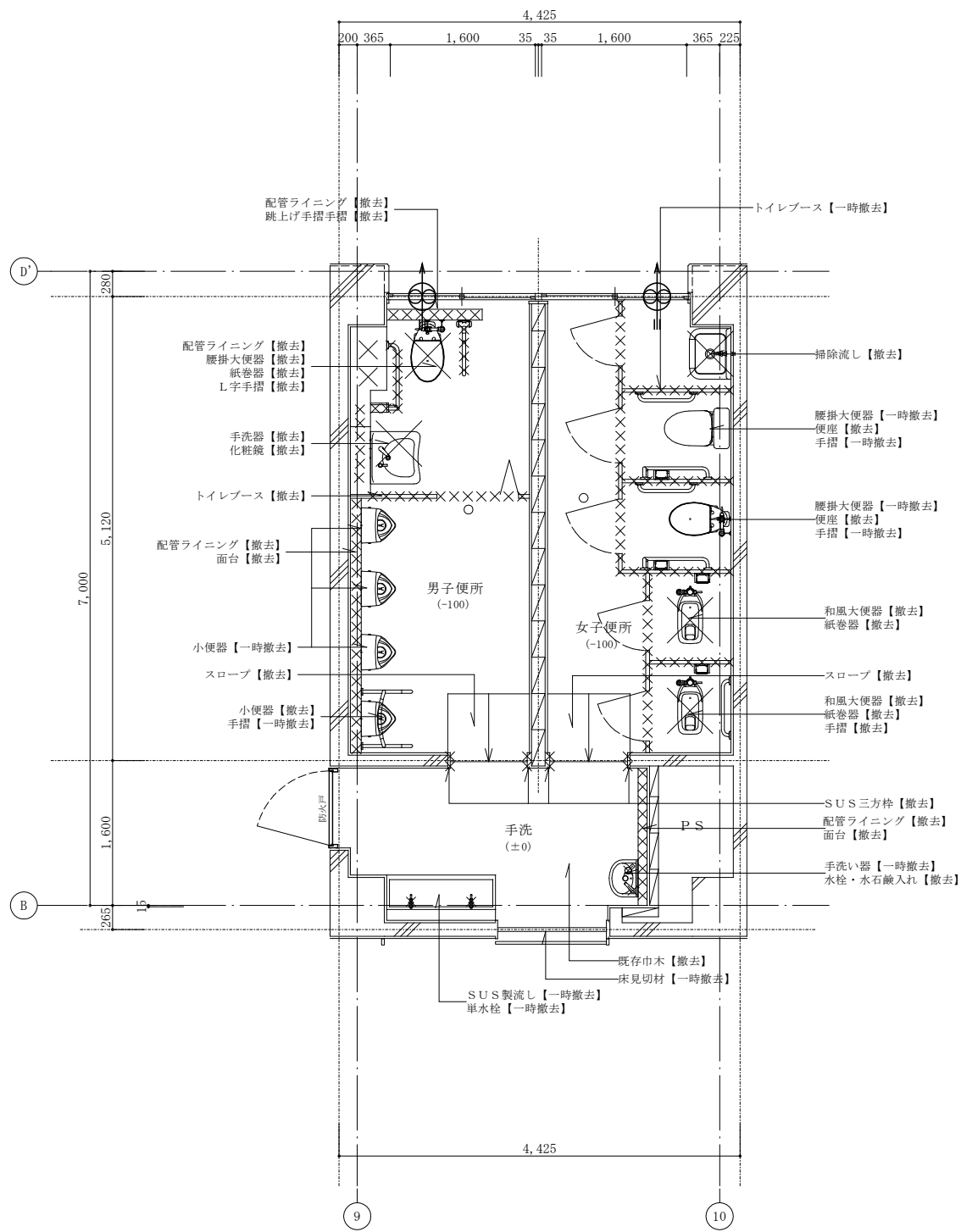
担当(総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称
 総領小学校トイレ洋式化工事
 図面名称
 1階換気設備図-2(改修前・後)

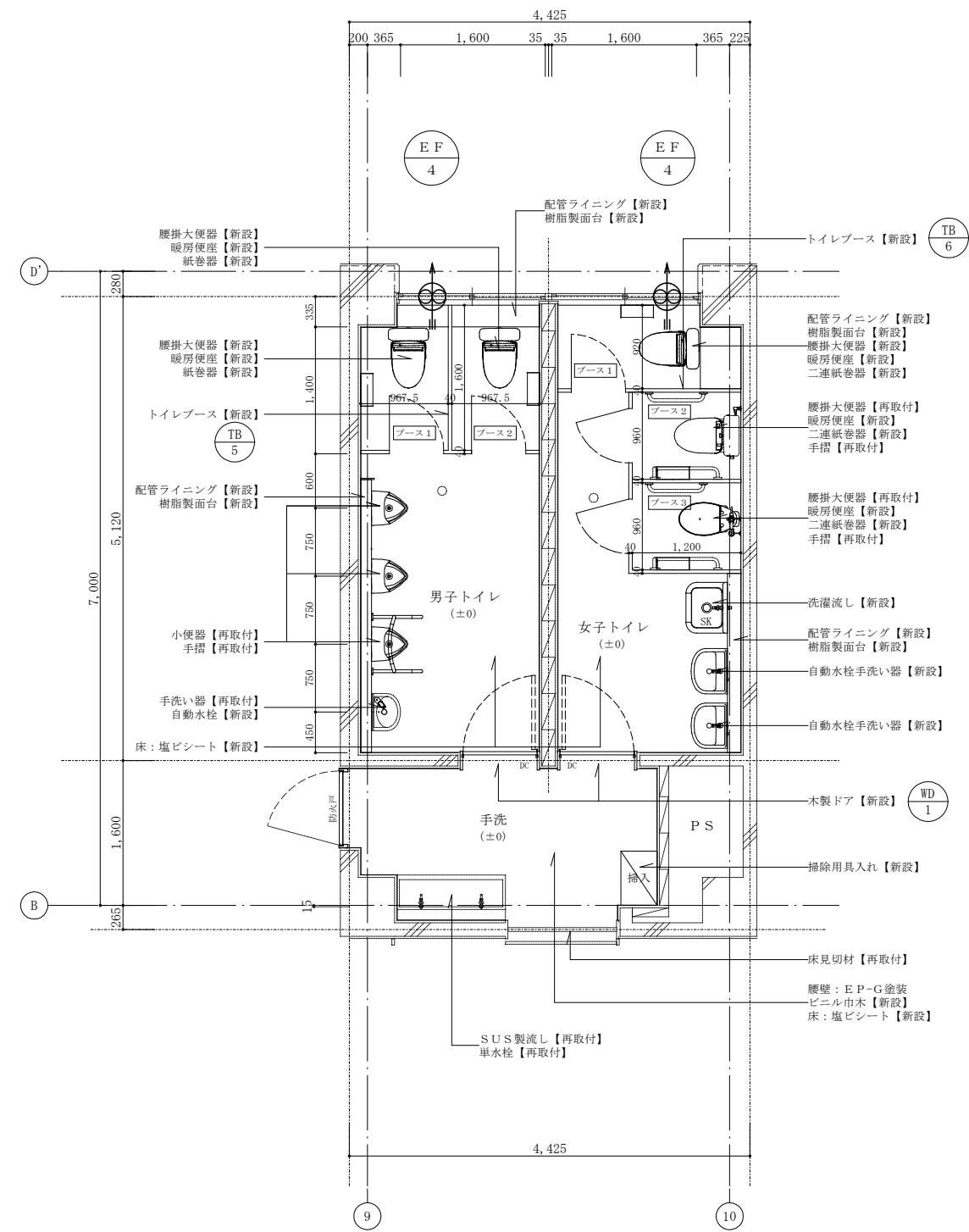
設計年月日
 2026・01
 縮尺
 1:50
 図面番号
 M08

改修前




平面詳細図 1:50

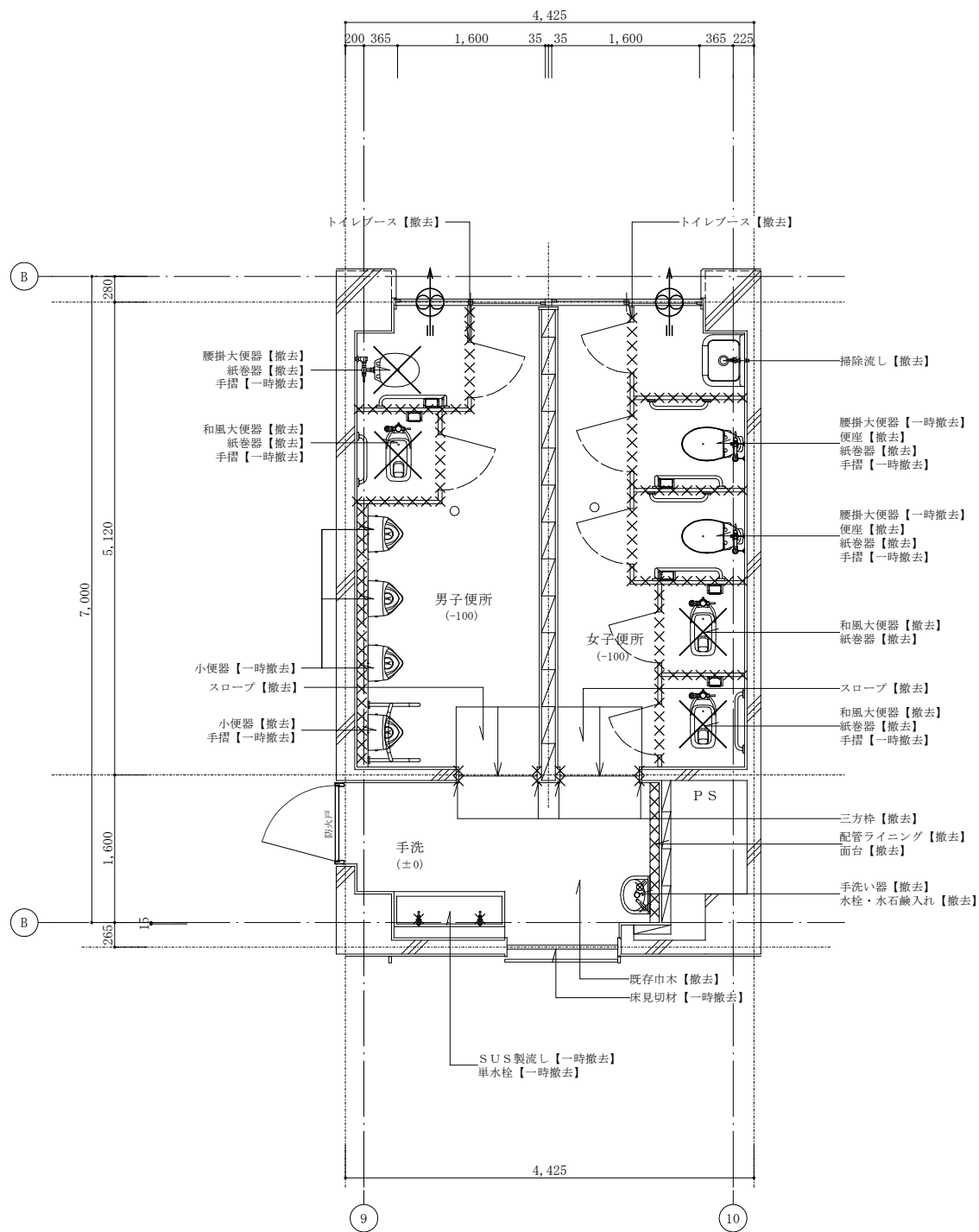
改修後



平面詳細図 1:50

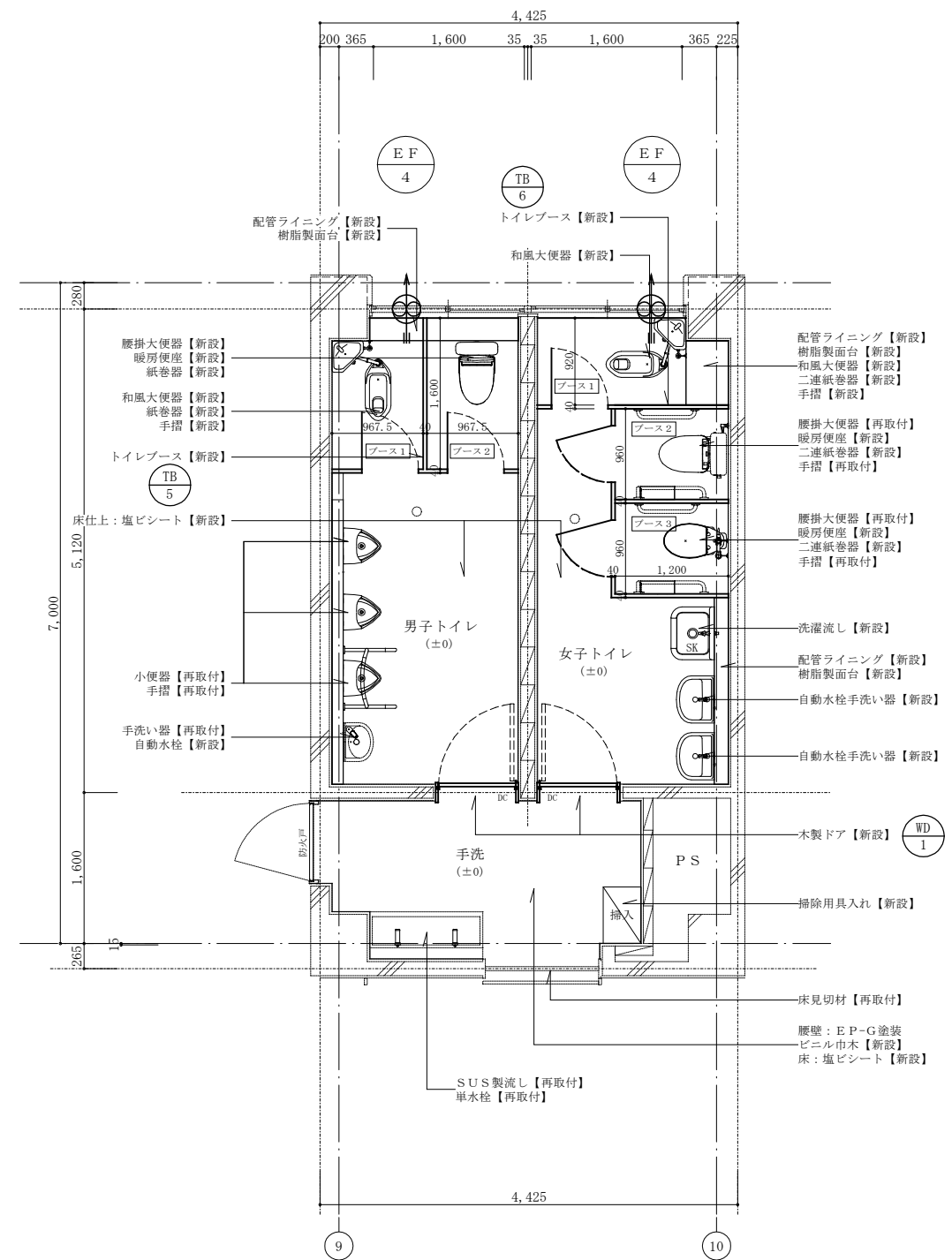
記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL.0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第229944号 倉田 洋二	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認	・土佐26条の1 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 総領小学校トイレ洋式化工事	設計年月日 2026・01	図面番号 M09
				・設備設計 ・法適合確認	・土佐26条の1 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号			

改修前




平面詳細図 1:50

改修後



平面詳細図 1:50

記事:


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL.0824-72-1382

設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第229944号
 倉田 洋二

担当(総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

・士20年の 構造設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号
 ・士20年の 設備設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称
 総領小学校トイレ洋式化工事
 図面名称
 3階換気設備図(改修前・後)

設計年月日
 2026・01
 縮尺
 1:50

図面番号
 M10